

P3NK-6932-11Z0

Fujitsu Network Si-R Si-R Gシリーズ

メッセージ集 V20

FUJITSU

はじめに

このたびは、本装置をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
インターネットやLANをさらに活用するために、本装置をご利用ください。

2019年12月 初 版
2020年1月 第2版
2020年9月 第3版
2021年1月 第4版
2021年2月 第5版
2021年9月 第6版
2022年3月 第7版
2022年10月 第8版
2023年1月 第9版
2023年6月 第10版
2023年11月 第11版

本ドキュメントには「外国為替及び外国貿易管理法」に基づく特定技術が含まれています。
従って本ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。

Copyright Fujitsu Limited 2019-2023

本書の構成と使いかた

本書は、本装置のシステムログメッセージについて説明しています。

本書の読者と前提知識

本書は、ネットワーク管理を行っている方を対象に記述しています。

本書を利用するにあたって、ネットワークおよびインターネットに関する基本的な知識が必要です。

ネットワーク設定を初めて行う方でも「機能説明書」に分かりやすく記載していますので、安心してお読みいただけます。

本書の構成

本書では、システムログメッセージを説明しています。

システムログの形式について

show logging syslog コマンドで表示した場合、システムログは以下の形式で表示されます。

```
<date> <host> <machine> : <message>
```

<date> 日時が表示されます。

<host> sysname コマンドで設定したホスト名が表示されます。ホスト名を設定していない場合は IP アドレスが表示されます。IP アドレスを何も設定していない場合は、"127.0.0.1"が表示されます。

<machine> 機種名が表示されます。

<message> メッセージ本文が表示されます。

なお、syslog server コマンドで指定した SYSLOG サーバに送信するシステムログメッセージは以下になります。

- syslog header (RFC 準拠) の設定がある場合
SYSLOG サーバに送信するシステムログメッセージは <date>、<host> および <message> の部分となります。SYSLOG サーバで、<machine> の部分は表示されません。
- syslog header (RFC 準拠) の設定がない場合 (工場出荷時)
SYSLOG サーバに送信するシステムログメッセージは <message> の部分のみとなります。SYSLOG サーバで、<machine> の部分は表示されません。<date> および <host> の部分の表示は、SYSLOG サーバの機能によります。

マークについて

【メッセージ】 メッセージを記載しています。

【プライオリティ】 システムログのレベルを記載しています。

【意味】 各メッセージの意味を記載しています。

【パラメタの意味】 各パラメタの意味を記載しています。

本書における商標の表記について

「v6 プラス」は、日本ネットワークイネイブラー株式会社の登録商標（または商標）です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本装置のマニュアルの構成

本装置の取扱説明書は、以下のとおり構成されています。使用する目的に応じて、お使いください。

マニュアル名称	内容
Si-R G120 ご利用にあたって	Si-R G120 の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
Si-R G121 ご利用にあたって	Si-R G121 の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
Si-R G210 ご利用にあたって	Si-R G210 の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
Si-R G211 ご利用にあたって	Si-R G211 の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
コマンドユーザーズガイド	コマンドを使用して、時刻などの基本的な設定またはメンテナンスについて説明しています。
コマンドリファレンス	構成定義コマンド、運用管理コマンド、およびその他のコマンドの項目やパラメタの詳細な情報を説明しています。
コマンド設定事例集	コマンドを使用した、基本的な接続形態または機能の活用方法を説明しています。
機能説明書	本装置の便利な機能について説明しています。
トラブルシューティング	トラブルが起きたときの原因と対処方法を説明しています。
メッセージ集（本書）	システムログ情報などのメッセージの詳細な情報を説明しています。
仕様一覧	本装置のハード／ソフトウェア仕様と MIB/Trap 一覧を説明しています。
Web ユーザーズガイド	Web 画面を使用して、基本的な操作やメンテナンスについて説明しています。 また、Web 画面の項目の詳細な情報を説明しています。

目次

第1章 システムログ情報一覧	15
1.1 システムのメッセージ	16
1.1.1 システム起動	16
1.1.2 システムダウン検出	16
1.1.3 RTC 異常検出	16
1.1.4 システム起動失敗	16
1.2 構成定義関連のメッセージ	18
1.2.1 ethergroup bridgegroup コマンド	18
1.2.2 ether duplex コマンド	18
1.2.3 ether mdi コマンド	18
1.2.4 ether type backup, backup コマンド	19
1.2.5 ether type mirror コマンド	20
1.2.6 ether vlan コマンド	20
1.2.7 ether dot1x コマンド	23
1.2.8 ether macauth コマンド	23
1.2.9 ether dot1x コマンド, ether macauth コマンド	24
1.2.10 pseudo-ether コマンド	25
1.2.11 vlan コマンド	27
1.2.12 vlan forward コマンド	27
1.2.13 vlan bridgegroup コマンド	28
1.2.14 vlan arpauth コマンド	28
1.2.15 lan vlan コマンド	28
1.2.16 wan 定義無効	30
1.2.17 接続先定義無効	31
1.2.18 wan 定義有効化	35
1.2.19 wan 定義無効化	35
1.2.20 接続先定義有効化	35
1.2.21 接続先定義無効化	36
1.2.22 pseudo-ether 定義有効化	36
1.2.23 pseudo-ether 定義無効化	37
1.2.24 アドレス重複	37
1.2.25 相手ネットワークまたは接続先定義無効	38
1.2.26 NAT 定義無効	38
1.2.27 IP フィルタ定義無効	39
1.2.28 TOS/Traffic Class 値書き換え定義無効	40
1.2.29 Ingress ポリシールーティング定義無効	40
1.2.30 UPnP 関連の定義矛盾	41
1.2.31 IPv6 DHCP 関連の定義矛盾	42
1.2.32 template 定義無効	42
1.2.33 動的 VPN サーバ定義無効	46
1.2.34 スタティック経路の ECMP 数オーバ	46
1.2.35 ECMP 対象となるスタティック経路のメトリック矛盾	47
1.2.36 スタティック ARP 無効	47
1.2.37 IPv6 スタティック経路の ECMP 不可	47
1.2.38 マルチキャストのメッセージ	48
1.2.39 VRID 重複設定	50
1.2.40 仮想ルータの IP アドレスインタフェースサブネット外設定	51
1.2.41 仮想ルータの IP アドレスインタフェース同一アドレス設定	51
1.2.42 VRRP グループ数の上限オーバ	52
1.2.43 DHCP MAC アドレスチェック機能の AAA グループ ID 定義異常	52
1.2.44 不当な SNMP エージェントアドレスの設定	52
1.2.45 RADIUS 機能の設定無効(他 RADIUS サーバ定義)	53
1.2.46 RADIUS 機能の設定無効(他 RADIUS クライアント定義)	53
1.2.47 ログインユーザの AAA 情報定義矛盾	53
1.2.48 STP 定義矛盾	54
1.2.49 STP(最大中継時間と最大有効時間の依存関係異常)	54
1.2.50 STP(Hello メッセージ送信間隔と最大有効時間の依存関係異常)	55

1.2.51	resource authenticated vlan コマンド	55
1.2.52	internal-path コマンド	56
1.2.53	端末可視化機能	58
1.2.54	NDProxy 機能定義無効	60
1.2.55	MAP-E の動作に必須となる定義の不足	60
1.2.56	software type の定義矛盾	61
1.2.57	software option の定義矛盾	61
1.2.58	software 定義済み	61
1.2.59	remote ap tunnel 定義矛盾	62
1.2.60	remote ap local/remote 定義済み	62
1.2.61	MAP-E 構成定義矛盾	62
1.2.62	option-c-rule 未定義	63
1.3	ACL 関連のメッセージ	64
1.3.1	ACL 定義矛盾 (MAC を無視)	65
1.3.2	ACL 定義矛盾 (IP を無視)	65
1.3.3	ACL 定義矛盾 (IPv6 を無視)	66
1.3.4	ACL 定義矛盾 (TCP を無視)	66
1.3.5	ACL 定義矛盾 (UDP を無視)	66
1.3.6	ACL 定義矛盾 (ICMP を無視)	67
1.3.7	ACL 定義矛盾 (ACL 定義存在せず)	67
1.3.8	ACL 定義矛盾 (必要な定義が存在しないために無効)	68
1.4	ポリシーグループ関連のメッセージ	69
1.4.1	ポリシーグループ定義矛盾 (必須定義不足)	69
1.4.2	ポリシーグループ定義矛盾 (ポリシーグループ定義存在せず)	69
1.4.3	ポリシーグループ定義矛盾 (nexthop 無効)	70
1.4.4	ポリシーグループ定義矛盾 (nexthop6 無効)	70
1.4.5	ポリシーグループセッション監視メッセージ	71
1.5	IEEE802.1X 認証関連のメッセージ	72
1.5.1	IEEE802.1X 認証初期化失敗	72
1.5.2	認証成功	72
1.5.3	認証失敗	72
1.5.4	ユーザログオフ	73
1.5.5	ユーザの強制ログオフ	73
1.5.6	VLAN 登録失敗	74
1.5.7	メモリ不足による課金開始または課金終了の失敗	74
1.5.8	メモリ不足による認証失敗	75
1.5.9	認証サーバの通知メッセージ異常	75
1.5.10	VLAN 情報なしによるデフォルト VLAN への割り当て	75
1.5.11	認証サーバからの通知情報異常によるデフォルト VLAN への割り当て	76
1.5.12	認証再試行	76
1.5.13	最大 ID 長オーバ	77
1.5.14	収容サブリカント数オーバ	77
1.5.15	認証タイムアウト	77
1.6	MAC アドレス認証関連のメッセージ	79
1.6.1	認証成功	79
1.6.2	認証失敗	79
1.6.3	VLAN 登録失敗	80
1.6.4	MAC アドレス認証状態の終了	80
1.6.5	VLAN 情報なしによるデフォルト VLAN への割り当て	80
1.6.6	認証サーバからの通知情報異常によるデフォルト VLAN への割り当て	81
1.6.7	メモリ不足による認証失敗	81
1.7	ARP 認証関連のメッセージ	83
1.7.1	不正 MAC アドレス検出	83
1.7.2	登録済 MAC アドレス検出	83
1.7.3	オーバフロー	83
1.8	ルーティングマネージャのメッセージ	84
1.8.1	ルーティングテーブルオーバフロー	84

1.8.2	スタティック経路のECMP数オーバ	84
1.8.3	ECMP対象となるスタティック経路のメトリック矛盾	84
1.8.4	スタティックエントリ数オーバフロー	85
1.8.5	経路再登録の中断	85
1.8.6	IPアドレスの割り当て	85
1.8.7	IPアドレスの重複	86
1.9	RAのメッセージ(IPv6)	87
1.9.1	デフォルトルータリストオーバフロー	87
1.9.2	プレフィックスリストオーバフロー	87
1.10	RIPのメッセージ	88
1.10.1	パケット長異常	88
1.10.2	バージョン異常	88
1.10.3	送信元ポート番号異常	88
1.10.4	送信元IPアドレス異常	89
1.10.5	アドレスファミリ異常	89
1.10.6	経路情報あて先異常	90
1.10.7	マスク長異常	90
1.10.8	メトリック異常	91
1.10.9	RIPルーティングテーブルオーバフロー(RIPパケット受信)	91
1.10.10	RIPルーティングテーブルオーバフロー(再配布経路受信)	91
1.10.11	インタフェース経路情報オーバフロー	92
1.11	OSPFのメッセージ	93
1.11.1	エリアID不一致	93
1.11.2	認証方式不一致	93
1.11.3	テキスト認証鍵不一致	93
1.11.4	MD5認証鍵不一致	94
1.11.5	ネットワークマスク長不一致	94
1.11.6	Helloパケット送信間隔の不一致	95
1.11.7	隣接ルータ停止確認間隔の不一致	95
1.11.8	エリアタイプの不一致	95
1.11.9	LSA最大数オーバ	96
1.11.10	ルータIDの重複	96
1.11.11	MTU値の不一致	97
1.11.12	SPF計算テーブル数オーバ	97
1.11.13	OSPF作業メモリオーバ	97
1.11.14	受信可能サイズを超えたパケットの破棄	97
1.11.15	隣接関係異常	98
1.11.16	connected経路オーバフロー	98
1.12	BGP4のメッセージ	99
1.12.1	マーカフィールド異常	99
1.12.2	メッセージ長異常	99
1.12.3	メッセージタイプ異常	100
1.12.4	メッセージヘッダ異常サブエラーコード認識不可	100
1.12.5	バージョン異常	100
1.12.6	AS番号異常	101
1.12.7	BGP-ID異常	101
1.12.8	サポート外オプション	102
1.12.9	認証異常	102
1.12.10	HOLD時間受け入れ不可	103
1.12.11	ケイパビリティ受け入れ不可	103
1.12.12	OPENメッセージ異常サブエラーコード認識不可	104
1.12.13	属性異常	104
1.12.14	サポート外既知属性	104
1.12.15	既知属性の消失	105
1.12.16	属性フラグ異常	105
1.12.17	属性長異常	106
1.12.18	ORIGIN属性異常	106
1.12.19	メッセージループ	107

1.12.20	NEXT-HOP 属性異常	107
1.12.21	オブション属性異常	107
1.12.22	不当経路情報	108
1.12.23	不当 AS_PATH	108
1.12.24	UPDATE メッセージ異常サブエラーコード認識不可	109
1.12.25	HOLD 時間満了	109
1.12.26	内部状態矛盾	110
1.12.27	BGP セッション終了	110
1.12.28	エラーコード認識不可	110
1.12.29	設定外装置からの接続受信	111
1.12.30	BGP ルーティングテーブルオーバーフロー(UPDATE パケット受信)	111
1.12.31	BGP ルーティングテーブルオーバーフロー(再配布経路受信)	112
1.12.32	BGP セッション数オーバ	112
1.12.33	BGP グレースフルリスタート処理開始	112
1.12.34	BGP グレースフルリスタート処理終了	113
1.12.35	BGP グレースフルリスタート中断	113
1.12.36	BGP リスタートタイマ満了	113
1.12.37	BGP stale タイマ満了	114
1.12.38	4 オクテット AS 番号未サポート相手装置との接続	114
1.12.39	BGP セッションクリア	114
1.12.40	ルートルフレッシュメッセジ受信	115
1.12.41	ルートルフレッシュメッセジ送信不可	115
1.13	ルーティングマネージャのメッセージ(IPv6)	116
1.13.1	ルーティングテーブルオーバーフロー	116
1.13.2	IPv6 プレフィックスの割り当て	116
1.13.3	IPv6 プレフィックスの重複	116
1.13.4	IPv6 スタティック経路の ECMP 不可	117
1.13.5	IPv6 スタティックエントリ数オーバーフロー	117
1.13.6	経路再登録の中断	118
1.14	RIP のメッセージ(IPv6)	119
1.14.1	パケット長異常	119
1.14.2	バージョン異常	119
1.14.3	送信元ポート番号異常	119
1.14.4	送信元 IP アドレス異常	120
1.14.5	ホップリミット異常	120
1.14.6	経路情報プレフィックス異常	121
1.14.7	プレフィックス長異常	121
1.14.8	メトリック異常	122
1.14.9	RIP ルーティングテーブルオーバーフロー(RIP パケット受信)	122
1.14.10	RIP ルーティングテーブルオーバーフロー(再配布経路受信)	122
1.14.11	インタフェース経路情報オーバーフロー	123
1.15	OSPF のメッセージ(IPv6)	124
1.15.1	エリア ID 不一致	124
1.15.2	Hello パケット送信間隔の不一致	124
1.15.3	隣接ルータ停止確認間隔の不一致	124
1.15.4	エリアタイプの不一致	125
1.15.5	LSA 最大数オーバ	125
1.15.6	ルータ ID の重複	126
1.15.7	MTU 値の不一致	126
1.15.8	受信可能サイズを超えたパケットの破棄	127
1.15.9	隣接ルータダウンの検出	127
1.15.10	LSA 最大数オーバ(再配布経路受信時)	127
1.16	通信関連のメッセージ	129
1.16.1	物理ポートのリンクアップ	129
1.16.2	物理ポートのリンクダウン	129
1.16.3	物理ポートの閉塞状態への移行	129
1.16.4	論理インタフェースのリンクアップ	130
1.16.5	論理インタフェースのリンクダウン	130

1.16.6	バックアップポートの状態遷移	130
1.16.7	同期確立	131
1.16.8	同期はずれ	131
1.16.9	回線接続	132
1.16.10	回線切断	134
1.16.11	課金制御機能による強制切断	135
1.16.12	着信拒否	136
1.16.13	自動発呼の抑止中	137
1.16.14	着信抑止	137
1.16.15	連続接続失敗による発信抑止	137
1.16.16	PPP ネゴシエーション失敗	138
1.16.17	発信失敗	138
1.16.18	回線エラー	141
1.16.19	発信ログ	143
1.16.20	閉塞状態への移行	145
1.16.21	認証メモリ枯渇	145
1.16.22	アカウントリングメモリ枯渇(アカウントリング開始時)	145
1.16.23	アカウントリングメモリ枯渇(アカウントリング終了時)	146
1.17	PPPoE のメッセージ	147
1.17.1	PPPoE ディスカバリステージ失敗	147
1.18	セキュリティメッセージ	148
1.18.1	ProxyDNS による DNS 要求破棄	148
1.18.2	ProxyDNS による unicode DNS 要求の破棄	148
1.18.3	DNS 問い合わせ情報	148
1.18.4	ドメインリストに一致する IP アドレス情報の登録	149
1.18.5	ドメインリストに対応する CNAME に一致する IP アドレス情報の登録	149
1.18.6	エンドポイントリストに一致する IP アドレス情報の登録	150
1.18.7	エンドポイントリストに対応する CNAME に一致する IP アドレス情報の登録	150
1.18.8	ドメインリストから IP アドレス情報の削除	150
1.18.9	IP フィルタによるパケット破棄	151
1.18.10	PPP 着信拒否	152
1.18.11	DHCP サーバのアドレス配布	152
1.18.12	DHCP クライアントからの要求の拒否	152
1.18.13	IPv6 フィルタによるパケット破棄	153
1.18.14	NAT によるパケット破棄	154
1.18.15	NAT 変換テーブル作成	154
1.18.16	IPv6 DHCP サーバのアドレス配布	155
1.18.17	IPv6 DHCP サーバのプレフィックス配布	155
1.18.18	アプリケーションフィルタによるパケット破棄	155
1.19	IDS のメッセージ	157
1.19.1	IDS による異常パケット通知	157
1.20	コンソールのメッセージ	160
1.20.1	ログイン成功	160
1.20.2	ログイン失敗(認証エラー)	160
1.20.3	ログアウト	160
1.21	telnet デーモンのメッセージ	162
1.21.1	ログイン成功	162
1.21.2	ログイン失敗(認証エラー)	162
1.21.3	ログイン終了	162
1.22	ftp デーモンのメッセージ	164
1.22.1	ログイン成功	164
1.22.2	ログイン失敗(認証エラー)	164
1.22.3	ファイル蓄積完了	164
1.22.4	ファイル回収完了	165
1.22.5	ログイン終了	165
1.23	ssh デーモンのメッセージ	167
1.23.1	ssh ホスト認証鍵生成開始	167

1.23.2	ssh ホスト認証鍵生成完了	167
1.23.3	ログイン失敗(認証エラー)	167
1.24	ssh ログインデーモンのメッセージ	168
1.24.1	ログイン成功	168
1.24.2	ログイン失敗(認証エラー)	168
1.24.3	ログイン終了	168
1.25	sftp デーモンのメッセージ	170
1.25.1	ログイン成功	170
1.25.2	ログイン失敗(認証エラー)	170
1.25.3	ファイル蓄積完了	170
1.25.4	ファイル回収完了	171
1.25.5	ログイン終了	171
1.26	http/https のメッセージ	173
1.26.1	ログイン成功	173
1.26.2	ログイン失敗(認証エラー)	173
1.26.3	ログイン終了	173
1.26.4	セッション上限超過	174
1.27	admin/su コマンドのメッセージ	175
1.27.1	admin 成功	175
1.27.2	admin 失敗(認証エラー)	176
1.27.3	admin 終了	177
1.28	IPsec/IKE のメッセージ	179
1.28.1	ISAKMP SA ネゴシエーション	179
1.28.2	IPsec SA ネゴシエーション	185
1.28.3	ISAKMP、IPsec 共通	189
1.28.4	IKE セッションの障害検出	199
1.28.5	動的VPN のメッセージ	199
1.28.6	NAT トラバーサル関連システムログ	206
1.28.7	RSA デジタル署名関連システムログ	206
1.28.8	FQDN 名前解決のエラーメッセージ	210
1.29	証明書関連機能のメッセージ	211
1.29.1	証明書関連情報定義矛盾	211
1.30	接続先セッション監視のメッセージ	213
1.31	DHCP クライアントのメッセージ	214
1.31.1	IP アドレス獲得成功	214
1.31.2	リース更新成功	214
1.31.3	リース更新失敗 1	214
1.31.4	リース更新失敗 2	215
1.31.5	リース期間満了	215
1.32	IPv6 DHCP クライアントのメッセージ	216
1.32.1	IPv6 プレフィックス獲得成功	216
1.32.2	リース更新失敗 1	216
1.32.3	リース更新失敗 2	216
1.32.4	IPv6 プレフィックス割り当ての設定誤り	217
1.33	ProxyDNS のメッセージ	218
1.33.1	DNS プロキシの問い合わせパケット	218
1.33.2	エラー検知によるパケット破棄	218
1.34	ドメインリストのメッセージ	220
1.34.1	ドメインリストの取得	220
1.34.2	ドメインリストの取得失敗	220
1.35	エンドポイントリストのメッセージ	221
1.35.1	エンドポイントリストの取得	221
1.35.2	エンドポイントリストの取得失敗	221
1.36	SNMP のメッセージ	222
1.36.1	SNMP 認証失敗	222

1.37	RRRP のメッセージ	223
1.37.1	RRRP グループ開始	223
1.37.2	マスタールータ/バックアップルータ/イニシャル切り替わり	223
1.37.3	インタフェースアップ/ダウントリガイベント発生	224
1.37.4	ルートアップ/ダウントリガイベント発生	224
1.37.5	ノードアップ/ダウントリガイベント発生	225
1.37.6	マスタールータダウン検出	225
1.37.7	受信 VRRP-AD TTL 異常	226
1.37.8	受信 VRRP-AD HopLimit 異常	226
1.37.9	受信 VRRP-AD 認証タイプ異常	227
1.37.10	受信 VRRP-AD 認証パスワード異常	227
1.37.11	RRRP 状態変化に対するアクション適用失敗	227
1.38	スケジュールのメッセージ	229
1.38.1	電話番号変更予約の実施	229
1.38.2	電話番号変更の失敗	229
1.39	データ通信モジュール関連共通のメッセージ	230
1.39.1	データ通信モジュール挿入	230
1.39.2	データ通信モジュール抜去	230
1.39.3	データ通信モジュール異常	230
1.40	データ通信モジュール関連のメッセージ	231
1.40.1	データ通信モジュール初期化失敗	231
1.40.2	データ通信モジュール異常検出	231
1.40.3	電波状態監視情報初期化	231
1.40.4	電波状態監視により WAN 回線が接続不可に変化	232
1.40.5	電波状態監視により WAN 回線が接続可能に変化	232
1.40.6	通信方式の設定が無効	232
1.41	pseudo-ether モジュール関連のメッセージ	234
1.41.1	pseudo-ether モジュール挿入	234
1.41.2	pseudo-ether モジュール抜去	234
1.41.3	pseudo-ether モジュール異常	234
1.41.4	pseudo-ether モジュール自動復旧	234
1.41.5	pseudo-ether インタフェースのリンクアップ	235
1.41.6	pseudo-ether インタフェースのリンクダウン	236
1.41.7	閉塞状態への移行	236
1.41.8	SIM の状態	236
1.41.9	通信モジュール初期化失敗	237
1.41.10	SIM 切り替え	237
1.41.11	SIM の構成定義エラー	238
1.41.12	SIM のプロファイルの構成定義エラー	238
1.42	動的 VPN の情報交換クライアント関連のメッセージ	240
1.42.1	ユーザ ID 登録	240
1.42.2	ユーザ ID 削除	240
1.42.3	情報交換セッション確立	240
1.42.4	情報交換セッション切断	241
1.42.5	情報交換セッションの確立失敗	241
1.42.6	情報交換セッションの更新失敗	242
1.42.7	情報交換失敗応答受信	242
1.42.8	情報交換セッション開始メッセージの認証失敗	243
1.42.9	情報交換ユーザ ID 登録メッセージの認証失敗	243
1.42.10	動的 VPN サーバアドレスの解決失敗	244
1.42.11	情報交換セッションの開始メッセージをリダイレクトした	244
1.42.12	情報交換セッションの開始を辞退した	244
1.43	動的 VPN サーバ関連のメッセージ	246
1.43.1	ユーザ ID の登録	246
1.43.2	ユーザ ID の削除	246
1.43.3	情報交換セッションの確立	246
1.43.4	情報交換セッションの切断	247

1. 43. 5	情報交換セッションの満了	247
1. 43. 6	情報交換セッション開始メッセージの認証失敗	247
1. 43. 7	情報交換ユーザ ID 登録メッセージの認証失敗	248
1. 44	データコネクト関連のメッセージ	249
1. 44. 1	ユーザ ID 登録	249
1. 44. 2	ユーザ ID 未登録	249
1. 44. 3	ユーザ ID 削除	249
1. 44. 4	SIP セッション開始	250
1. 44. 5	SIP セッション確立	250
1. 44. 6	SIP セッション切断	251
1. 44. 7	通信料金による自動発呼抑止	252
1. 44. 8	課金情報のクリア	252
1. 45	SSL のメッセージ	253
1. 45. 1	SSL 接続失敗	253
1. 46	AAA/RADIUS のメッセージ	254
1. 46. 1	RADIUS アカウンティング情報の表示	254
1. 46. 2	RADIUS 認証サーバ未応答	254
1. 46. 3	RADIUS アカウンティングサーバ未応答(アカウンティング開始時)	255
1. 46. 4	RADIUS アカウンティングサーバ未応答(アカウンティング終了時)	255
1. 46. 5	RADIUS 認証同時要求数オーバ	255
1. 46. 6	RADIUS アカウンティング同時要求数オーバ(アカウンティング開始時)	256
1. 46. 7	RADIUS アカウンティング同時要求数オーバ(アカウンティング終了時)	256
1. 46. 8	RADIUS 認証構成定義無効	257
1. 46. 9	RADIUS アカウンティング構成定義無効(アカウンティング開始時)	257
1. 46. 10	RADIUS アカウンティング構成定義無効(アカウンティング終了時)	257
1. 46. 11	RADIUS 認証メモリ枯渇	258
1. 46. 12	RADIUS アカウンティングメモリ枯渇(アカウンティング開始時)	258
1. 46. 13	RADIUS アカウンティングメモリ枯渇(アカウンティング終了時)	258
1. 46. 14	RADIUS 認証共有鍵不一致	259
1. 46. 15	RADIUS アカウンティング共有鍵不一致(アカウンティング開始時)	259
1. 46. 16	RADIUS アカウンティング共有鍵不一致(アカウンティング終了時)	260
1. 46. 17	ローカル認証 DB アカウンティング情報の表示	260
1. 46. 18	Access-Challenge の受信	260
1. 46. 19	Message-Authenticator 不適性	261
1. 46. 20	アトリビュート作成失敗(送信バッファオーバーフロー)	261
1. 46. 21	RADIUS 認証取り消し	262
1. 46. 22	RADIUS 認証サーバダウン	262
1. 46. 23	RADIUS 認証サーバ復旧	262
1. 46. 24	RADIUS アカウンティングサーバダウン	263
1. 46. 25	RADIUS アカウンティングサーバ復旧	263
1. 46. 26	認証処理失敗(メモリ枯渇)	263
1. 46. 27	未サポート EAP オプション受信	264
1. 46. 28	未サポートの packets 受信	264
1. 46. 29	パケットシーケンスエラー検出	264
1. 46. 30	メモリ枯渇による認証失敗	265
1. 46. 31	認証アルゴリズム不一致	265
1. 46. 32	サーバダウン時認証成功	265
1. 47	STP のメッセージ	266
1. 47. 1	異常 BPDU フレーム受信	266
1. 47. 2	定義反映異常(STP 動作モード)	266
1. 47. 3	内部通信ソケット異常	266
1. 47. 4	構成定義展開異常	267
1. 47. 5	STP 内部情報領域獲得異常	267
1. 47. 6	トポロジチェンジ検出	267
1. 47. 7	ルートブリッジ	267
1. 47. 8	トポロジチェンジ検出ポート情報	268
1. 48	トラッキング機能関連のメッセージ	269
1. 48. 1	ノードトリガ定義矛盾	269

1.48.2	ノードトリガイベント発生	269
1.48.3	トラッキング機能による実行	269
1.48.4	トラッキング機能のコマンド実行キャンセル	270
1.48.5	輻轉トリガ定義矛盾	270
1.48.6	輻轉トリガイベント発生	270
1.48.7	FQDN 名前解決のエラーメッセージ	271
1.48.8	IP アドレス未獲得のエラーメッセージ	271
1.48.9	IP アドレス重複のエラーメッセージ	272
1.48.10	送信元未定義のエラーメッセージ	272
1.48.11	輻轉状態検出オプションのエラーメッセージ	272
1.48.12	トラッキング定義矛盾のエラーメッセージ	273
1.49	「v6 プラス」のメッセージ	274
1.49.1	アドレス情報の通知	274
1.49.2	アドレス情報の更新結果の受信	274
1.49.3	再設定サーバへの接続失敗	274
1.49.4	再設定サーバへの接続要求破棄	275
1.50	USB メモリ関連のメッセージ	276
1.50.1	USB メモリの挿入	276
1.50.2	USB メモリの拔出	276
1.50.3	USB デバイス接続	276
1.50.4	USB デバイス切断	276
1.50.5	USB VBUS 過電流発生	277
1.50.6	ファイルシステムの不正	277
1.50.7	I/O エラー	277
1.50.8	ファイルシステムの不整合	277
1.50.9	USB デバイス認識/接続失敗	278
1.51	USB マスストレージ制御関連のメッセージ	279
1.51.1	USB マスストレージクラスデバイスの認識成功	279
1.51.2	USB マスストレージクラスデバイスの認識失敗	279
1.51.3	USB デバイス抜去待ち状態	279
1.51.4	USB デバイスエラー発生	279
1.51.5	複数の USB デバイスが接続された	280
1.51.6	USB デバイスクラス判定失敗	280
1.52	外部メディアスタート機能のメッセージ	281
1.52.1	外部メディアスタート機能の動作の開始	281
1.52.2	外部メディアスタート機能の動作開始時のログファイルエラー	281
1.52.3	外部メディアスタート機能の動作開始時のパスワード認証エラー	281
1.52.4	外部メディアスタート機能の動作開始時のコマンドファイル作成エラー	281
1.52.5	外部メディアスタート機能の動作開始時のコマンドファイル読み込みエラー	282
1.52.6	外部メディアスタート機能の動作開始時の状態ファイルのエラー	282
1.52.7	外部メディアスタート機能の動作開始時の時刻取得エラー	282
1.52.8	外部メディアスタート機能の動作の完了	282
1.52.9	外部メディアスタート機能の動作のエラー終了	282
1.53	コンフィグトライアル機能のメッセージ	284
1.53.1	コンフィグトライアル機能の動作の開始	284
1.53.2	コンフィグトライアル機能による切り戻し動作の実行	284
1.53.3	コンフィグトライアル機能による切り戻し動作のエラー終了	284
1.53.4	コンフィグトライアル機能の動作のキャンセル	284
1.54	メモリ予兆監視機能関連のメッセージ	285
1.54.1	メモリ予兆監視機能メモリ枯渇状態	285
1.55	端末可視化機能関連のメッセージ	286
1.55.1	端末可視化機能の起動、停止	286
1.55.2	端末可視化機能の起動失敗	286
1.56	LTE/3G モジュールの PIN 認証機能関連メッセージ	287
1.56.1	データ通信モジュール初期化失敗(構成定義 PIN 照合なし、データ通信モジュール PIN 照合あり)	287
1.56.2	データ通信モジュール初期化失敗(PIN 照合失敗)	287
1.56.3	データ通信モジュール初期化失敗(PIN ロック発生)	287

1.56.4	データ通信モジュール初期化失敗(PIN ロック状態)	288
1.56.5	データ通信モジュール初期化失敗(PUK ロック状態)	288
1.56.6	PIN 制御コマンド実行エラー(enable, disable, change)(PIN 照合失敗)	288
1.56.7	PIN 制御コマンド実行エラー(enable, disable, change)(PIN ロック発生)	289
1.56.8	PIN 制御コマンド実行エラー(unlock)(PUK 入力エラー)	289
1.56.9	PIN 制御コマンド実行エラー(unlock)(PUK ロック発生)	289
1.56.10	構成定義PIN 照合あり、データ通信モジュールPIN 照合なしで運用中	290
1.56.11	データ通信モジュール異常検出	290
1.56.12	内蔵データ通信モジュールのファームウェア更新開始	290
1.56.13	内蔵データ通信モジュールのファームウェア更新成功	291
1.56.14	内蔵データ通信モジュールのファームウェア更新失敗	291
1.57	NDProxy 機能のメッセージ	293
1.57.1	内部 lan インターフェースから RA を受信	293
1.57.2	外部 lan インターフェースから Proxybit に 1 が設定された RA を受信	293
1.58	MAP-E 機能のメッセージ	294
1.58.1	MAP-E 機能の起動失敗	294
1.59	その他のメッセージ	295
1.59.1	データ通信モジュール接続の課金情報のクリア	295
1.59.2	システムリセットエラー	295
1.59.3	動的定義反映実行	296
1.59.4	重複メッセージの省略	296
1.59.5	スケジュール機能による実行	296
1.59.6	コマンド実行履歴	296
1.59.7	自動設定モードへの移行	297
1.59.8	自動設定モードへの移行失敗	297
1.59.9	自動設定モードへの移行抑止	298
1.59.10	トラフィック可視化アプリのプロセス再生成	298
1.60	SIP 切断理由番号一覧	299

第1章 システムログ情報一覧

1.1 システムのメッセージ

1.1.1 システム起動

【メッセージ】

```
init: system startup now.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

システムが起動したことを示します。

1.1.2 システムダウン検出

【メッセージ】

```
init: system down occurred. down code <code>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動作異常によるシステムダウンを検出したエラーログ情報が存在していることを示します。

【パラメタの意味】

<code>

異常検出対象となったエラーログ情報のシステムダウンコード

1.1.3 RTC 異常検出

【メッセージ】

```
init: RTC acknowledge error occurred.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

時刻バックアップを行う RTC の動作異常を検出したことを示します。

1.1.4 システム起動失敗

【メッセージ】

```
init: broken <firmware>. rollback to <firmware>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定されたシステム(ファームウェア)起動に失敗したため、反対面に格納されたシステム(ファームウェア)で起動しました。

【パラメタの意味】

<firmware>

ファームウェアの番号

1.2 構成定義関連のメッセージ

1.2.1 ethergroup bridgegroup コマンド

【メッセージ】

```
protocol: ethergroup <group> bridgegroup is not attached: bridgegroup is ignored in vlan mode.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VLAN モードが設定されているため、ethergroup bridgegroup 定義を無視したことを示します。

【パラメタの意味】

<group>
ether グループ番号

1.2.2 ether duplex コマンド

【メッセージ】

```
protocol: ether <group> <port> duplex half definition is ignored.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ether duplex 定義による、半二重モード指定が不適切なため、設定を無視したことを示します。

【パラメタの意味】

<group>
ether グループ番号
<port>
ether ポート番号

【注意】

ポート種別が metal でリンクアップした場合に有効なシステムログです。

1.2.3 ether mdi コマンド

【メッセージ】

```
protocol: ether <group> <port> mdi <mdi_mode> definition is ignored.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ether mdi 定義による、各モード指定が不適切なため、設定を無視したことを示します。

【パラメタの意味】

<group>
ether グループ番号

<port>
ether ポート番号

<mdi_mode>

auto
自動設定モード

mdi
MDI 固定モード

【注意】

ポート種別が metal でリンクアップした場合に有効なシステムログです。

1.2.4 ether type backup, backup コマンド

【メッセージ】

```
protocol: ether <group> <port> type backup <group> definition is invalid.  
ether <group> <port> <priority> definition exists already.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

すでにバックアップポートのマスタポートまたはバックアップポートが設定されているため、このポートがバックアップポートに設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<group>
ether グループ番号

<port>
ether ポート番号

<group>
バックアップグループ番号

<priority>
ポートの優先度 (master-port, backup-port)

【メッセージ】

```
protocol: backup <group> definition is invalid. <priority> is not defined.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バックアップポートのマスタポートまたはバックアップポートが未定義であるため、バックアップポートの設定が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<group>

バックアップグループ番号

<priority>

ポートの優先度 (master-port, backup-port)

1.2.5 ether type mirror コマンド

【メッセージ】

```
protocol: ether <group> <port> is not attached: mirror target already attached other ether.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ミラーターゲットがすでに若いETHERポートに設定されているため、この ether 定義が使用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<group>

ether グループ番号

<port>

ether ポート番号

【メッセージ】

```
protocol: ether <group> <port> is not attached: mirror source not available.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ミラーソースポートとして設定されているポート無効のため、この ether 定義が使用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<group>

ether グループ番号

<port>

ether ポート番号

1.2.6 ether vlan コマンド

【メッセージ】

```
protocol: ether <group> <port> vlan tagged <vid> definition is invalid.  
ether <group> <port> is untagged definition.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

この ether ポートには、同一の VLAN ID がタグなしとして設定されているため、タグありに設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<group>
ether グループ番号
<port>
ether ポート番号
<vid>
VLAN ID

【メッセージ】

```
protocol: ether <group> <port> vlan <vlan_type> <vid>  
not attached: <vid> is already definition other ether port.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された VID がすでに若い番号の ether 定義で使用されているため、この (vid) が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<group>
ether グループ番号
<port>
ether ポート番号
<vlan_type>
tagged
タグ付き
untagged
タグなし
<vid>
VLAN ID

【メッセージ】

```
protocol: ether <group> <port> vlan <vlan_type> <vid>  
not attached: <vid> is already definition other ether group.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された VID がすでに若い ETHER グループ番号の ether 定義で使用されているため、この (vid) が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<group>
ether グループ番号

<port>
ether ポート番号
<vlan_type>
tagged
タグ付き
untagged
タグなし
<vid>
VLAN ID

【メッセージ】

```
protocol: ether <group> <port> vlan <vlan_type> <vid> not attached: <vid> is reserved vlan.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された VID はシステム予約 VLAN として設定されているため、この (vid) が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<group>
ether グループ番号
<port>
ether ポート番号
<vlan_type>
tagged
タグ付き
untagged
タグなし
<vid>
VLAN ID

【メッセージ】

```
protocol: ether <group> <port> vlan <vid> is ignored in transparent mode.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

透過モードが設定されているため、この ether 定義では ether vlan 定義を無視したことを示します。

【パラメタの意味】

<group>
ether グループ番号
<port>
ether ポート番号

1.2.7 ether dot1x コマンド

【メッセージ】

```
protocol: ether <group> <port> dot1x not attached: dot1x is invalid in transparent mode.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

透過モードでは、IEEE802.1X 認証は無効であるため、該当 ether ポートで 802.1X 認証が無効になったことを示します。

【パラメタの意味】

<group>

ether グループ番号

<port>

ether ポート番号

1.2.8 ether macauth コマンド

【メッセージ】

```
protocol: ether <group> <port> macauth not attached: macauth is invalid in transparent mode.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

透過モードでは、MAC アドレス認証は無効であるため、該当 ether ポートで MAC アドレス認証が無効になったことを示します。

【パラメタの意味】

<group>

ether グループ番号

<port>

ether ポート番号

【メッセージ】

```
protocol: ether <group> <port> macauth authenticated-mac <count> definition is invalid. because <interface>  
macauth count <count> has same MAC address definition exists.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

同一 MAC アドレスがすでに指定済みのため、認証なし端末の登録が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<group>

ether グループ番号

<port>
ether ポート番号
<count>
定義番号

【メッセージ】

```
protocol: ether <group> <port> macauth authenticated-mac <count> definition is invalid. vlan <vid> is not defined.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された VLAN が未登録のため、認証なし端末の登録が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<group>
ether グループ番号
<port>
ether ポート番号
<count>
定義番号
<vid>
VLAN ID

1.2.9 ether dot1x コマンド, ether macauth コマンド

【メッセージ】

```
protocol: VLAN and port authentication cannot be defined at same time [ether <group> <port>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IEEE802.1X 認証、または MAC アドレス認証が、VLAN 定義された ether 定義で設定されたため、ポートが閉塞されたことを示します。

【パラメタの意味】

<group>
ether グループ番号
<port>
ether ポート番号

【メッセージ】

```
protocol: ether <group> <port> is not attached: authentication setting is invalid.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IEEE802.1X 認証、または MAC アドレス認証の設定内容に定義矛盾があるため、この ether 定義が使用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<group>
ether グループ番号
<port>
ether ポート番号

【メッセージ】

```
protocol: AAA group ID is not defined [ether <group> <port>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IEEE802.1X 認証、または MAC アドレス認証が使用する AAA のグループ ID が未設定であるため、ポートが閉塞されたことを示します。

【パラメタの意味】

<group>
ether グループ番号
<port>
ether ポート番号

1.2.10 pseudo-ether コマンド

【メッセージ】

```
protocol: pseudo-ether <number> is not attached: no line.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

pseudo-ether bind 定義が設定されていないため、この pseudo-ether 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<number>
pseudo-ether 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: pseudo-ether <number> is not attached: vlan untagged <vid> is already defined by ether port.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された VID がすでに ether 定義で使用されているため、この pseudo-ether 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

pseudo-ether 定義番号

<vid>

VLAN ID

【メッセージ】

```
protocol: pseudo-ether <number> is not attached: <vid> is reserved vlan.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された VID はシステム予約 VLAN として設定されているため、この pseudo-ether 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

pseudo-ether 定義番号

<vid>

VLAN ID

【メッセージ】

```
protocol: pseudo-ether vlan untag <vid> not attached: already attached to ether port.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された VID がすでに ether 定義で使用されているため、この (vid) が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<vid>

VLAN ID

【メッセージ】

```
protocol: pseudo-ether <number> vlan untag <vid> not attached: <vid> is already definition other pseudo-ether.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された VID がすでに若い番号の pseudo-ether 定義によって使用されているため、この (vid) が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

すでに使用されている UBS ポート番号

<vid>

すでに使用されている VLAN ID

【メッセージ】

```
protocol: pseudo-ether <number> is not attached: this line is already bound.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された USB ポートがすでに若い番号の pseudo-ether 定義によって使用されているため、この pseudo-ether 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

すでに使用されている UBS ポート番号

1.2.11 vlan コマンド

【メッセージ】

```
protocol: vlan <vid> is not attached: no available vid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

該当する VID の VLAN が ether 定義に設定されていないため、この定義は使用されないことを示します。

【パラメタの意味】

<vid>

VLAN VID

1.2.12 vlan forward コマンド

【メッセージ】

```
protocol: vlan <vid> forward <count> definition is invalid.  
<interface> port is not defined in vlan <vid>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定ポートが VLAN エントリされていないため、静的アドレス登録が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<vid>

VLAN ID

<count>

定義番号

<interface>

ether <グループ番号> <ポート番号>

1.2.13 vlan bridgegroup コマンド

【メッセージ】

```
protocol: vlan <vid> bridgegroup is not attached: ethergroup <group> used bridgegroup.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ethergroup でブリッジグループを定義したため、この vlan でブリッジグループを無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<vid>

VLAN VID

<group>

ether グループ番号

1.2.14 vlan arpauth コマンド

【メッセージ】

```
protocol: AAA group ID for ARP authentication is not defined [vlan <vid>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ARP 認証機能で使用する AAA のグループ ID が未設定であることを示します。

【パラメタの意味】

<vid>

VLAN ID

1.2.15 lan vlan コマンド

【メッセージ】

```
protocol: lan <number> vlan <vid> definition is invalid.  
vlan <vid> is not available.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

該当する VID の VLAN が有効でないため、この lan 定義が使用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

lan インタフェース定義番号

<vid>

VLAN VID

【メッセージ】

```
protocol: lan <number> vlan <vid> definition is invalid.  
same vid defined already other lan.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

該当する VID がすでにほかの lan 定義で使用されているため、この lan 定義が使用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

lan インタフェース定義番号

<vid>

VLAN VID

【メッセージ】

```
protocol: lan <number> vlan <vid> definition is invalid. vlan <vid> is reserved vlan.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された VID はシステム予約 VLAN として設定されているため、この lan 定義が使用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

lan インタフェース定義番号

<vid>

VLAN ID

【メッセージ】

```
protocol: lan <number> vlan 0 is not available in vlan mode.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VLAN モードが設定されているため、vlan 0 定義は無効であることを示します。

VLAN モードが設定されている場合は、<vid>は 1~4094 の範囲で指定する必要があります。

【パラメタの意味】

<number>

lan インタフェース定義番号

1.2.16 wan 定義無効

【メッセージ】

```
protocol: wan <no> is not attached: bind is not defined.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

利用する物理回線が設定されていないため、wan 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<no>

wan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: wan <no> is not attached: this line is already bound
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

wan bind 命令によって指定された物理回線が、別の wan 定義によってすでに使用されているために、この wan 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<no>

wan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: wan <no> condition is not attached: <param> is not defined.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

電波状態監視に必要な設定がされていないため、電波状態監視が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<no>

wan 定義番号

<param>

不足している設定

at

使用する AT コマンド設定

level

接続可能レベル設定

watch

監視間隔設定

connect mode

接続指示設定

1.2.17 接続先定義無効

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: no line
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

remote ap datalink bind 命令で指定された wan 定義が存在しないために、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: no available vid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

remote ap datalink bind 命令で指定された VLAN VID が存在しないために、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: illegal tunnel endpoint address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

tunnel endpoint address の設定が正しくないため、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: remote <remote> ap <ap> has same tunnel endpoint address as remote <other_remote> ap <other_ap>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

tunnel endpoint address が、異なる remote 定義の ap 定義ですでに設定されているため、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

<other_remote>

相手定義番号

<other_ap>

接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: same IPsec/IKE configuration in remote <other_remote> ap <other_ap>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec/IKE 通信用として定義した接続先情報が、異なる remote 定義の ap 定義ですでに設定されているため、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

<other_remote>

相手定義番号

<other_ap>

接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: same IPsec range
configuration in remote <other_remote> ap <other_ap>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec 通信用(自動鍵設定)として定義した IPsec 対象範囲が、異なる ap 定義ですでに設定されているため、この ap 定義が利用できないことを示します。

この syslog は、1 つの IKE SA で複数の IPsec SA を利用する設定で表示されます。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

<other_remote>

相手定義番号

<other_ap>

接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: same IPsec manual
configuration in remote <other_remote> ap <other_ap>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec 通信用(手動鍵設定)として定義した IPsec SA が、異なる remote 定義の ap 定義ですでに設定されているため、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

<other_remote>

相手定義番号

<other_ap>

接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: lack of configuration for IPsec.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec 定義に必要な情報の設定が欠けているために、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: lack of configuration for IKE.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IKE 定義に必要な情報の設定が欠けているために、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: reference remote  
<other_remote> ap <other_ap> IKE configuration is invalid.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

参照先の IKE 情報が有効でないため、この ap 定義が利用できないことを示します。この syslog は、1つの IKE SA で複数の IPsec SA を利用する設定で表示されます。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

<other_remote>

相手定義番号

<other_ap>

接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: unsupported datalink type
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された datalink type ではサポートされていないため ap が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

1.2.18 wan 定義有効化

【メッセージ】

```
protocol: wan <no> is attached: modemmodule is inserted
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下の理由により、wan 定義が利用できるようになったことを示します。

- ・ データ通信モジュールが検出された

【パラメタの意味】

<no>

wan 定義番号

1.2.19 wan 定義無効化

【メッセージ】

```
protocol: wan <no> is detached: modemmodule is ejected
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下の理由により、wan 定義が利用できなくなったことを示します。

- ・ データ通信モジュールが抜かれた
- ・ データ通信モジュール異常を検出した

【パラメタの意味】

<no>

wan 定義番号

1.2.20 接続先定義有効化

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is attached: modemmodule is inserted
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下の理由により、ap 定義が利用できるようになったことを示します。

- ・ データ通信モジュールが検出された

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

1.2.21 接続先定義無効化

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is detached: modemmodule is ejected
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下の理由により、ap 定義が利用できなくなったことを示します。

- ・ データ通信モジュールが抜かれた
- ・ データ通信モジュール異常を検出した

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

1.2.22 pseudo-ether 定義有効化

【メッセージ】

```
protocol: pseudo-ether <number> is attached: pseudo-ether is inserted.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下の理由により、pseudo-ether 定義が利用できるようになったことを示します。

- ・ pseudo-ether モジュールが検出された

【パラメタの意味】

<number>

pseudo-ether 定義番号

1.2.23 pseudo-ether 定義無効化

【メッセージ】

```
protocol: pseudo-ether <number> is detached: pseudo-ether is ejected.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下の理由により、pseudo-ether 定義が利用できなくなったことを示します。

- ・ pseudo-ether モジュールが抜去された

【パラメタの意味】

<number>

pseudo-ether 定義番号

1.2.24 アドレス重複

【メッセージ】

```
enabled: lan <no> has same network/address as lan <other_no>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<no>と<other_no> の LAN の IP ネットワーク、または IP アドレスが重複したことを示します。

【パラメタの意味】

<no>

lan 定義番号

<other_no>

lan 定義番号

【メッセージ】

```
enabled: remote <no> has same remote address as remote <other_no>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<no>と<other_no>の相手情報のリモート IP アドレスが重複したことを示します。

【パラメタの意味】

<no>

相手定義番号

<other_no>

相手定義番号

【メッセージ】

```
enabled: remote <no> has same remote address as loopback
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

loopback に設定されたアドレスと、<no>の相手情報のリモート IP アドレスが重複したことを示します。

【パラメタの意味】

<no>

相手定義番号

【メッセージ】

```
enabled: <interface> has same ipv6 prefix as <other_interface>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface>と<other_interface>の IPv6 プレフィックスが重複したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<other_interface>

インタフェース名

1.2.25 相手ネットワークまたは接続先定義無効

【メッセージ】

```
init: remote/ap number is out of range.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手定義番号または接続先定義番号が指定範囲を超えているか、接続先定義が本装置全体の定義可能数を超えているため、範囲外の相手定義/接続先定義は無効であることを示します。

本メッセージは、本装置の起動/再起動時に出力されます。また、構成定義関連のエラー詳細はコンソールに出力されます。

1.2.26 NAT 定義無効

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> NAT is unused: lack of memory. Initialization failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

NAT 初期化時にメモリ枯渇になり NAT の初期化が成功しないで、NAT でパケットのアドレス変換がなされない状態になったことを示します。メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<no>

lan 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> NAT is unused: lack of memory. Initialization failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

NAT 初期化時にメモリ枯渇になり NAT の初期化が成功しないで、NAT でパケットのアドレス変換がなされない状態になったことを示します。メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

1.2.27 IP フィルタ定義無効

【メッセージ】

```
protocol: rmt<no> ip filter is unused: lack of memory. Initialization failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

IP フィルタ初期化時にメモリ枯渇になり初期化が成功しないで、IP フィルタが無効な状態になったことを示します。メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<no>

rmt インタフェース番号

【メッセージ】

```
protocol: rmt<no> ipv6 filter is unused: lack of memory. Initialization failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

IPv6 フィルタ初期化時にメモリ枯渇になり初期化が成功しないで、IPv6 フィルタが無効な状態になったことを示します。メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<no>

rmt インタフェース番号

1.2.28 TOS/Traffic Class 値書き換え定義無効

【メッセージ】

```
protocol: rmt<no> ip tos is unused: lack of memory. Initialization failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

TOS 値書き換え初期化時にメモリ枯渇になり初期化が成功しないで、TOS 値書き換えが無効な状態になったことを示します。メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<no>

rmt インタフェース番号

【メッセージ】

```
protocol: rmt<no> ipv6 trafficclass is unused: lack of memory. Initialization failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

IPv6 Traffic Class 値書き換え初期化時にメモリ枯渇になり初期化が成功しないで、IPv6 Traffic Class 値書き換えが無効な状態になったことを示します。

メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<no>

rmt インタフェース番号

1.2.29 Ingress ポリシールーティング定義無効

【メッセージ】

```
protocol: rmt<no> ip in-policy is unused: lack of memory. Initialization failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

Ingress ポリシールーティング初期化時にメモリ枯渇になり初期化が成功しないで、Ingress ポリシールーティングが無効な状態になったことを示します。

メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<no>

rmt インタフェース番号

【メッセージ】

```
protocol: rmt<no> ipv6 in-policy is unused: lack of memory. Initialization failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

IPv6 Ingress ポリシールーティング初期化時にメモリ枯渇になり初期化が成功しないで、IPv6 Ingress ポリシールーティングが無効な状態になったことを示します。

メモリ不足の原因を解消してから再起動してください。

【パラメタの意味】

<no>

rmt インタフェース番号

1.2.30 UPnP 関連の定義矛盾

【メッセージ】

```
ssdpd: no UPnP external interface.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VoIP NAT トラバーサル機能で使用する外部インタフェースがありません。UPnP は動作しますが、定義にエラーがあることが通知されます。NAT を使用する lan 定義または remote 定義がない場合に出力されます。

【メッセージ】

```
ssdpd: no UPnP internal interface. UPnP is not available.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VoIP NAT トラバーサル機能で使用する内部インタフェースがありません。UPnP は動作しません。NAT を使用しない lan 定義がない場合に出力されます。

1.2.31 IPv6 DHCP 関連の定義矛盾

【メッセージ】

```
dhcp6cd: <interface> is not initialized. <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP クライアントに必要な情報の設定不足、または設定不正のため、利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<reason>

理由

there is no option to request.

IPv6 DHCP サーバに要求するオプションがない

【メッセージ】

```
dhcp6relay: <interface> is not initialized. <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP リレーエージェントに必要な情報の設定不足、または設定不正のため、利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<reason>

理由

relay interface omitted.

リレー先インタフェースが指定されていない

1.2.32 template 定義無効

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available :this line is already bound other template.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

template datalink bind 命令で指定された回線が別のテンプレート定義によってすでに使用されているため、このテンプレート定義を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available :no pooled interface.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

テンプレート着信に使用するインタフェース定義がないため、このテンプレート定義を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available :pooled interface is already configured on remote.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

テンプレート用に予約したインタフェースに該当する remote 定義がすでに設定されているため、このテンプレート定義を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: unsupported datalink type by the combined function.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

template combine use 命令で指定された機能ではサポートしていない回線種別のため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: same IPsec tunnel endpoint address in template <other_template>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec 通信用(AAA を利用)として定義した IPsec トンネルアドレスが、異なるテンプレート定義ですでに設定されているため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

<other_template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: lack or invalid IPsec configuration.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec 定義に必要な情報の設定不足、または設定不正のため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: lack or invalid IKE configuration.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IKE 定義に必要な情報の設定不足、または設定不正のため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: illegal tunnel endpoint address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

tunnel endpoint address の設定が正しくないため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: lack or invalid DVPN configuration.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN 定義に必要な情報の設定不足、または設定不正のため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: address family of server address contradicts ua.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN サーバとクライアントのアドレスファミリが矛盾しているため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: address family of global contradicts tunnel local.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VPN 通信の終端グローバルアドレスと自側エンドポイントのアドレスファミリが矛盾しているため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

1.2.33 動的 VPN サーバ定義無効

【メッセージ】

```
protocol: address family is contradicts, ignore server <count> of remote <remote> ap <ap> dvpn client <number>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN サーバのアドレスファミリが矛盾しているため、<number>で示される動的 VPN クライアント情報の <count>で設定されている動的 VPN サーバ定義を無視したことを示します。

【パラメタの意味】

<count>

動的 VPN サーバ定義番号

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

<number>

動的 VPN クライアント定義番号

【メッセージ】

```
protocol: address family is contradicts, ignore server <count> of template <template>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN サーバのアドレスファミリが矛盾しているため、<count>で設定されている動的 VPN サーバ定義を無視したことを示します。

【パラメタの意味】

<count>

動的 VPN サーバ定義番号

<template>

テンプレート定義番号

1.2.34 スタティック経路の ECMP 数オーバ

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the number of ECMP routes has reached maximum.  
<route> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スタティック経路の追加時に、該当経路の ECMP 数が最大値に達しているため、新たな経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route>
破棄した経路情報
<protocol>
プロトコル種別

1.2.35 ECMP 対象となるスタティック経路のメトリック矛盾

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the metric is contradictory. <route> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メトリックの異なる経路を ECMP 経路として登録しようとしたため、新たな経路を破棄したことを示します。同じあて先に複数の経路を ECMP 経路として登録する場合、メトリックが同じである必要があります。

【パラメタの意味】

<route>
破棄した経路情報
<protocol>
プロトコル種別

1.2.36 スタティック ARP 無効

【メッセージ】

```
nsm: This static ARP entry became invalid. <dst> of <interface>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

設定されたインタフェースに IPv4 アドレスがない、または、インタフェースアドレスの範囲外となるあて先 IP アドレスが指定されているため、スタティック ARP エントリが無効な状態になったことを示します。DHCP クライアントが有効なインタフェース上では、このメッセージは出力されません。

【パラメタの意味】

<dst>
あて先 IP アドレス
<interface>
インタフェース名

1.2.37 IPv6 スタティック経路の ECMP 不可

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the number of ECMP routes has reached maximum. <prefix/prefixlen> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

イコールコストとなる経路がすでに存在しているため、新たに追加しようとしたスタティック経路を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix/prefixlen>

破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.2.38 マルチキャストのメッセージ

【メッセージ】

```
<name>: <interface> is disable for multicast. (too many interface)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェース数の上限を超えたため、マルチキャストインタフェースとして動作しないことを示します。

【パラメタの意味】

<name>

動作しているプロトコル

pimdmd

PIM-DM

pimsm

PIM-SM

mstaticd

マルチキャスト・スタティックルーティング

<interface>

インタフェース名

【メッセージ】

```
<name>: <interface> is disable for multicast. (different protocol)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ほかのインタフェースで指定されたマルチキャスト・ルーティングプロトコルと異なるプロトコルが指定されたため、マルチキャストインタフェースとして動作しないことを示します。

【パラメタの意味】

<name>

動作しているプロトコル

pimdmd

PIM-DM

pimsm

PIM-SM

mstaticd

マルチキャスト・スタティックルーティング

<interface>

インタフェース名

【メッセージ】

```
<name>: <interface> is disable for multicast. (unnumbered interface)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IP アドレスが設定されていないインタフェースのため、マルチキャストインタフェースとして動作しないことを示します。

【パラメタの意味】**<name>**

動作しているプロトコル

pimdmd

PIM-DM

pimsm

PIM-SM

mstaticd

マルチキャスト・スタティックルーティング

<interface>

インタフェース名

【メッセージ】

```
pimsm: Invalid Cand-RP address.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Candidate RP に指定した IP アドレスが不正のため、RP として動作しないことを示します。

【メッセージ】

```
pimsm: Cand-RP address is not local.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Candidate RP に指定した IP アドレスを持つインタフェースが存在しないため、RP として動作しないことを示します。

【メッセージ】

```
pimsmc: Invalid Cand-BSR address.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Candidate BSR に指定した IP アドレスが不正のため、BSR として動作しないことを示します。

【メッセージ】

```
pimsmc: Cand-BSR address is not local.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Candidate BSR に指定した IP アドレスを持つインタフェースが存在しないため、BSR として動作しないことを示します。

【メッセージ】

```
pimsmc: multiple own address for static RP
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スタティック RP として自身の IP アドレスが重複指定されていることを示します。

【メッセージ】

```
mstaticd: multicast ipv4 static route <count> is unavailable(include invalid interface)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

マルチキャスト・スタティックルーティング定義に不正なインタフェースが含まれるため、登録に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<count>

マルチキャスト・スタティックルーティング定義番号

1.2.39 VRID 重複設定

【メッセージ】

```
nsm: vrrp <interface> vrid<vrid> [<address>] is not initialized. this vrid is already used
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された VRID がすでに装置内で有効となっているため、この VRRP グループが利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<vrid>

無効となった VRID

<address>

VRID の仮想 IP アドレス

1.2.40 仮想ルータの IP アドレスインタフェースサブネット外設定

【メッセージ】

```
nsm: vrrp virtual router IP address out of interface subnet. <interface> vrid<vrid> <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

この VRRP グループの仮想ルータの IP アドレスが、インタフェースのサブネット外であることを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<vrid>

該当した VRID

<address>

サブネット外である仮想ルータの IP アドレス

1.2.41 仮想ルータの IP アドレスインタフェース同一アドレス設定

【メッセージ】

```
nsm: vrrp same invalid virtual router IP address as real  
IP address was set as backup. <interface> vrid<vrid> <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バックアップ設定である VRRP グループの仮想ルータの IP アドレスが、インタフェースの実 IP アドレスと同じであるため、この VRRP グループが利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<vrid>

無効となった VRID

<address>

実インタフェースと同じである仮想ルータの IP アドレス

1.2.42 VRRP グループ数の上限オーバ

【メッセージ】

```
nsm: vrrp <interface> vrid<vrid> [<address>] is not initialized. this vrid is over max group.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

本装置で動作可能なグループ数の上限を超えたため、この VRRP グループが利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<vrid>

無効となった VRID

<address>

VRID の仮想 IP アドレス

1.2.43 DHCP MAC アドレスチェック機能の AAA グループ ID 定義異常

【メッセージ】

```
<component>: AAA group ID is not defined [lan <no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

DHCP MAC アドレスチェック機能で使用する AAA のグループ ID が未設定であることを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- dhcpd

<no>

lan 定義番号

1.2.44 不当な SNMP エージェントアドレスの設定

【メッセージ】

```
<component>: illegal SNMP agent address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自装置の IP アドレスとして割り当てられていない IP アドレスが SNMP エージェントアドレスとして定義されています。そのため、SNMP エージェントおよび TRAP 機能では、自装置の IP アドレスを使用します。SNMP マネージャとは正常に通信できない場合があります。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- snmpd

1.2.45 RADIUS 機能の設定無効(他 RADIUS サーバ定義)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: aaa <group_id> radius service is not available:  
another aaa group is already configured as the radius server.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ほかの AAA グループで、RADIUS サーバとして使用することが設定されているため、指定された AAA グループの RADIUS 機能が無効となることを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>

AAA グループ ID

1.2.46 RADIUS 機能の設定無効(他 RADIUS クライアント定義)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: aaa <group_id> radius service is not available:  
another aaa group is already configured as the radius client.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ほかの AAA グループで、RADIUS クライアントとして使用することが設定されているため、指定された AAA グループの RADIUS 機能が無効となることを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>

AAA グループ ID

1.2.47 ログインユーザの AAA 情報定義矛盾

【メッセージ】

```
<component>: password aaa is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

管理者の AAA 情報または一般ユーザの AAA 情報が定義されているため、ログインユーザの AAA 情報定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- aaa_agentd

1.2.48 STP 定義矛盾

【メッセージ】

```
mstpd: stp is not attached: ethergroup <group> vlan mode disable.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ethergroup の VLAN モードが無効なため、STP 機能を無効にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<group>

ether グループ番号

1.2.49 STP (最大中継時間と最大有効時間の依存関係異常)

【メッセージ】

```
mstpd: Violates Forward delay - Max age relationship  $2 * (\text{<delay\_time>} - 1) \geq \text{<max\_age>}$ 
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

定義された最大中継遅延時間と最大有効時間の設定秒数が矛盾した設定であることを示します。
($2 * (\text{<delay_time>} - 1) \geq \text{<max_age>}$ でないことを示します)

【パラメタの意味】

<delay_time>

定義した最大中継遅延時間

<max_age>

定義した最大有効時間

1.2.50 STP (Hello メッセージ送信間隔と最大有効時間の依存関係異常)

【メッセージ】

```
mstpd: Violates Hello time - Max age relationship 2*(<hello> + 1) <= <max_age>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

定義された Hello メッセージ送信間隔と最大有効時間の設定秒数が矛盾した設定であることを示します。
(2*(<hello> + 1) <= <max_age>)でないことを示します

【パラメタの意味】

<hello>

定義した Hello メッセージ送信間隔時間

<max_age>

定義した最大有効時間

1.2.51 resource authenticated vlan コマンド

【メッセージ】

```
protocol: resource authenticated vlan <vid> not attached: <vid> is already definition other ether group.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された VID がすでに若い ETHER グループ番号の ether 定義で使用されているため、この (vid) が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<vid>

VLAN ID

【メッセージ】

```
protocol: resource authenticated vlan <vid> not attached: <vid> is reserved vlan.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された VID はシステム予約 VLAN として設定されているため、この (vid) が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<vid>

VLAN ID

1.2.52 internal-path コマンド

【メッセージ】

```
<component>: internal-path <int_num> definition is invalid. because vlan <vlan_id> is not defined.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定した VLAN ID の VLAN が有効でないため、内部パスが有効にならなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- protocol
- enabled

<int_num>

内部パス番号

<vlan_id>

VLAN ID

【メッセージ】

```
<component>: internal-path <int_num> definition is invalid. because the same vid already defined.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定した VLAN ID がすでに他の内部パスで使用されているため、内部パスが有効にならなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- protocol
- enabled

<int_num>

内部パス番号

【メッセージ】

```
<component>: internal-path <int_num> definition is invalid. because vlan <vlan_id> is reserved vlan.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定した VLAN ID がシステム予約 VLAN として設定されているため、内部パスが有効にならなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- protocol
- enabled

<int_num>

内部パス番号

<vlan_id>

VLAN ID

【メッセージ】

```
<component>: internal-path <int_num> definition is invalid. because vlan 0 is not available in vlan mode.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VLAN モードが設定されているため、vlan 0 定義は無効であることを示します。

VLAN モードが設定されている場合は、<vid>は 1~4094 の範囲で指定する必要があります。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- protocol
- enabled

<int_num>

内部パス番号

【メッセージ】

```
<component>: internal-path <int_num> definition is invalid. because ip address is used in lan <lan_num> definition.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IP アドレスが LAN の IP アドレスと重複しているため、内部パスが有効にならなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- protocol
- enabled

<int_num>

内部パス番号

<lan_num>

lan 定義番号

1.2.53 端末可視化機能

【メッセージ】

```
<component>: devscan definition is invalid. devscan vlan is not defined.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

監視する VLAN ID が指定されていないため、端末可視化機能が有効にならなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- devscand
- enabled

【メッセージ】

```
<component>: devscan vlan <vlan_id> definition is invalid. vlan <vlan_id> is reserved vlan.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定した VLAN ID がシステム予約 VLAN として設定されているため、端末可視化機能が有効にならなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- devscand
- enabled

<vlan_id>

VLAN ID

【メッセージ】

```
<component>: devscan vlan <vlan_id> definition is invalid. no valid internal-path with the same vid.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定した VLAN ID に関連付けする内部パスが未登録のため、端末可視化機能が有効にならなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- devscand
- enabled

<vlan_id>

VLAN ID

【メッセージ】

```
<component>: devscan vlan <vlan_id> definition is invalid. no address setting on internal-path <int_num>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定した VLAN ID に関連付けられた内部パスにアドレス設定がないため、端末可視化機能が有効にならなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- devscand
- enabled

<vlan_id>

VLAN ID

<int_num>

内部パス番号

【メッセージ】

```
<component>: devscan vlan <vlan_id> definition is invalid. mask setting is too small on internal-path <int_num>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定した VLAN ID に関連付けられた内部パスのマスク設定が 16 未満のため、端末可視化機能が有効にならなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- devscand
- enabled

<vlan_id>

VLAN ID

<int_num>

内部パス番号

【メッセージ】

```
<component>: devscan active-scan definition is ignored. access-control is enable.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ポート間アクセス制御が有効なため、アクティブスキャン定義が無視されたことを示します。

【パラメタの意味】**<component>**

出力コンポーネント名

- devscand
- enabled

1.2.54 NDProxy 機能定義無効

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> to lan <no> Already set: This definition is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定されたインターフェースは外部 lan、または内部 lan インターフェースとしてすでに定義されているため、この設定が有効にならなかったことを示します。

【パラメタの意味】**<no>**

外部 lan インターフェース

<no>

内部 lan インターフェース

1.2.55 MAP-E の動作に必須となる定義の不足

【メッセージ】

```
enabled: could not start map-e. <reason>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MAP-E の動作に必須となる定義に不足があり、MAP-E 機能が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】**<reason>**

invalid configuration.

map-e mode enable の設定がされているが、関連機能の定義に不足があることを示します。各機能で出力されるエラーメッセージを確認してください。

map-e internal-path definition is not set.

map-e mode enable の設定がされているが、使用する内部パスの設定がされていないことを示します。map-e internal-path の設定を確認してください。

internal-path did not up.

map-e mode enable の設定がされているが、内部パスが UP 状態にならず MAP-E 機能が動作しないことを示します。内部パスの設定を確認してください。

1.2.56 softwire type の定義矛盾

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: softwire type is invalid with map-e mode disable.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

map-e mode の定義が設定されていないため、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

1.2.57 softwire option の定義矛盾

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: softwire option is invalid.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

softwire option の定義が設定されていないため、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

1.2.58 softwire 定義済み

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: softwire is already in use on remote <other_remote>ap <other_ap>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

softwire 定義が異なる remote 定義の ap 定義ですでに設定されているため、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

<other_remote>

相手定義番号

<other_ap>

接続先定義番号

1.2.59 remote ap tunnel 定義矛盾

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: tunnel endpoint address must be set to :: with software type map-e.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

software type の定義が map-e に設定されていて tunnel endpoint address に :: が設定されていないため、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

1.2.60 remote ap local/remote 定義済み

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote > ap <ap > already has a tunnel endpoint address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された remote ap に remote ap tunnel local/remote コマンドによって tunnel endpoint address が定義されているため、動的に tunnel endpoint address を設定できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

1.2.61 MAP-E 構成定義矛盾

【メッセージ】

```
enabled: <interface> has same ipv6 address mapce-auto as <other_interface>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface>と<other_interface>の RA で受信したプレフィックスと MAP ルールから求めた CE アドレスを使用するための設定が重複したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<other_interface>

インタフェース名

【メッセージ】

```
enabled: no available lan ipv6 address mapce-auto.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

lan 定義の IPv6 アドレスに mapce-auto の設定が 1 つもないことを示します。

【パラメタの意味】

なし

1.2.62 option-c-rule 未定義

【メッセージ】

```
proxydns: there is option-c-ddns definition without option-c-rule definition on <interface>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

proxydns domain コマンドで option-c-ddns が設定されているのに option-c-rule が設定されていないことを示します。option-c-rule の設定を行ってください。

【パラメタの意味】

<interface>

proxydns domain コマンドで option-c-ddns が設定されたインタフェース

1.3 ACL 関連のメッセージ

本章に記載されている<config>(ACL 参照定義)に表示される定義内容を以下に示します。

<config>

IP フィルタ定義

- lan <number> ip filter <count>
- lan <number> ipv6 filter <count>
- remote <number> ip filter <count>
- remote <number> ipv6 filter <count>
- template <number> ip filter <count>
- template <number> ipv6 filter <count>

TOS/Traffic Class 書き換え定義

- lan <number> ip tos <count>
- lan <number> ipv6 trafficclass <count>
- remote <number> ip tos <count>
- remote <number> ipv6 trafficclass <count>
- template <number> ip tos <count>
- template <number> ipv6 trafficclass <count>

帯域制御(WFQ)定義

- ether <group> <port> priority ip <count>
- ether <group> <port> priority ipv6 <count>
- lan <number> ip priority <count>
- lan <number> ipv6 priority <count>
- remote <number> ip priority <count>
- remote <number> ipv6 priority <count>
- template <number> ip priority <count>
- template <number> ipv6 priority <count>

動的VPN定義

- remote <number> ip dvpn <count>
- remote <number> ipv6 dvpn <count>

Ingress ポリシールーティング定義

- lan <number> ip in-policy <count> policy-group <policy-group_number> pattern <pattern_count>
- lan <number> ipv6 in-policy <count> policy-group <policy-group_number> pattern <pattern_count>
- remote <number> ip in-policy <count> policy-group <policy-group_number> pattern <pattern_count>
- remote <number> ipv6 in-policy <count> policy-group <policy-group_number> pattern <pattern_count>
- template <number> ip in-policy <count> policy-group <policy-group_number> pattern <pattern_count>
- template <number> ipv6 in-policy <count> policy-group <policy-group_number> pattern <pattern_count>

MAC フィルタ定義

- vlan <vid> bridgegroup macfilter <count>
- remote <number> bridgegroup macfilter <count>

NAT アドレス変換対象定義

- lan <number> ip nat permit <count>
- remote <number> ip nat permit <count>
- template <number> ip nat permit <count>

<group>

ether グループ番号

<port>

ether ポート番号

<number>

lan、remote、template 定義番号

<count>

各定義の優先順位

<policy-group_number>

ポリシーグループ番号

<pattern_count>

ポリシーグループパターン定義番号

<vid>

VLAN ID

1.3.1 ACL 定義矛盾 (MAC を無視)

【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> mac is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、MAC に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config>

ACL 参照定義

<acl_count>

ACL 定義番号

1.3.2 ACL 定義矛盾 (IP を無視)

【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> ip is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、IP に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config>

ACL 参照定義

<acl_count>
ACL 定義番号

1.3.3 ACL 定義矛盾 (IPv6 を無視)

【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> ipv6 is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、IPv6 に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<component>
出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config>
ACL 参照定義

<acl_count>
ACL 定義番号

1.3.4 ACL 定義矛盾 (TCP を無視)

【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> tcp is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、TCP に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<component>
出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config>
ACL 参照定義

<acl_count>
ACL 定義番号

1.3.5 ACL 定義矛盾 (UDP を無視)

【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> udp is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、UDP に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config>

ACL 参照定義

<acl_count>

ACL 定義番号

1.3.6 ACL 定義矛盾 (ICMP を無視)

【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> icmp is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、ICMP に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config>

ACL 参照定義

<acl_count>

ACL 定義番号

1.3.7 ACL 定義矛盾 (ACL 定義存在せず)

【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> doesn't exist
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義が存在しないため、<config>で示す定義が無効であることを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config>

ACL 参照定義

<acl_count>

存在しない ACL 定義番号

1.3.8 ACL 定義矛盾 (必要な定義が存在しないために無効)

【メッセージ】

```
<component>: <config> acl <acl_count> is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義で必要な定義がないため、<config>で示す定義が無効であることを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config>

ACL 参照定義

<acl_count>

無効として扱う ACL 定義番号

1.4 ポリシーグループ関連のメッセージ

本章に記載されている<config>(ポリシーグループ参照定義)に表示される定義内容を以下に示します。

<config>

Ingress ポリシールーティング定義

- lan <number> ip in-policy <count>
- lan <number> ipv6 in-policy <count>
- remote <number> ip in-policy <count>
- remote <number> ipv6 in-policy <count>
- template <number> ip in-policy <count>
- template <number> ipv6 in-policy <count>

<number>

lan、remote、または template 定義番号

<count>

各定義の優先順位

1.4.1 ポリシーグループ定義矛盾(必須定義不足)

【メッセージ】

```
<component>: <config> policy-group <policy-group_number> <parameter> doesn't exist
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<policy-group_number>のポリシーグループの必須定義に不足があり、<config>で示す定義が無効であることを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config>

ポリシーグループ参照定義

<policy-group_number>

ポリシーグループ定義番号

<parameter>

存在しないポリシーグループ必須定義

- pattern
- interface

IPv4 定義コマンド

- nexthop(interface が lan の場合だけ)

IPv6 定義コマンド

- nexthop6(interface が lan の場合だけ)

1.4.2 ポリシーグループ定義矛盾(ポリシーグループ定義存在せず)

【メッセージ】

```
<component>: <config> policy-group <policy-group_number> doesn't exist
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<policy-group_number>のポリシーグループ定義が存在しないため、<config>で示す定義が無効であることを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config>

ポリシーグループ参照定義

<policy-group_number>

存在しないポリシーグループ定義番号

1.4.3 ポリシーグループ定義矛盾 (nexthop 無効)

【メッセージ】

```
<component>: <config> policy-group <policy-group_number> nexthop is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<policy-group_number>のポリシーグループ定義に定義矛盾があり、nexthopに関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config>

ポリシーグループ参照定義

<policy-group_number>

ポリシーグループ定義番号

1.4.4 ポリシーグループ定義矛盾 (nexthop6 無効)

【メッセージ】

```
<component>: <config> policy-group <policy-group_number> nexthop6 is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<policy-group_number>のポリシーグループ定義に定義矛盾があり、nexthop6 に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- enabled
- protocol

<config>

ポリシーグループ参照定義

<policy-group_number>

ポリシーグループ定義番号

1.4.5 ポリシーグループセッション監視メッセージ

【メッセージ】

```
icmpwatchd: policy-group watching host is down. <target>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Ingress ポリシールーティングセッション監視の監視ホスト、または接続回線に障害が発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<target>

policy-group ポリシーグループ番号

【メッセージ】

```
icmpwatchd: policy-route watching host is up. <target>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Ingress ポリシールーティングセッション監視の監視ホスト、または接続回線が復旧したことを示します。

【パラメタの意味】

<target>

policy-group ポリシーグループ番号

1.5 IEEE802.1X 認証関連のメッセージ

1.5.1 IEEE802.1X 認証初期化失敗

【メッセージ】

```
authd: open_suppllicant: Error opening socket (<errno>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IEEE802.1X 認証用のソケットの生成に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<errno>

エラー番号

1.5.2 認証成功

【メッセージ】

```
authd: Suppllicant is accepted on <interface> [<mac_addr> user=<username> type=<type>  
VLAN ID=<vid>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IEEE802.1X 認証による認証が成功したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

ether <ether グループ番号> <ether ポート番号>

<mac_addr>

認証される端末の MAC アドレス

<username>

ユーザ名

<type>

認証プロトコル

以下のどれかが表示されます。

- TTLS
- TLS
- PEAP
- MD5

<vid>

割り当てられた VLAN ID

1.5.3 認証失敗

【メッセージ】

```
authd: Suppllicant is denied on <interface> [<mac_addr> user=<username>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IEEE802.1X 認証により認証が拒否されたことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

ether <ether グループ番号> <ether ポート番号>

<mac_addr>

認証される端末の MAC アドレス

<username>

ユーザ名

1.5.4 ユーザログオフ

【メッセージ】

```
authd: Supplicant is logged-off on <interface> due to user request [<username>] [in Connecting state]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ユーザからの要求によりログオフしたことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

ether <ether グループ番号> <ether ポート番号>

<username>

ユーザ名

in Connecting state

IEEE802.1X 認証開始時にログオフ要求を受信したことを示します。

1.5.5 ユーザの強制ログオフ

【メッセージ】

```
authd: Supplicant is logged-off on <interface> due to link error or reconfiguration [<username>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンク異常または構成定義変更によりユーザを強制的にログオフにしたことを示します。
また、dot1xctl initialize コマンドによりポートが初期化された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<interface>

ether <ether グループ番号> <ether ポート番号>

<username>

ユーザ名

1.5.6 VLAN 登録失敗

【メッセージ】

```
authd: VLAN registration failed [<interface>, user=<username>, VLAN ID=<vid>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

登録しようとした VLAN ID と同一 ID のポートが存在しないなどの理由により登録に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

ether <ether グループ番号> <ether ポート番号>

<username>

ユーザ名

<vid>

登録しようとした VLAN ID

1.5.7 メモリ不足による課金開始または課金終了の失敗

【メッセージ】

```
authd: accounting <request> request failed for <username>/<mac_addr>(<interface>) on aaa <aaa_gid>: memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

メモリ不足により課金開始または課金終了要求の送信に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<request>

課金要求の種別

start

課金開始要求

stop

課金終了要求

<username>

ユーザ名

<mac_addr>

認証される端末の MAC アドレス

<interface>

ether <ether グループ番号> <ether ポート番号>

<aaa_gid>

AAA グループ ID

1.5.8 メモリ不足による認証失敗

【メッセージ】

```
authd: authentication request failed for <username>/<mac_addr>(<interface>) on aaa <aaa_gid>: memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

メモリ不足により認証が失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<username>

ユーザ名

<mac_addr>

認証される端末の MAC アドレス

<interface>

ether <ether グループ番号> <ether ポート番号>

<aaa_gid>

AAA グループ ID

1.5.9 認証サーバの通知メッセージ異常

【メッセージ】

```
authd: EAP packet cannot be found within RADIUS/AAA response [<interface>:mac=<mac_addr>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証サーバ側の設定などの要因により、認証サーバから通知された応答に EAP パケットが含まれていなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

ether <ether グループ番号> <ether ポート番号>

<mac_addr>

認証される端末の MAC アドレス

1.5.10 VLAN 情報なしによるデフォルト VLAN への割り当て

【メッセージ】

```
authd: no tunnel attribute is included [<interface>, user=<username>, VLAN ID=<vid>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証サーバからの認証成功通知の中にユーザに割り当てる VLAN 情報が含まれていなかったためにデフォルト VLAN で登録されたことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

ether <ether グループ番号> <ether ポート番号>

<username>

ユーザ名

<vid>

割り当てられた VLAN ID

1.5.11 認証サーバからの通知情報異常によるデフォルト VLAN への割り当て

【メッセージ】

```
authd: illegal tunnel attribute is contained [<interface>, user=<username>, VLAN ID=<vid>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証サーバからの認証成功通知の中に含まれる VLAN 情報に不当なデータが検出されたためにデフォルト VLAN で登録されたことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

ether <ether グループ番号> <ether ポート番号>

<username>

ユーザ名

<vid>

割り当てられた VLAN ID

1.5.12 認証再試行

【メッセージ】

```
authd: authentication is restarted on <interface> [cause=<cause>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<cause>で示された要因により認証処理を再試行したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

ether <ether グループ番号> <ether ポート番号>

<cause>

認証再試行の要因。表示される要因には以下のものがあります。

EAPOL-start

認証途中の EAPOL-start メッセージ受信

EAPOL-logoff

認証途中の EAPOL-logoff メッセージ受信

supplicant timeout

認証途中のサブリカントからのメッセージ受信タイムアウト発生

1.5.13 最大 ID 長オーバ

【メッセージ】

```
authd: Identity Response is ignored on <interface> (too long user name) [user=<username>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

端末 (Supplicant) から通知されたユーザ名がシステムで扱える最大長を超えたため、メッセージが無視されたことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

ether <ether グループ番号> <ether ポート番号>

<username>

ユーザ名

1.5.14 収容サブリカント数オーバ

【メッセージ】

```
authd: Supplicant is denied on <interface> because of over supplicant limit [<macaddr>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

収容可能な端末 (Supplicant) を超えて認証の要求を受信したために、認証を拒否したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

ether <ether グループ番号> <ether ポート番号>

<macaddr>

端末の MAC アドレス

1.5.15 認証タイムアウト

【メッセージ】

```
authd: retry over in Connecting state on <interface> [user=<username>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IEEE802.1X 認証開始時に、EAP-Identity の再送タイムアウトが発生したことを示します。

【パラメタの意味】**<interface>**

ether <ether グループ番号> <ether ポート番号>

<username>

ユーザ名

1.6 MAC アドレス認証関連のメッセージ

1.6.1 認証成功

【メッセージ】

```
protocol: MAC authentication is accepted on <interface> [<mac_addr> vid=<vid>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MAC アドレス認証による認証が成功したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

ether <ether グループ番号> <ether ポート番号>

<mac_addr>

認証された端末の MAC アドレス

<vid>

割り当てられた VLAN ID

1.6.2 認証失敗

【メッセージ】

```
protocol: MAC authentication is denied on <interface> [<mac_addr>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MAC アドレス認証により認証が拒否されたことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

ether <ether グループ番号> <ether ポート番号>

<mac_addr>

認証された端末の MAC アドレス

【メッセージ】

```
protocol: MAC authentication is already reached the number of maximum terminals on <interface> [<mac_addr>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

すでに MAC アドレス認証で同時認証端末数まで認証済みのために、認証の実行が拒否されたことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

ether <ether グループ番号> <ether ポート番号>

<mac_addr>

認証された端末の MAC アドレス

1.6.3 VLAN 登録失敗

【メッセージ】

```
protocol: MAC authentication VLAN ID set failure on <interface> [<mac_addr> vid=<vid>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

登録しようとした VLAN ID と同一 ID のポートが存在しないなどの理由により、登録に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

ether <ether グループ番号> <ether ポート番号>

<mac_addr>

端末の MAC アドレス

<vid>

登録しようとした VLAN ID

1.6.4 MAC アドレス認証状態の終了

【メッセージ】

```
protocol: MAC authentication logout on <interface> [<mac_addr> vid=<vid>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MAC アドレス認証有効な状態から認証前の状態に戻ったことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

ether <ether グループ番号> <ether ポート番号>

<mac_addr>

端末の MAC アドレス

<vid>

割り当てられていた VLAN ID

1.6.5 VLAN 情報なしによるデフォルト VLAN への割り当て

【メッセージ】

```
protocol: no tunnel attribute is included [<interface>,mac=<address>,vid=<vid>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証サーバからの認証成功通知の中にユーザに割り当てる VLAN 情報が含まれていなかったためにデフォルト VLAN で登録されたことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

ether <ether グループ番号> <ether ポート番号>

<address>

端末の MAC アドレス

<vid>

割り当てられた VLAN ID

1.6.6 認証サーバからの通知情報異常によるデフォルト VLAN への割り当て

【メッセージ】

```
protocol: illegal tunnel attribute is contained [<interface>,mac=<address>,vid=<vid>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証サーバからの認証成功通知の中に含まれる VLAN 情報に不当なデータが検出されたためにデフォルト VLAN で登録されたことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

ether <ether グループ番号> <ether ポート番号>

<address>

端末の MAC アドレス

<vid>

割り当てられた VLAN ID

1.6.7 メモリ不足による認証失敗

【メッセージ】

```
protocol: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>: memory allocation failed. [<interface>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メモリ不足により認証が失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>

認証 ID

MAC アドレス認証対象端末の MAC アドレスを 16 進数 12 桁(コロンで区切らない)の小文字にしたもの

<group_id>

AAA グループ ID

<interface>

ether <ether グループ番号> <ether ポート番号>

1.7 ARP 認証関連のメッセージ

1.7.1 不正 MAC アドレス検出

【メッセージ】

```
protocol: ARP authentication illegal MAC address detected <mac_address>(<ip_addr>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ARP 認証機能が登録されていない MAC アドレスを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<mac_address>

登録されていない MAC アドレス

<ip_address>

ARP パケットの送信元 IP アドレス

1.7.2 登録済 MAC アドレス検出

【メッセージ】

```
protocol: ARP authentication accepted <mac_address>(<ip_addr>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ARP 認証機能が登録されている MAC アドレスを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<mac_address>

登録されている MAC アドレス

<ip_address>

ARP パケットの送信元 IP アドレス

1.7.3 オーバフロー

【メッセージ】

```
protocol: ARP authentication table overflow
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

端末管理用テーブルがオーバーフローしていることを示します。

【パラメタの意味】

なし

1.8 ルーティングマネージャのメッセージ

1.8.1 ルーティングテーブルオーバーフロー

【メッセージ】

```
nsm: routing table overflow. <route> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv4 ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route>

破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.8.2 スタティック経路の ECMP 数オーバ

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the number of ECMP routes has reached maximum. <route> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スタティック経路の追加時に、該当経路の ECMP 数が最大値に達しているため、新たな経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route>

破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.8.3 ECMP 対象となるスタティック経路のメトリック矛盾

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the metric is contradictory. <route> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メトリックの異なる経路を ECMP 経路として登録しようとしたため、新たな経路を破棄したことを示します。同じあて先に複数の経路を ECMP 経路として登録する場合、メトリックが同じである必要があります。

【パラメタの意味】

<route>

破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.8.4 スタティックエントリ数オーバフロー

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the number of static routes has reached maximum. <route> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スタティック経路を追加しようとした場合に、スタティック経路のエントリ数が最大値に達していたため、破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route>

破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.8.5 経路再登録の中断

【メッセージ】

```
nsm: Re-registration processing of the IPv4 route was interrupted.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv4 経路情報の再登録処理を中断しました。

1.8.6 IP アドレスの割り当て

【メッセージ】

```
nsm: <address> was assigned to <interface> from <protocol>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv4 DHCP サーバから獲得した IP アドレスをインタフェースに割り当てたことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

IP アドレス

<interface>

インタフェース名

<protocol>

プロトコル種別

1.8.7 IP アドレスの重複

【メッセージ】

```
nsm: <address> cannot be assigned to <interface> from <protocol>, because duplicated.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv4 DHCP サーバから獲得した IP アドレスが重複しているため、インタフェースに割り当てることができなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

IP アドレス

<interface>

インタフェース名

<protocol>

プロトコル種別

1.9 RA のメッセージ (IPv6)

1.9.1 デフォルトルータリストオーバーフロー

【メッセージ】

```
rtsold: overflow: default router list on <interface> from <src-addr>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースで受信可能なデフォルトルータの数を超えて RA を受信したため、デフォルトルータリストのエントリを作成しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

RA パケットを受信した論理インタフェース名

<src-addr>

RA パケットの送信元 IP アドレス

1.9.2 プレフィックスリストオーバーフロー

【メッセージ】

```
rtsold: overflow: prefix <prefix>/<prefixlen> on <interface> from <src-addr>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースで設定可能なグローバルアドレス数を超えて、RA の prefix 情報オプションを受信したため、prefix 情報オプションを無視したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>

無視した prefix 情報オプションの IPv6 プレフィックスとプレフィックス長

<interface>

RA パケットを受信した論理インタフェース名

<src-addr>

RA パケットの送信元 IP アドレス

1.10 RIP のメッセージ

1.10.1 パケット長異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid packet length(<length>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケットのパケット長が異常であることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<length>

RIP パケットのパケット長

1.10.2 バージョン異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid version(<version>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケットの RIP バージョンが 0 であることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<version>

RIP パケットの RIP バージョン番号

1.10.3 送信元ポート番号異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid source port(<port>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケット (RESPONSE) の送信元ポート番号が RIP ポート番号ではないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<port>

RIP パケットの送信元ポート番号

1.10.4 送信元 IP アドレス異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid source address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケット (RESPONSE) の送信元アドレスが本装置のセカンダリアドレスが属しているネットワークであることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

1.10.5 アドレスファミリー異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid address-family(<family>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のアドレスファミリーが AF_INET でないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<family>

RIP パケットで受信したアドレスファミリー

1.10.6 経路情報あて先異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid address (RTE=<address>/<mask> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のあて先がブロードキャストアドレス、または、ループバックアドレスであることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<address>

RIP パケットで受信したあて先アドレス

<mask>

RIP パケットで受信したマスク長

<metric>

RIP パケットで受信したメトリック

1.10.7 マスク長異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid mask (RTE=<address>/<mask> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のあて先が、マスク長の範囲を超えていることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<address>

RIP パケットで受信したあて先アドレス

<mask>

RIP パケットで受信したマスク長

<metric>

RIP パケットで受信したメトリック

1.10.8 メトリック異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid metric (RTE=<address>/<mask> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のメトリックが 0 である、または、16 よりも大きいことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<address>

RIP パケットで受信したあて先アドレス

<mask>

RIP パケットで受信したマスク長

<metric>

RIP パケットで受信したメトリック

1.10.9 RIP ルーティングテーブルオーバーフロー (RIP パケット受信)

【メッセージ】

```
ripd: RIP routing table overflow. <address>/<mask> from <src-addr>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たに受信した経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

破棄された経路情報のあて先

<mask>

破棄された経路情報のマスク長

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

1.10.10 RIP ルーティングテーブルオーバーフロー (再配布経路受信)

【メッセージ】

```
ripd: RIP routing table overflow. <address>/<mask> redistribute from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな再配布経路を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

破棄された経路情報のあて先

<mask>

破棄された経路情報のマスク長

<protocol>

再配布経路のルーティングプロトコル種別

1.10.11 インタフェース経路情報オーバフロー

【メッセージ】

```
ripd: connected route overflow. <address>/<mask>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

再配布されたインタフェース経路情報が上限値に達しているため、新たなインタフェース経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

破棄された経路情報のあて先

<mask>

破棄された経路情報のマスク長

1.11 OSPF のメッセージ

1.11.1 エリア ID 不一致

【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address>: ospf_read from <router_id> invalid Area ID <area_id>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースに設定されているエリア ID と受信したメッセージに設定されているエリア ID が異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

インタフェースのアドレス

<router_id>

ルータ ID

<area_id>

受信した OSPF メッセージヘッダに設定されているエリア ID

1.11.2 認証方式不一致

【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address>: ospf_read from <router_id> authentication type mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースに設定されている認証方式が相手装置と異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

インタフェースのアドレス

<router_id>

ルータ ID

1.11.3 テキスト認証鍵不一致

【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address>: ospf_read from <router_id> authentication failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースに設定されているテキスト認証鍵または MD5 認証鍵 ID が相手装置と異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

インタフェースのアドレス

<router_id>

ルータ ID

1.11.4 MD5 認証鍵不一致

【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address>: ospf_read from  
<router_id> md5 authentication failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースに設定されている MD5 認証鍵が相手装置と異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

インタフェースのアドレス

<router_id>

ルータ ID

1.11.5 ネットワークマスク長不一致

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[Hello]: From <router_id> NetworkMask mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置でインタフェースに設定されたマスク長が異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

ルータ ID

1.11.6 Hello パケット送信間隔の不一致

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[Hello]: From <router_id> HelloInterval mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置で Hello パケット送信間隔の設定値が異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

ルータ ID

1.11.7 隣接ルータ停止確認間隔の不一致

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[Hello]: From <router_id> RouterDeadInterval mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置で隣接ルータ停止確認間隔の設定値が異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

ルータ ID

1.11.8 エリアタイプの不一致

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[Hello]: From <router_id> option mismatch: my options: <my_option>, his options <his_option>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置で、エリアタイプの設定値が異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

ルータ ID

<my_option>

自装置に設定されているエリアタイプ

"2 transit"

transit エリア

"0 stub"

stub エリア

"8 nssa"

準 stub エリア (nssa)

"nnn unknown"

上記以外のエリアタイプ

nnn には、エリアタイプを示す値が表示されます。

<his_option>

router_id で示されるルータに設定されているエリアタイプ

"2 transit"

transit エリア

"0 stub"

stub エリア

"8 nssa"

準 stub エリア (nssa)

"nnn unknown"

上記以外のエリアタイプ

nnn には、エリアタイプを示す値が表示されます。

1.11.9 LSA 最大数オーバ

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[LS-Upd]: From <router_id> LSDB overflow.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

LSDB で、LSA 最大数を越えたことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

LSA 送信元ルータ ID

ルータ ID が自装置ルータ ID の場合、再配布経路を示します。

1.11.10 ルータ ID の重複

【メッセージ】

```
ospfd: RECV>Hello]: router-id <router_id> duplicated.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自装置と同じルータ ID を使用する装置を検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

ルータ ID

1.11.11 MTU 値の不一致

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[DD]: From <router_id> <interface>:<address> MTU mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

隣接ルータのインタフェースに設定されている MTU 値が、自装置よりも大きいことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

隣接ルータ ID

<interface>

インタフェース名

<address>

インタフェースのアドレス

1.11.12 SPF 計算テーブル数オーバ

【メッセージ】

```
ospfd: Area ID <area_id>: SPF calculation table overflow.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

SPF 計算テーブル数が許容範囲を超えたことを示します。

【パラメタの意味】

<area_id>

SPF 計算テーブル数が許容範囲を超えたエリア ID

1.11.13 OSPF 作業メモリアーバ

【メッセージ】

```
ospfd: Temporary memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

OSPF ルーティングで使用する作業メモリが許容範囲を超えたために経路情報の一部を破棄したことを示します。

1.11.14 受信可能サイズを超えたパケットの破棄

【メッセージ】

```
ospfd: RECV: packet from <address> ignored. (size too big)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<address> で示すアドレスから、受信可能サイズ以上の IP パケットを受信したため、該当パケットを破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

パケットの送信元 IP アドレス

1.11.15 隣接関係異常

【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address>: neighbor <router_id> down detection. (<old_state>->Down)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

OSPF 隣接ルータ停止確認間隔(dead interval)の間に Hello パケットを受信できず、隣接ルータとの OSPF 隣接関係が失われたことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

自装置のインタフェース名

<address>

自装置のインタフェースのアドレス

<router_id>

隣接ルータ ID

<old_state>

隣接関係が失われる前の隣接ルータとの状態

Full, Loading, Exchange, ExStart, 2-Way のどれかの状態

1.11.16 connected 経路オーバフロー

【メッセージ】

```
ospfd: connected route overflow. <route>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

再配布された connected 経路数が上限値に達しているため、新たな connected 経路を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route>

破棄した connected 経路情報

1.12 BGP4 のメッセージ

1.12.1 マーカフィールド異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 1/1 (Message Header Error/Connection Not Synchronized.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当なマーカフィールドを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>

received

相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

sending

自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.2 メッセージ長異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 1/2 (Message Header Error/Bad Message Length.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

規定長範囲外のメッセージ長のメッセージを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>

received

相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

sending

自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.3 メッセージタイプ異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 1/3 (Message Header Error/Bad Message Type.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポート外のメッセージタイプを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>

received

相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

sending

自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.4 メッセージヘッダ異常サブエラーコード認識不可

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 1/<subcode> (Message Header Error/Unrecognized Error Subcode) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メッセージヘッダ異常 NOTIFICATION を受信し、サブエラーコードを認識できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<subcode>

サブエラーコード

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.5 バージョン異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/1 (OPEN Message Error/Unsupported Version Number.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポート外の BGP バージョンのメッセージを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>

received

相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

sending

自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.6 AS 番号異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/2 (OPEN Message Error/Bad Peer AS.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

設定外の AS 番号または自側と同じ AS 番号を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>

received

相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

sending

自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.7 BGP-ID 異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/3 (OPEN Message Error/Bad BGP Identifier.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当な BGP-ID を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>

received

相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

sending

自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.8 サポート外オプション

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/4 (OPEN Message Error/Unsupported Optional Parameter.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポート外のオプションを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>

received

相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

sending

自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.9 認証異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/5 (OPEN Message Error/Authentication Failure.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>

received

相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

sending

自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.10 HOLD 時間受け入れ不可

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/6 (OPEN Message Error/Unacceptable Hold Time.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受け入れ不可な HOLD 時間を受信したことを示します。

【パラメタの意味】**<address>**

相手装置の IP アドレス

<direct>**received**

相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

sending

自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.11 ケイパビリティ受け入れ不可

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 2/7 (OPEN Message Error/Unsupported Capability.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受け入れ不可なケイパビリティを受信したことを示します。

【パラメタの意味】**<address>**

相手装置の IP アドレス

<direct>**received**

相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

sending

自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.12 OPEN メッセージ異常サブエラーコード認識不可

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 2/<subcode> (OPEN Message Header Error/Unrecognized Error Subcode)
<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

OPEN メッセージ異常 NOTIFICATION を受信し、サブエラーコードを認識できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<subcode>

サブエラーコード

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.13 属性異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/1 (UPDATE Message Error/Malformed Attribute List)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した属性の処理中に異常が発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>

received

相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

sending

自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.14 サポート外既知属性

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/2 (UPDATE Message Error/Unrecognized Well-known Attribute.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポート外の属性を既知属性として受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>

received

相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

sending

自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.15 既知属性の消失

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/3 (UPDATE Message Error/Missing Well-known Attribute.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

UPDATE メッセージを受信しましたが、必要な属性がすべてそろわなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>

received

相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

sending

自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.16 属性フラグ異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/4 (UPDATE Message Error/Missing Well-known Attribute.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

無効な属性フラグを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>

received

相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

sending

自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.17 属性長異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/5 (UPDATE Message Error/Attribute Length Error.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当な値の属性長を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>

received

相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

sending

自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.18 ORIGIN 属性異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/6 (UPDATE Message Error/Invalid ORIGIN Attribute.)<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当な値の ORIGIN 属性を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>

received

相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

sending

自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.19 メッセージループ

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 3/7 (UPDATE Message Error/AS Routing Loop.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手側で経路情報を通知するメッセージが AS 間でループしていることを検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

【パラメタの意味】**<address>**

相手装置の IP アドレス

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.20 NEXT-HOP 属性異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 3/8 (UPDATE Message Error/Invalid NEXT_HOP Attribute.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当な値の NEXT-HOP 属性を受信したことを示します。

【パラメタの意味】**<address>**

相手装置の IP アドレス

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.21 オプション属性異常

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 3/9 (UPDATE Message Error/Optional Attribute Error.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手側で不当なオプション属性を受信し、自側にその異常を通知したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.22 不当経路情報

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/10 (UPDATE Message Error/Invalid Network Field.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当な値の経路情報を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>

received

相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

sending

自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.23 不当 AS_PATH

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 3/11 (UPDATE Message Error/Malformed AS_PATH.) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不当な値の AS_PATH を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>

received

相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

sending

自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.24 UPDATE メッセージ異常サブエラーコード認識不可

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION 3/<subcode> (UPDATE Message Header Error/Unrecognized Error Subcode)
<detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

UPDATE メッセージ異常 NOTIFICATION を受信し、サブエラーコードを認識できなかったことを示します。

【パラメタの意味】**<address>**

相手装置の IP アドレス

<subcode>

サブエラーコード

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.25 HOLD 時間満了

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 4/0 (Hold Timer Expired) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手側との無通信状態がネゴシエーションした結果の HOLD 時間を経過したことを示します。

【パラメタの意味】**<address>**

相手装置の IP アドレス

<direct>**received**

相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

sending

自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.26 内部状態矛盾

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 5/0 (Finite State Machine Error) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

bgpd 内部の状態に矛盾が発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>

received

相手側で異常を検出し、自側にその異常を通知したことを示します。

sending

自側で異常を検出し、相手側にその異常を通知したことを示します。

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.27 BGP セッション終了

【メッセージ】

```
bgpd: <address> <direct> NOTIFICATION 6/0 (Cease) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

BGP のセッションを終了したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<direct>

received

相手側で BGP のセッションを終了したことを示します。

sending

自側で BGP のセッションを終了したことを示します。

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.28 エラーコード認識不可

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received NOTIFICATION <code>/<subcode> (Unrecognized Error Code/Unrecognized Error Subcode) <detail>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

NOTIFICATIONを受信し、エラーコードを認識できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<code>

エラーコード

<subcode>

サブエラーコード

<detail>

異常となった原因の詳細情報

1.12.29 設定外装置からの接続受信

【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP connection IP address is not configured
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

設定されていない装置から接続要求を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

接続要求を行った装置の IP アドレス

1.12.30 BGP ルーティングテーブルオーバフロー (UPDATE パケット受信)

【メッセージ】

```
bgpd: BGP routing table overflow. <route> from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

BGP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たに受信した経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route>

破棄した経路情報

<address>

経路情報を送信した相手装置の IP アドレス

1. 12. 31 BGP ルーティングテーブルオーバフロー (再配布経路受信)

【メッセージ】

```
bgpd: BGP routing table overflow. <route> redistribute from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

BGP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな再配布経路を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route>

破棄した経路情報

<protocol>

再配布経路のルーティングプロトコル種別

1. 12. 32 BGP セッション数オーバ

【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP session is failed. (too many sessions)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

BGP セッション数が最大数に達しているため、新たな BGP セッションの接続に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

1. 12. 33 BGP グレースフルリスタート処理開始

【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP started graceful-restart processing.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手装置との間でグレースフルリスタート処理を開始したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

1. 12. 34 BGP グレースフルリスタート処理終了

【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP completed graceful-restart processing.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手装置との間のグレースフルリスタート処理が完了したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

1. 12. 35 BGP グレースフルリスタート中断

【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP stopped graceful-restart processing by the OPEN message without restart directions.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

グレースフルリスタート処理中に、相手装置からリスタート開始指示以外の OPEN メッセージを受信したため、グレースフルリスタートの処理を中断したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

1. 12. 36 BGP リスタートタイマ満了

【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP stopped graceful-restart processing by timeout of a restart-timer.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リスタートタイマがタイムアウトしたため、相手装置との間のグレースフルリスタートの処理を中断したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

1. 12. 37 BGP stale タイマ満了

【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP deleted stale routes received from neighbor by timeout of a stale-timer.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手装置との間の stale タイマがタイムアウトしたため、相手装置から受信していた stale 経路を削除したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

1. 12. 38 4 オクテット AS 番号未サポート相手装置との接続

【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP neighbor does not support 4-octet AS number.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

4 オクテット AS 番号をサポートしていない相手装置と接続したことを示します。
本メッセージは、本装置の AS 番号として 1.0 以上を設定した場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

1. 12. 39 BGP セッションクリア

【メッセージ】

```
bgpd: <address> BGP session was cleared by operation command. <option>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

操作コマンドにより BGP セッションがクリアされたことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<option>

操作コマンド実行時のオプション

none

BGP セッションの再接続を行ったことを示します。

soft out

経路を再広報したことを示します。

soft in

経路の再広報を要求したことを示します。

soft both

経路の再広報および再広報要求したことを示します。

1.12.40 ルートリフレッシュメッセージ受信

【メッセージ】

```
bgpd: <address> received ROUTE-REFRESH Message. <AFI/SAFI>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ルートリフレッシュメッセージを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<AFI/SAFI>

指定されたアドレスファミリ

1.12.41 ルートリフレッシュメッセージ送信不可

【メッセージ】

```
bgpd: <address> ROUTE-REFRESH Message was not transmitted. <AFI/SAFI>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手装置にルートリフレッシュ能力がなかったため ROUTE-REFRESH メッセージを送信しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

相手装置の IP アドレス

<AFI/SAFI>

指定されたアドレスファミリ

1.13 ルーティングマネージャのメッセージ (IPv6)

1.13.1 ルーティングテーブルオーバーフロー

【メッセージ】

```
nsm: IPv6 routing table overflow. <prefix>/<prefixlen> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>

破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.13.2 IPv6 プレフィックスの割り当て

【メッセージ】

```
nsm: <prefix>/<prefixlen> was assigned to <interface> from <protocol>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

獲得した IPv6 プレフィックスをインタフェースに割り当てたことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>

IPv6 プレフィックスとプレフィックス長

<interface>

インタフェース名

<protocol>

プロトコル種別

- DHCPclient
- RA
- MAP-E

1.13.3 IPv6 プレフィックスの重複

【メッセージ】

```
nsm: <prefix/prefixlen> cannot be assigned to <interface> from <protocol>, because duplicated.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

獲得した IPv6 プレフィックスが重複しているため、インタフェースに割り当てることができなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>

IPv6 プレフィックスとプレフィックス長

<interface>

インタフェース名

<protocol>

プロトコル種別

- DHCPclient
- RA
- MAP-E

1.13.4 IPv6 スタティック経路の ECMP 不可

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the number of ECMP routes has reached maximum. <prefix/prefixlen>
from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

イコールコストとなる経路がすでに存在しているため、新たに追加しようとしたスタティック経路を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix/prefixlen>

破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.13.5 IPv6 スタティックエントリ数オーバフロー

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the number of static routes has reached maximum. <prefix/prefixlen>
from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スタティック経路を追加しようとした場合に、スタティック経路のエントリ数が最大値に達していたため、破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix/prefixlen>

破棄した経路情報

<protocol>

プロトコル種別

1.13.6 経路再登録の中断

【メッセージ】

```
nsm: Re-registration processing of the IPv6 route was interrupted.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 経路情報の再登録処理を中断しました。

1.14 RIP のメッセージ (IPv6)

1.14.1 パケット長異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid packet length(<length>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケットの packet 長が異常であることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<length>

RIP パケットの packet 長

1.14.2 バージョン異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid version(<version>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケットの RIP バージョンが 1 でないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<version>

RIP パケットの RIP バージョン番号

1.14.3 送信元ポート番号異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid source port(<port>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケット (RESPONSE) の送信元ポート番号が RIP ポート番号ではないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<port>

RIP パケットの送信元ポート番号

1.14.4 送信元 IP アドレス異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid source address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケット (RESPONSE) の送信元アドレスがリンクローカルアドレスではないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

1.14.5 ホップリミット異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid hoplimit(<hoplimit>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケット (RESPONSE) のホップリミットが、255 ではないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<hoplimit>

RIP パケットのホップリミット

1.14.6 経路情報プレフィックス異常

【メッセージ】

```
rip6d: rcv from <src-addr> (<interface>): invalid prefix (RTE=<prefix>/<prefixlen> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のプレフィックスがマルチキャストアドレス、またはリンクローカルアドレス、または、ループバックアドレスであることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<prefix>

RIP パケットで受信したプレフィックス

<prefixlen>

RIP パケットで受信したプレフィックス長

<metric>

RIP パケットで受信したメトリック

1.14.7 プレフィックス長異常

【メッセージ】

```
rip6d: rcv from <src-addr> (<interface>): invalid prefixlen (RTE=<prefix>/<prefixlen> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のプレフィックス長が 128 よりも長いことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<prefix>

RIP パケットで受信したプレフィックス

<prefixlen>

RIP パケットで受信したプレフィックス長

<metric>

RIP パケットで受信したメトリック

1. 14. 8 メトリック異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid metric (RTE=<prefix>/<prefixlen> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット (RESPONSE) で受信した経路情報のメトリックが 0 である、または、16 よりも大きいことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

<interface>

RIP パケットを受信したインタフェース名

<prefix>

RIP パケットで受信したプレフィックス

<prefixlen>

RIP パケットで受信したプレフィックス長

<metric>

RIP パケットで受信したメトリック

1. 14. 9 RIP ルーティングテーブルオーバフロー (RIP パケット受信)

【メッセージ】

```
rip6d: RIP routing table overflow. <prefix>/<prefixlen> from <src-addr>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たに受信した経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>

破棄された経路情報のプレフィックス

<prefixlen>

破棄された経路情報のプレフィックス長

<src-addr>

RIP パケットの送信元 IP アドレス

1. 14. 10 RIP ルーティングテーブルオーバフロー (再配布経路受信)

【メッセージ】

```
rip6d: RIP routing table overflow. <prefix>/<prefixlen> redistribute from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな再配布経路を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>

破棄された経路情報のプレフィックス

<prefixlen>

破棄された経路情報のプレフィックス長

<protocol>

再配布経路のルーティングプロトコル種別

1.14.11 インタフェース経路情報オーバフロー

【メッセージ】

```
rip6d: connected route overflow. <prefix>/<prefixlen>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

再配布されたインタフェース経路情報数が上限値に達しているため、新たなインタフェース経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>

破棄された経路情報のプレフィックス

<prefixlen>

破棄された経路情報のプレフィックス長

1.15 OSPF のメッセージ (IPv6)

1.15.1 エリア ID 不一致

【メッセージ】

```
ospf6d: RECV: From <router_id> <interface>: invalid Area ID <area_id>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースに設定されているエリア ID と受信したメッセージに設定されているエリア ID が異なっているため、該当パケットを破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

隣接ルータ ID

<interface>

パケットを受信したインタフェース名

<area_id>

受信パケットの OSPF ヘッダに設定されているエリア ID

1.15.2 Hello パケット送信間隔の不一致

【メッセージ】

```
ospf6d: RECV[Hello]: From <router_id> <interface>: HelloInterval mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置で、Hello パケット送信間隔の設定値が異なっているため、該当パケットを破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

隣接ルータ ID

<interface>

パケットを受信したインタフェース名

1.15.3 隣接ルータ停止確認間隔の不一致

【メッセージ】

```
ospf6d: RECV[Hello]: From <router_id> <interface>: RouterDeadInterval mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置で、隣接ルータ停止確認間隔の設定値が異なっているため、該当パケットを破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

隣接ルータ ID

<interface>

パケットを受信したインタフェース名

1.15.4 エリアタイプの不一致

【メッセージ】

```
ospf6d: RECV[Hello]: From <router_id> <interface>: option mismatch. my options: <my_option>, his options: <his_option>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置で、エリアタイプの設定値が異なっているため、該当パケットを破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

隣接ルータ ID

<interface>

パケットを受信したインタフェース名

<my_option>

自装置に設定されているエリアタイプ

normal

normal エリア

stub

stub エリア

<his_option>

router_id で示されるルータに設定されているエリアタイプ

normal

normal エリア

stub

stub エリア

nssa

nssa エリア

unknown

上記以外のエリアタイプ

1.15.5 LSA 最大数オーバ

【メッセージ】

```
ospf6d: LSDB overflow. type <lsa_type> adv-router <router_id>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

保持可能な LSA の最大数を超えたため、受信した LSA、または自装置で生成する LSA を LSDB に登録できないことを示します。

【パラメタの意味】

<lsa_type>

登録できなかった LSA のタイプ(16 進数)

<router_id>

LSA 送信元ルータ ID、または自装置のルータ ID

1.15.6 ルータ ID の重複

【メッセージ】

```
ospf6d: RECV[Hello]: From <router_id> <interface>: router-id duplicated.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自装置と同じルータ ID を使用する装置を検出したため、該当パケットを破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

隣接ルータ ID

<interface>

パケットを受信したインタフェース名

1.15.7 MTU 値の不一致

【メッセージ】

```
ospf6d: RECV[DD]: From <router_id> <interface>: MTU mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

隣接ルータのインタフェースに設定されている MTU 値が、自装置のインタフェースに設定されている MTU 値よりも大きいため、該当パケットが破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>

隣接ルータ ID

<interface>

パケットを受信したインタフェース名

1. 15. 8 受信可能サイズを超えたパケットの破棄

【メッセージ】

```
ospf6d: RECV: packet from <interface>:<address> ignored. (size too big)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信可能サイズ以上の IP パケットを受信したため、該当パケットを破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

パケットを受信したインタフェース名

<address>

パケットの送信元リンクアドレス

1. 15. 9 隣接ルータダウンの検出

【メッセージ】

```
ospf6d: interface <interface>: neighbor <router_id> down detection. (<old_state>->Down)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id>で示す隣接ルータとの関係が、ダウンとみなされる状態に遷移したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

自装置のインタフェース名

<router_id>

隣接ルータ ID

<old_state>

隣接関係が失われる前の隣接ルータとの状態

Full, Loading, Exchange, ExStart, 2-Way のどれかの状態

1. 15. 10 LSA 最大数オーバ(再配布経路受信時)

【メッセージ】

```
ospf6d: LSDB overflow. <route> redistribute from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

保持可能な LSA の最大数を超えたため、受信した再配布経路に関する LSA を LSDB に登録できないことを示します。

【パラメタの意味】

<router>

破棄した経路情報

<protocol>

再配布経路のルーティングプロトコル種別

1.16 通信関連のメッセージ

1.16.1 物理ポートのリンクアップ

【メッセージ】

```
protocol: ether <group> <port> link up
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

物理ポートがリンクアップしたことを示します。

【パラメタの意味】

<group>

ether グループ番号

<port>

ether ポート番号

1.16.2 物理ポートのリンクダウン

【メッセージ】

```
protocol: ether <group> <port> link down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

物理ポートがリンクダウンしたことを示します。

【パラメタの意味】

<group>

ether グループ番号

<port>

ether ポート番号

1.16.3 物理ポートの閉塞状態への移行

【メッセージ】

```
protocol: ether <group> <port> is force down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

オペレータ指示によって、物理ポートを閉塞状態に移行したことを示します。

【パラメタの意味】

<group>
ether グループ番号
<port>
ether ポート番号

1.16.4 論理インタフェースのリンクアップ

【メッセージ】

```
protocol: lan <number> link up
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

論理インタフェースがリンクアップしたことを示します。

【パラメタの意味】

<number>
lan 定義番号

1.16.5 論理インタフェースのリンクダウン

【メッセージ】

```
protocol: lan <number> link down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

論理インタフェースがリンクダウンしたことを示します。

【パラメタの意味】

<number>
lan 定義番号

1.16.6 バックアップポートの状態遷移

【メッセージ】

```
protocol: backup <group> <priority> is <status> (ether <group> <port>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バックアップポートが状態遷移したことを示します。

【パラメタの意味】

<group>

バックアップグループ番号

<priority>

ポートの優先度

master-port

マスタポート

backup-port

バックアップポート

<status>

遷移した状態

up

稼動状態

standby

待機状態

down

停止状態

<group>

ether グループ番号

<port>

ether ポート番号

1.16.7 同期確立

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] line synchronization is established
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

回線の同期確立が完了したことを示します。このメッセージは、データ通信モジュールの場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<line>

対象となる回線

データ通信モジュールの場合

[USB <no>] : USB 実装の場合

<no> USB 番号 (USB ポートが複数搭載されている機種の場合)

[SLOT] : スロット実装の場合

1.16.8 同期はずれ

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] line synchronization is failed
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

回線の同期はずれが発生したことを示します。このメッセージは、データ通信モジュールの場合に出力されま
す。

【パラメタの意味】

<line>

対象となる回線

データ通信モジュールの場合

[USB <no>] : USB 実装の場合

<no> USB 番号 (USB ポートが複数搭載されている機種の場合)

[SLOT] : スロット実装の場合

1.16.9 回線接続

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] connected <ch> to <target>(<dial>) by <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

発信により相手システムと接続したことを示します。このメッセージは、PPPoE、およびデータ通信モジュール
の場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<line>

対象となる回線

データ通信モジュールの場合

[USB <no>] : USB 実装の場合

<no> USB 番号 (USB ポートが複数搭載されている機種の場合)

[SLOT] : スロット実装の場合

PPPoE の場合

[vlan<vid>] :

<vid> 利用した VLAN ID

<ch>

接続物理チャネル

(接続物理チャネルが存在しない場合は、-または表示なし)

<target>

ネットワーク名、接続先名

<dial>

接続ダイヤル番号 (データ通信モジュールの場合だけ表示)

<reason>

発信契機

forwarding packet

フォワードパケット

ProxyDNS

ProxyDNS

manual

手動接続

keep connection

回線接続保持機能(常時接続)による接続(PPPoE の場合だけ表示)

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] connected <ch> from <target>(<dial>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

着信により相手システムと接続したことを示します。このメッセージは、データ通信モジュールの場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line>

対象となる回線

データ通信モジュールの場合

[USB <no>] : USB 実装の場合

<no> USB 番号(USB ポートが複数搭載されている機種の場合)

[SLOT] : スロット実装の場合

<ch>

接続物理チャンネル

(接続物理チャンネルが存在しない場合は、-表示)

<target>

ネットワーク名. 接続先名

(テンプレート着信の場合は、「テンプレート名. 接続ユーザ ID」を表示。相手判別できない場合は、「undecided」を表示。)

<dial>

相手電話番号

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> is decided as <target>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<ch> で着信した相手が認証により<target> と判明したことを示します。このメッセージは、データ通信モジュールの場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line>

対象となる回線

データ通信モジュールの場合

[USB <no>] : USB 実装の場合

<no> USB 番号(USB ポートが複数搭載されている機種の場合)

[SLOT] : スロット実装の場合

<ch>

接続物理チャンネル

(接続物理チャンネルが存在しない場合は、-表示)

<target>

ネットワーク名. 接続先名

(テンプレート着信の場合は、「テンプレート名. 接続ユーザ ID」を表示。相手判別できない場合は、「undecided」を表示。)

1.16.10 回線切断

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] disconnected <ch> to <target> : time=<time> [<reason>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自側より回線切断を行い、回線が切断されたことを示します。このメッセージは、PPPoE、およびデータ通信モジュールの場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<line>

対象となる回線

データ通信モジュールの場合

[USB <no>] : USB 実装の場合

<no> USB 番号 (USB ポートが複数搭載されている機種の場合)

[SLOT] : スロット実装の場合

PPPoE の場合

[vlan<vid>] :

<vid> 利用した VLAN ID

<ch>

接続物理チャネル

(接続物理チャネルが存在しない場合は、-または表示なし)

<target>

ネットワーク名. 接続先名

(テンプレート着信の場合は、「テンプレート名. 接続ユーザ ID」を表示。相手判別できない場合は、「undecided」を表示。)

<time>

接続時間 (dddd. hh:mm:ss の形式)

<reason>

切断理由 (テンプレート着信の場合だけ表示)

リモート IP アドレス重複

same ip remote address exist (<address>)

<address> : リモート IP アドレス

同一ユーザ接続済み

same user already connected (<user>)

<user> : ユーザ ID

経路追加失敗

cannot add route (<route>)

<route> : 追加できなかった経路

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] disconnected <ch> from <target> : time=<time>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手側または網から回線切断が通知され、回線が切断されたことを示します。このメッセージは、PPPoE、およびデータ通信モジュールの場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<line>

対象となる回線

データ通信モジュールの場合

[USB <no>] : USB 実装の場合

<no> USB 番号 (USB ポートが複数搭載されている機種の場合)

[SLOT] : スロット実装の場合

PPPoE の場合

[vlan<vid>] :

<vid> 利用した VLAN ID

<ch>

接続物理チャネル

(接続物理チャネルが存在しない場合は、-または表示なし)

<target>

ネットワーク名、接続先名

(テンプレート着信の場合は、「テンプレート名、接続ユーザ ID」を表示。相手判別できない場合は、「undecide」を表示。)

<time>

接続時間 (dddd.hh:mm:ss の形式)

1.16.11 課金制御機能による強制切断

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] forced disconnection <target> <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

累計パケット数、または累計接続時間が上限値を超過したため、自側より回線切断を行うことを示します。このメッセージは、データ通信モジュールの場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<line>

対象となる回線

データ通信モジュールの場合

[USB <no>] : USB 実装の場合

<no> USB 番号 (USB ポートが複数搭載されている機種の場合)

[SLOT] : スロット実装の場合

<target>

ネットワーク名、接続先名

<reason>

超過した内容。以下の情報のどちらかとなります。

total packets=<packet>

累計パケット数

total time=<day>:<hour>:<min>:<sec>

累計接続時間

1.16.12 着信拒否

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] rejected call from (<dial>) because <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

着信通知を拒絶したことを示します。このメッセージは、データ通信モジュールの場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line>

対象となる回線

データ通信モジュールの場合

[USB <no>] : USB 実装の場合

<no> USB 番号 (USB ポートが複数搭載されている機種の場合)

[SLOT] : スロット実装の場合

<dial>

相手電話番号 (データ通信モジュールの場合: -)

<reason>

拒否理由

permission denied

着信が許可されていなかったための拒否

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> not decided as any defined host, but anonymous login is not usable
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証により着信相手判断を行おうとしたが、一致する接続先情報がなく、また不特定相手着信ができない状態であったため、切断することを示します。

【パラメタの意味】

<line>

対象となる回線

データ通信モジュールの場合

[USB <no>] : USB 実装の場合

<no> USB 番号 (USB ポートが複数搭載されている機種の場合)

[SLOT] : スロット実装の場合

<ch>

接続物理チャンネル

(接続物理チャンネルが存在しない場合は、-表示)

1.16.13 自動発呼の抑止中

【メッセージ】

```
protocol: autodial locked by <name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自動発信が抑止中のため、自動発信処理を中止したことを示します。このメッセージは、PPPoE、データ通信モジュールの場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<name>

抑止の原因

schedule

スケジュール情報による抑止

redial

3 分間に 2 回を超える再発信のため自動発信処理を中止(データ通信モジュールの場合だけ)

1.16.14 着信抑止

【メッセージ】

```
protocol: callin rejected by <name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

着信が抑止中により、着信処理を中止したことを示します。このメッセージは、データ通信モジュールの場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<name>

抑止の原因

schedule

スケジュール情報による抑止

1.16.15 連続接続失敗による発信抑止

【メッセージ】

```
protocol: continuous PPP negotiation error <target> : call stop
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

連続して remote ap limit auth-error コマンドで設定された回数の接続に失敗(回線は接続されるが IP 通信ができずに失敗の場合)し、発信を禁止したことを示します。このメッセージはデータ通信カードの場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<target>

ネットワーク名, 接続先名

1.16.16 PPP ネゴシエーション失敗

【メッセージ】

```
protocol: <protocol> is closed by <target>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<protocol>が相手から終了させられ、そのデータ回線上で<protocol>で示されたプロトコルでの通信が行えなくなったことを示します。

【パラメタの意味】

<protocol>

終了させられたプロトコル

IPCP

IPv4 用のプロトコル名

IPV6CP

IPv6 用のプロトコル名

BCP

ブリッジ用のプロトコル名

<target>

ネットワーク名, 接続先名

1.16.17 発信失敗

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] callout failed (dial busy) :
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手話中による発信失敗を示します。このメッセージは、データ通信モジュールの場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line>

対象となる回線

データ通信モジュールの場合

[USB <no>] : USB 実装の場合

<no> USB 番号 (USB ポートが複数搭載されている機種の場合)

[SLOT] : スロット実装の場合

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> callout failed (auth rejected)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手より認証で拒絶されたことによる発信失敗を示します。

【パラメタの意味】

<line>

対象となる回線

データ通信モジュールの場合

[USB <no>] : USB 実装の場合

<no> USB 番号 (USB ポートが複数搭載されている機種の場合)

[SLOT] : スロット実装の場合

PPPoE の場合

[vlan<vid>] :

<vid> 利用した VLAN ID

<ch>

接続物理チャネル

(接続物理チャネルが存在しない場合は、表示なし)

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> callout failed (auth deny)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手を拒絶したことによる発信失敗を示します。

【パラメタの意味】

<line>

対象となる回線

データ通信モジュールの場合

[USB <no>] : USB 実装の場合

<no> USB 番号 (USB ポートが複数搭載されている機種の場合)

[SLOT] : スロット実装の場合

PPPoE の場合

[vlan<vid>] :

<vid> 利利用した VLAN ID

<ch>

接続物理チャネル

(接続物理チャネルが存在しない場合は、表示なし)

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> callout failed (negotiation)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PPP ネゴシエーション失敗による発信失敗を示します。

【パラメタの意味】

<line>

対象となる回線

データ通信モジュールの場合

[USB <no>] : USB 実装の場合

<no> USB 番号 (USB ポートが複数搭載されている機種の場合)

[SLOT] : スロット実装の場合

PPPoE の場合

[vlan<vid>] :

<vid> 利用した VLAN ID

<ch>

接続物理チャンネル

(接続物理チャンネルが存在しない場合は、表示なし)

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] callout failed (other reason)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

発信失敗を示します。このメッセージは、データ通信モジュールの場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line>

対象となる回線

データ通信モジュールの場合

[USB <no>] : USB 実装の場合

<no> USB 番号 (USB ポートが複数搭載されている機種の場合)

[SLOT] : スロット実装の場合

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> callin failed (auth deny)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

相手を認証で拒絶したことによる着信失敗を示します。このメッセージは、データ通信モジュールの場合にだけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line>

対象となる回線

データ通信モジュールの場合

[USB <no>] : USB 実装の場合

<no> USB 番号(USB ポートが複数搭載されている機種の場合)

[SLOT] : スロット実装の場合

<ch>

接続物理チャンネル

(接続物理チャンネルが存在しない場合は、表示なし)

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> callin failed (negotiation)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PPP ネゴシエーション失敗による着信失敗を示します。このメッセージは、データ通信モジュールの場合にだけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line>

対象となる回線

データ通信モジュールの場合

[USB <no>] : USB 実装の場合

<no> USB 番号(USB ポートが複数搭載されている機種の場合)

[SLOT] : スロット実装の場合

<ch>

接続物理チャンネル

(接続物理チャンネルが存在しない場合は、表示なし)

1.16.18 回線エラー

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> disconnected by peer
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

予期しないで相手から切断されたことを示します。このエラーは、データ通信モジュールの場合にだけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line>

対象となる回線

データ通信モジュールの場合

[USB <no>] : USB 実装の場合

<no> USB 番号(USB ポートが複数搭載されている機種の場合)

[SLOT] : スロット実装の場合

<ch>

接続物理チャンネル

(接続物理チャンネルが存在しない場合は、表示なし)

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <ch> line error
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

回線エラーが発生したことを示します。このエラーは、データ通信モジュールの場合だけ出力されます。

【パラメタの意味】

<line>

対象となる回線

データ通信モジュールの場合

[USB <no>] : USB 実装の場合

<no> USB 番号 (USB ポートが複数搭載されている機種の場合)

[SLOT] : スロット実装の場合

<ch>

接続物理チャンネル

(接続物理チャンネルが存在しない場合は、表示なし)

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] <target> is disconnected, because <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PPPoE のセッション、またはデータ通信モジュール接続が切断された理由を示します。このメッセージは、PPPoE、およびデータ通信モジュールの場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<line>

対象となる回線

データ通信モジュールの場合

[USB <no>] : USB 実装の場合

<no> USB 番号 (USB ポートが複数搭載されている機種の場合)

[SLOT] : スロット実装の場合

PPPoE の場合

[vlan<vid>] :

<vid> 利用した VLAN ID

<target>

ネットワーク名. 接続先名

<reason>

切断理由

no carrier

キャリアロスト検出のため (PPPoE の場合だけ)

PADT received

相手から PADT を受信したため (PPPoE の場合だけ)

keepalive expired

相手からの受信がまったくなくなったため

1.16.19 発信ログ

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] CALL to <target> by forwarding packet : <protocol> <sa>(<sp>)-><da>(<dp>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

パケット送信により発信処理を行ったことを示します(IPv4/IPv6)。このメッセージは、PPPoE、およびデータ通信モジュールの場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<line>

対象となる回線

データ通信モジュールの場合

[USB <no>] : USB 実装の場合

<no> USB 番号 (USB ポートが複数搭載されている機種の場合)

[SLOT] : スロット実装の場合

PPPoE の場合

[vlan<vid>] :

<vid> 利用した VLAN VID

<target>

ネットワーク名

<protocol>

発信契機となったパケットの上位プロトコル TCP/UDP/ICMP/ICMPV6 の場合は文字列で表示され、それ以外の場合は数値で表示されます。

<sa>

パケットの送信元アドレス

<sp>

パケットの送信元ポート番号 (TCP/UDP の場合だけ)

<da>

パケットのあて先アドレス

<dp>

パケットのあて先ポート番号 (TCP/UDP の場合だけ)

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] CALL to <target> by bridging packet : <format>:<type>-<sa>-><da>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

パケット送信により発信処理を行ったことを示します (bridge)。このメッセージは、データ通信モジュールの場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<line>

対象となる回線

データ通信モジュールの場合

[USB <no>] : USB 実装の場合

<no> USB 番号 (USB ポートが複数搭載されている機種の場合)

[SLOT] : スロット実装の場合

<target>

ネットワーク名

<format>

パケットフォーマット

Ethernet

Ethernet 形式

LLC

LLC 形式

<type>

パケットタイプ

<sa>

パケットの送信元 MAC アドレス

<da>

パケットのあて先 MAC アドレス

【メッセージ】

```
protocol: [<line>] CALL to <target> by <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

上記以外の理由により発信処理を行ったことを示します。このメッセージは、PPPoE、およびデータ通信モジュールの場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<line>

対象となる回線

データ通信モジュールの場合

[USB <no>] : USB 実装の場合

<no> USB 番号 (USB ポートが複数搭載されている機種の場合)

[SLOT] : スロット実装の場合

PPPoE の場合

[vlan<vid>] :

<vid> 利用した VLAN ID

<target>

ネットワーク名

<reason>

発信理由

ProxyDNS

発信契機が ProxyDNS であった場合

1.16.20 閉塞状態への移行

【メッセージ】

```
protocol: <name> is force down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

障害検出またはオペレータ指示によって、閉塞状態に移行したことを示します。

【パラメタの意味】

<name>

ネットワーク名. 接続先名 (WAN 側の場合)

インタフェース名 (LAN 側の場合)

スイッチ定義番号とポート番号 (スイッチ側の場合)

1.16.21 認証メモリ枯渇

【メッセージ】

```
protocol: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>: memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

接続相手の認証で、メモリ枯渇が発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>

アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.16.22 アカウンティングメモリ枯渇 (アカウンティング開始時)

【メッセージ】

```
protocol: accounting start request failed for <id> on aaa <group_id>: memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メモリが枯渇したことにより、アカウンティング開始を通知できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>

アクセスユーザ名

<group_id>
AAA グループ ID

1.16.23 アカウンティングメモリ枯渇(アカウンティング終了時)

【メッセージ】

```
protocol: accounting stop request failed for <id> on aaa <group_id>: memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メモリが枯渇したことにより、アカウンティング終了を通知できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名

<group_id>
AAA グループ ID

1.17 PPPoE のメッセージ

1.17.1 PPPoE ディスカバリステージ失敗

【メッセージ】

```
protocol: [vlan<vid>] PPPoE Discovery failed to <target> : reason=<reason> state=<state>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PPPoE のディスカバリステージ(PPPoE セッションを確立するためのネゴシエーション)が失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<target>

ネットワーク名. 接続先名

<reason>

失敗理由

sync failed

同期はずれ

datalink config error

データリンクの設定に誤りがある

wait timeout

期待するパケットを受信できずにタイムアウトした

negotiation error

ネゴシエーションエラー

<state>

PPPoE の内部状態

Initial

初期状態

waitPADO

PADO 受信待ち

waitPADS

PADS 受信待ち

1.18 セキュリティメッセージ

1.18.1 ProxyDNS による DNS 要求破棄

【メッセージ】

```
proxydns: rejected by <no> : QNAME [<type>:<qname>] from <ipaddr>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

ProxyDNS で、破棄指定により破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<no>

reject を行った proxydns 命令の転送先定義番号

<type>

問い合わせタイプ

<qname>

問い合わせホスト名

<ipaddr>

発信元ホストの IP アドレス

1.18.2 ProxyDNS による unicode DNS 要求の破棄

【メッセージ】

```
proxydns: rejected by unknown character : QTYPE [<type>] from <ipaddr>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

ProxyDNS で、非表示文字の破棄指定により破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<type>

問い合わせタイプ

<ipaddr>

発信元ホストの IP アドレス

1.18.3 DNS 問い合わせ情報

【メッセージ】

```
proxydns: <kind> <dns_addr> QNAME [<type>:<qname>] from <ipaddr>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

DNS 問合せに対する、応答を受けたことを示します。
syslog security コマンドに csg を設定する必要があります。

【パラメタの意味】

<kind>
指定サーバー種別
<kind>情報 説明
static 固定 DNS サーバ問い合わせ時
to 回線から通知された DNS サーバ問い合わせ時
dhcp DHCP で割り当てられた DNS サーバ問い合わせ時
<dns_addr>
問い合わせ先 DNS サーバの IP アドレス
<type>
問い合わせタイプ
<qname>
問い合わせホスト名
<ipaddr>
発信元ホストの IP アドレス

1. 18. 4 ドメインリストに一致する IP アドレス情報の登録

【メッセージ】

```
proxydns: [<qname>] is matched and address is <ipaddr>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

ドメインリスト情報に一致して DNS 解決された IP アドレスが、登録されたことを示します。
syslog security コマンドに csg を設定する必要があります。

【パラメタの意味】

<qname>
問い合わせホスト名
<ipaddr>
DNS 解決した IP アドレス

1. 18. 5 ドメインリストに対応する CNAME に一致する IP アドレス情報の登録

【メッセージ】

```
proxydns: [<qname>] is cname matched and address is <ipaddr>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

ドメインリスト情報に対応する CNAME に一致して DNS 解決された IP アドレスが、登録されたことを示します。
syslog security コマンドに csg を設定する必要があります。

【パラメタの意味】

<qname>

問い合わせホスト名

<ipaddr>

DNS 解決した IP アドレス

1. 18. 6 エンドポイントリストに一致する IP アドレス情報の登録

【メッセージ】

```
proxydns: [<qname>] is endpointlist matched and address is <ipaddr>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

エンドポイントリスト情報に一致して DNS 解決された IP アドレスが、登録されたことを示します。
syslog security コマンドに csg を設定する必要があります。

【パラメタの意味】

<qname>

問い合わせホスト名

<ipaddr>

DNS 解決した IP アドレス

1. 18. 7 エンドポイントリストに対応する CNAME に一致する IP アドレス情報の登録

【メッセージ】

```
proxydns: [<qname>] is endpointlist cname matched and address is <ipaddr>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

エンドポイントリスト情報に対応する CNAME に一致して DNS 解決された IP アドレスが、登録されたことを示します。
syslog security コマンドに csg を設定する必要があります。

【パラメタの意味】

<qname>

問い合わせホスト名

<ipaddr>

DNS 解決した IP アドレス

1. 18. 8 ドメインリストから IP アドレス情報の削除

【メッセージ】

```
proxydns: <ipaddr> is expired.
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

IP アドレス保持時間が経過したため、ドメインリストまたはエンドポイントリストの IP アドレス情報が削除されたことを示します。

syslog security コマンドに csg を設定する必要があります。

【パラメタの意味】

<ipaddr>

削除された IP アドレス

1. 18. 9 IP フィルタによるパケット破棄

【メッセージ】

```
protocol: rejected at filter(<name>,<no>) : <P> <SA>:<SP> -> <DA>:<DP>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

IP フィルタによって、パケットが破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name>

ネットワーク名 (WAN 側の場合)、インタフェース名 (LAN 側またはテンプレート着信の場合)

<no>

フィルタリング定義番号

破棄を行った IP フィルタ定義のフィルタリング定義番号が出力されます。どのフィルタリング定義にも該当しないで、lan ip filter default、または remote ip filter default、または template ip filter default の定義に従って破棄を行った場合、“default”と出力されます。

特殊フィルタルールに適合した場合は、その内容が出力されます。

same address

source/destination とともに同じアドレス

tiny fragment

tiny fragment を検出

overlap fragment

overlap fragment を検出

<P>

プロトコル種別 (TCP, UDP, ICMP, IP, その他は番号)

TCP の SYN パケットの場合は、TCP (S) と出力されます。

<SA>

送信元 IP アドレス

<SP>

送信元ポート番号 (プロトコル種別が TCP または UDP の場合)

<DA>

あて先 IP アドレス

<DP>

あて先ポート番号 (プロトコル種別が TCP または UDP の場合)

1. 18. 10 PPP 着信拒否

【メッセージ】

```
protocol: rejected call from <target>(<dial>) by PPP:<reason>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

PPP ネゴシエーション中に着信を拒否したことを示します。

【パラメタの意味】

<target>

ネットワーク名. 接続先名

<dial>

接続ダイヤル番号

<reason>

認証失敗理由

authentication rejected

認証利用そのものを拒否

wrong account(<id>)

不正認証情報受信 (<id>に ID 情報を出力)

1. 18. 11 DHCP サーバのアドレス配布

【メッセージ】

```
dhcpd: Server allocation <ip_address> to <mac_address>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

DHCP サーバが DHCP クライアントにアドレスを配布したことを示します。

【パラメタの意味】

<ip_address>

DHCP クライアントに配布した IP アドレス

<mac_address>

DHCP クライアントの MAC アドレス

1. 18. 12 DHCP クライアントからの要求の拒否

【メッセージ】

```
dhcpd: DHCP request from <mac_address> rejected
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

MAC アドレスが登録されていないため、DHCP クライアントからの要求を拒否したことを示します。

【パラメタの意味】

<mac_address>

DHCP クライアントの MAC アドレス

1. 18. 13 IPv6 フィルタによるパケット破棄

【メッセージ】

```
protocol: rejected at filter(<name>.<no>) : <P> <SA>(<SP>) -> <DA>(<DP>)
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

IPv6 フィルタによって、パケットが破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name>

ネットワーク名 (WAN 側の場合)、
インタフェース名 (LAN 側またはテンプレート着信の場合)

<no>

フィルタリング定義番号

破棄を行った IPv6 フィルタ定義のフィルタリング定義番号が出力されます。どのフィルタリング定義にも該当しないで、lan ipv6 filter default、または remote ipv6 filter default、または template ipv6 filter default の定義に従って破棄を行った場合、"default"と出力されます。

特殊フィルタルールに適合した場合は、その内容が出力されます。

same address

source/destination とともに同じアドレス

tiny header

tiny header を検出

tiny fragment

tiny fragment を検出

overlap fragment

overlap fragment を検出

default restrict

デフォルトフィルタに適合

<P>

プロトコル種別 (TCP, UDP, ICMPV6, その他は番号) TCP の SYN パケットの場合は、TCP(S)と出力されます。

<SA>

送信元 IPv6 アドレス

<SP>

送信元ポート番号 (プロトコル種別が TCP または UDP の場合)

<DA>

あて先 IPv6 アドレス

<DP>

あて先ポート番号 (プロトコル種別が TCP または UDP の場合)

1.18.14 NATによるパケット破棄

【メッセージ】

```
protocol: rejected at NAT(<name>.<reason>) : <P> <SA>:<SP> -> <DA>:<DP>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

NAT で、変換テーブルがなかったことにより破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name>

ネットワーク名

<reason>

破棄理由

特殊フィルタルールに適合した場合は、その内容が出力されます。

tiny fragment

tiny fragment を検出

overlap fragment

overlap fragment を検出

<P>

プロトコル種別(TCP, UDP, ICMP, IP, その他は番号)

TCP の SYN パケットの場合は、TCP(S)と出力されます。

<SA>

送信元 IP アドレス

<SP>

送信元ポート番号(プロトコル種別が TCP または UDP の場合)

<DA>

あて先 IP アドレス

<DP>

あて先ポート番号(プロトコル種別が TCP または UDP の場合)

1.18.15 NAT 変換テーブル作成

【メッセージ】

```
protocol: NAT:table: <P> <SA> -> <DA>:<DP>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

NAT で、通信を契機に NAT 変換テーブルを作成したことを示します。

【パラメタの意味】

<P>

NAT 変換テーブルのプロトコル種別(TCP, UDP, ICMP, IP, その他は番号)

基本 NAT によるテーブル作成の場合は、ALL と出力されます。

<SA>

NAT 変換テーブルのプライベート IP アドレス

アプリケーション対応でプライベート IP アドレスに any を指定したテーブルを作成した場合は、“0.0.0.0”が出力されます。

<DA>

NAT 変換テーブルの相手側 IP アドレス

アプリケーション対応で相手側 IP アドレスに any を指定したテーブルを作成した場合は、“0.0.0.0”が出力されます。

<DP>

NAT 変換テーブルの相手側ポート番号(プロトコル種別が TCP または UDP の場合)

アプリケーション対応で相手側ポート番号に any を指定したテーブルを作成した場合は、“0”が出力されます。

1.18.16 IPv6 DHCP サーバのアドレス配布

【メッセージ】

```
dhcp6sd: Server allocation <address> to <duid>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

IPv6 DHCP サーバが IPv6 DHCP クライアントにアドレスを配布したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

IPv6 DHCP クライアントに配布した IPv6 アドレス

<duid>

IPv6 DHCP クライアントの DUID

1.18.17 IPv6 DHCP サーバのプレフィックス配布

【メッセージ】

```
dhcp6sd: Server delegation <prefix>/<prefixlen> to <duid> on <interface>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

IPv6 DHCP サーバが IPv6 DHCP クライアントに IPv6 プレフィックスを配布したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>

IPv6 DHCP クライアントに配布した IPv6 プレフィックス

<duid>

IPv6 DHCP クライアントの DUID

<interface>

インタフェース名

1.18.18 アプリケーションフィルタによるパケット破棄

【メッセージ】

```
protocol: rejected at filter(<name>.<no>) : <SA> -> <DA>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

アプリケーションフィルタによって、パケットが破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name>

サーバ機能名

<no>

フィルタリング定義番号

破棄を行ったアプリケーションフィルタ定義のフィルタリング定義番号が出力されます。どのフィルタリング定義にも該当しないで、デフォルト定義に従って破棄を行った場合、"default"と出力されます。

<SA>

送信元アドレス

<DA>

あて先アドレス

1.19 IDS のメッセージ

1.19.1 IDS による異常パケット通知

【メッセージ】

```
protocol: curious packet at ids(<name>.<cause>) : <packet>
protocol: curious packet at ids(<name>.<cause>) : <counter> times in <time> seconds
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

IDS によって、異常パケットが検知されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name>

相手ネットワーク名 (remote 定義の場合)、またはインタフェース名 (lan または template 定義の場合)

<cause>

検知理由

IP オプションにかかわる異常パケット通知の場合は IP オプション名が出力されます。

1) IP ヘッダ関連

Unknown IP protocol

protocol フィールドが 134 以上のとき

Land attack

始点 IP アドレスと終点 IP アドレスが同じとき

Short IP header

IP ヘッダの長さが length フィールドの長さよりも長いとき

Malformed IP packet

length フィールドと実際のパケットの長さが違うとき

2) IP オプションヘッダ関連

Malformed IP option

オプションヘッダの構造が不正であるとき

Security IP option

Security and handling restriction header を受信したとき

Loose routing IP option

Loose source routing header を受信したとき

Record route IP option

Record route header を受信したとき

Stream ID IP option

Stream identifier header を受信したとき

Strict routing IP option

Strict source routing header を受信したとき

Timestamp IP option

Internet timestamp header を受信したとき

3) ICMP 関連

ICMP source quench

source quench を受信したとき

ICMP timestamp request

timestamp request を受信したとき

ICMP timestamp reply

timestamp reply を受信したとき

ICMP information request

information request を受信したとき

ICMP information reply

information reply を受信したとき

ICMP address mask request

address mask request を受信したとき

ICMP address mask reply

address mask reply を受信したとき

4) UDP 関連

UDP short header

UDP の length フィールドの値が 8 よりも小さいとき

UDP bomb

UDP ヘッダの length フィールドの値が大き過ぎるとき

5) TCP 関連

TCP no bits set

フラグに何もセットされていないとき

TCP SYN and FIN

SYN と FIN が同時にセットされているとき

TCP FIN and no ACK

ACK のない FIN を受信したとき

6) FTP 関連

FTP improper port

PORT や PASV コマンドで指定されるポート番号が 1024～65535 の範囲でないとき

<packet>

異常パケットの内容

フラグメントにかかわる異常パケット通知だけフラグメントに関する情報が出力されます。

FTP にかかわる異常パケット通知だけ FTP ポート番号に関する情報が出力されます。

ICMP にかかわる異常パケット通知だけ ICMP type と ICMP code に関する情報が出力されます。

異常パケットを大量に検知した場合はサマリーモードに切り替え、パケットの詳細情報は出力しません。
出力形式を以下に示します。

```
<P> <SA>:<SP> -> <DA>:<DP>  
<P> <SA>:<SP> -> <DA>:<DP> ftpport:<ftpport>  
<P> <SA> -> <DA> fragment offset:<fragment>  
<P> <SA> -> <DA> <icmptype>:<icmpcode>
```

<P>

プロトコル種別(TCP, UDP, ICMP, IP, その他は番号)

TCP の SYN パケットの場合は、TCP(S)と出力されます。

<SA>

送信元 IP アドレス

<SP>

送信元ポート番号(プロトコル種別が TCP、または UDP の場合)

<DA>

あて先 IP アドレス

<DP>

あて先ポート番号(プロトコル種別が TCP、または UDP の場合)

<fragment offset>

フラグメントオフセットの量を示します。

<icmptype>

ICMP type

<icmpcode>

ICMP code

<ftp port>

ftp port 番号

<counter>

検知した回数

<time>

検知した期間

1.20 コンソールのメッセージ

1.20.1 ログイン成功

【メッセージ】

```
logon: login <user> as <class> on console
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンソールで正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名

<class>
ログインクラス

admin
管理者クラス

user
一般ユーザクラス

1.20.2 ログイン失敗(認証エラー)

【メッセージ】

```
logon: failed login <user> on console
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンソールでログインユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名

1.20.3 ログアウト

【メッセージ】

```
logon: exit <user> as <class> on console [<reason>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンソールで exit した場合に出力されます。consoleinfo autologout コマンドの設定により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>

ログインユーザ名

<class>

ログインクラス

admin

管理者クラス

user

一般ユーザクラス

<reason>

なし

exit コマンド実行によるログアウト

autologout

無操作監視による強制ログアウト

1.21 telnet デーモンのメッセージ

1.21.1 ログイン成功

【メッセージ】

```
telnetd: login <user> as <class> on vty <interface_number> from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

telnet で正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>

ログインユーザ名

<class>

ログインクラス

admin

管理者クラス

user

一般ユーザクラス

<interface_number>

インタフェース番号

<address>

telnet 接続元アドレス

1.21.2 ログイン失敗 (認証エラー)

【メッセージ】

```
telnetd: failed login <user> on vty <interface_number> from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

telnet でログインユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>

ログインユーザ名

<interface_number>

インタフェース番号

<address>

telnet 接続元アドレス

1.21.3 ログイン終了

【メッセージ】

```
telnetd: exit <user> as <class> on vty <interface_number> from <address> [(<reason>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

telnet で exit した場合に出力されます。telnetinfo autologout コマンドの設定により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>

ログインユーザ名

<class>

ログインクラス

admin

管理者クラス

user

一般ユーザクラス

<interface_number>

インタフェース番号

<address>

telnet 接続元アドレス

<reason>

なし

exit コマンド実行によるログアウト

autologout

無操作監視による強制ログアウト

clear

clear line コマンドによる強制ログアウト

reset

reset コマンドによる強制ログアウト

1.22 ftp デーモンのメッセージ

1.22.1 ログイン成功

【メッセージ】

```
ftpd: login <user> as <class> on ftp <interface_number> from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ftp で正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>

ログインユーザ名

<class>

ログインクラス

admin

管理者クラス

user

一般ユーザクラス

<interface_number>

インタフェース番号

<address>

クライアントの IP アドレス

1.22.2 ログイン失敗 (認証エラー)

【メッセージ】

```
ftpd: failed login <user> on ftp <interface_number> from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ftp でログインユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>

ログインユーザ名

<interface_number>

インタフェース番号

<address>

クライアントの IP アドレス

1.22.3 ファイル蓄積完了

【メッセージ】

```
ftpd: <filename> Write complete
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ファイル蓄積(クライアントからの put)により ROM が上書きされたことを示します。

【パラメタの意味】

<filename>

上書きされたファイル名

1.22.4 ファイル回収完了

【メッセージ】

```
ftpd: <filename> Read complete
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ファイル回収(クライアントからの get)により ROM が読み出されたことを示します。

【パラメタの意味】

<filename>

読み出されたファイル名

1.22.5 ログイン終了

【メッセージ】

```
ftpd: exit <user> as <class> on ftp <interface_number> from <address> [(<reason>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ftp でのログインを終了した場合に出力されます。

15 分間無操作状態が続いて自動切断により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>

ログインユーザ名

<class>

ログインクラス

admin

管理者クラス

user

一般ユーザクラス

<interface_number>

インタフェース番号

<address>

クライアントの IP アドレス

<reason>

なし

exit コマンド実行によるログアウト

autologout

無操作監視による強制ログアウト

clear

clear line コマンドによる強制ログアウト

reset

reset コマンドによる強制ログアウト

1.23 ssh デーモンのメッセージ

1.23.1 ssh ホスト認証鍵生成開始

【メッセージ】

```
sshd: generating public/private host key pair.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

本装置の ssh ホスト認証鍵の生成を開始した場合に出力されます。

1.23.2 ssh ホスト認証鍵生成完了

【メッセージ】

```
sshd: generated public/private host key pair.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

本装置の ssh ホスト認証鍵の生成を完了した場合に出力されます。
本メッセージ出力後に ssh 接続できるようになります。

1.23.3 ログイン失敗 (認証エラー)

【メッセージ】

```
sshd: failed login <user> on ssh/sftp <interface_number> from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ssh または sftp でユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>

ログインユーザ名

<interface_number>

インタフェース番号

<address>

クライアントの IP アドレス

1.24 ssh ログインデーモンのメッセージ

1.24.1 ログイン成功

【メッセージ】

```
sshlogin: login <user> as <class> on ssh <interface_number> from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ssh で正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>

ログインユーザ名

<class>

ログインクラス

admin

管理者クラス

user

一般ユーザクラス

<interface_number>

インタフェース番号

<address>

クライアントの IP アドレス

1.24.2 ログイン失敗 (認証エラー)

【メッセージ】

```
sshlogin: failed login <user> on ssh <interface_number> from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ssh でユーザ名が違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>

ログインユーザ名

<interface_number>

インタフェース番号

<address>

クライアントの IP アドレス

1.24.3 ログイン終了

【メッセージ】

```
sshlogin: exit <user> as <class> on ssh <interface_number> from <address> [(<reason>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ssh で exit した場合に出力されます。telnetinfo autologout コマンドの設定により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>

ログインユーザ名

<class>

ログインクラス

admin

管理者クラス

user

一般ユーザクラス

<interface_number>

インタフェース番号

<address>

クライアントの IP アドレス

<reason>

なし

exit コマンド実行によるログアウト

autologout

無操作監視による強制ログアウト

clear

clear line コマンドによる強制ログアウト

reset

reset コマンドによる強制ログアウト

1.25 sftp デーモンのメッセージ

1.25.1 ログイン成功

【メッセージ】

```
sftpd: login <user> as <class> on sftp <interface_number> from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

sftp で正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>

ログインユーザ名

<class>

ログインクラス

admin

管理者クラス

user

一般ユーザクラス

<interface_number>

インタフェース番号

<address>

クライアントの IP アドレス

1.25.2 ログイン失敗 (認証エラー)

【メッセージ】

```
sftpd: failed login <user> on sftp <interface_number> from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

sftp でユーザ名が違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>

ログインユーザ名

<interface_number>

インタフェース番号

<address>

クライアントの IP アドレス

1.25.3 ファイル蓄積完了

【メッセージ】

```
sftpd: <filename> Write complete
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ファイル蓄積(クライアントからの put)により ROM が上書きされたことを示します。

【パラメタの意味】

<filename>

上書きされたファイル名

1.25.4 ファイル回収完了

【メッセージ】

```
sftpd: <filename> Read complete
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ファイル回収(クライアントからの get)により ROM が読み出されたことを示します。

【パラメタの意味】

<filename>

読み出されたファイル名

1.25.5 ログイン終了

【メッセージ】

```
sftpd: exit <user> as <class> on sftp <interface_number> from <address> [(<reason>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

sftp でのログインを終了した場合に出力されます。

15 分間無操作状態が続いて自動切断により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>

ログインユーザ名

<class>

ログインクラス

admin

管理者クラス

user

一般ユーザクラス

<interface_number>

インタフェース番号

<address>

クライアントの IP アドレス

<reason>

なし

exit コマンド実行によるログアウト

autologout

無操作監視による強制ログアウト

clear

clear line コマンドによる強制ログアウト

reset

reset コマンドによる強制ログアウト

1.26 http/https のメッセージ

1.26.1 ログイン成功

【メッセージ】

```
httpd: login <user> as <class> on http <interface_number> from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

http で正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>

ログインユーザ名

<class>

ログインクラス

admin

管理者クラス

user

一般ユーザクラス

<interface_number>

インタフェース番号

<address>

http 接続元アドレス

1.26.2 ログイン失敗 (認証エラー)

【メッセージ】

```
httpd: failed login <user> on http <interface_number> from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

http でログインユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>

ログインユーザ名

<interface_number>

インタフェース番号

<address>

http 接続元アドレス

1.26.3 ログイン終了

【メッセージ】

```
httpd: exit <user> as <class> on http <interface_number> from <address> [(<reason>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

http で exit した場合に出力されます。時間制限による自動切断により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>

ログインユーザ名

<class>

ログインクラス

admin

管理者クラス

user

一般ユーザクラス

<interface_number>

インタフェース番号

<address>

http 接続元アドレス

<reason>

なし

exit コマンド実行によるログアウト

autologout

無操作監視による強制ログアウト

clear

clear line コマンドによる強制ログアウト

reset

reset コマンドによる強制ログアウト

1.26.4 セッション上限超過

【メッセージ】

```
httpsd: httpsd socket overflow.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

HTTPS セッションの同時接続数が上限を超過しました。

1.27 admin/su コマンドのメッセージ

1.27.1 admin 成功

【メッセージ】

```
<name>: admin: authentication to <user> succeeded on <apl_name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

admin コマンドで認証に成功し、正常に管理者クラスに移行できた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<name>

admin コマンドを実行したプログラム

cmdexec

コンソールで admin コマンドを実行した

telexec

telnet で admin コマンドを実行した

sshexec

ssh で admin コマンドを実行した

<user>

ログインユーザ名

<apl_name>

admin コマンドを実行したアプリケーション名

console

コンソールで admin コマンドを実行した

telnet

telnet で admin コマンドを実行した

ssh

ssh で admin コマンドを実行した

【メッセージ】

```
<name>: admin: authentication to <user> succeeded on <apl_name> <interface_number>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

admin コマンドで認証に成功し、正常に管理者クラスに移行できた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<name>

admin コマンドを実行したプログラム

telexec

telnet で admin コマンドを実行した

sshexec

ssh で admin コマンドを実行した

cmdexec

コンソールで admin コマンドを実行した

<user>

ログインユーザ名

<apl_name>

admin コマンドを実行したアプリケーション名

vtty

telnet で admin コマンドを実行した

ssh

ssh で admin コマンドを実行した

console

コンソールで admin コマンドを実行した

<interface_number>

インタフェース番号

1.27.2 admin 失敗 (認証エラー)

【メッセージ】

```
<name>: admin: authentication to <user> failed on <apl_name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

admin コマンドで認証に失敗し、管理者クラスに移行できなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<name>

admin コマンドを実行したプログラム

cmdexec

コンソールで admin コマンドを実行した

telexec

telnet で admin コマンドを実行した

sshexec

ssh で admin コマンドを実行した

<user>

ログインユーザ名

<apl_name>

admin コマンドを実行したアプリケーション名

console

コンソールで admin コマンドを実行した

telnet

telnet で admin コマンドを実行した

ssh

ssh で admin コマンドを実行した

【メッセージ】

```
<name>: admin: authentication to <user> failed on <apl_name> <interface_number>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

admin コマンドで認証に失敗し、管理者クラスに移行できなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<name>

admin コマンドを実行したプログラム

telexec

telnet で admin コマンドを実行した

sshexec

ssh で admin コマンドを実行した

cmdexec

コンソールで admin コマンドを実行した

<user>

ログインユーザ名

<apl_name>

admin コマンドを実行したアプリケーション名

vtty

telnet で admin コマンドを実行した

ssh

ssh で admin コマンドを実行した

console

コンソールで admin コマンドを実行した

<interface_number>

インタフェース番号

1.27.3 admin 終了

【メッセージ】

```
<name>: admin: exit <user> on <apl_name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

admin コマンドで管理者クラスに移行していた状態から一般ユーザクラスに復帰した場合に表示されます。

【パラメタの意味】

<name>

admin コマンドを実行したプログラム

telexec

telnet で admin コマンドを実行した

sshexec

ssh で admin コマンドを実行した

cmdexec

コンソールで admin コマンドを実行した

<user>

ログインユーザ名

<apl_name>

admin コマンドを実行したアプリケーション名

telnet

telnet で admin コマンドを実行した

ssh

ssh で admin コマンドを実行した

console

コンソールで admin コマンドを実行した

【メッセージ】

<name>: admin: exit <user> on <apl_name> <interface_number>

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

admin コマンドで管理者クラスに移行していた状態から一般ユーザクラスに復帰した場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<name>

admin コマンドを実行したプログラム

telnet

telnet で admin コマンドを実行した

sshexec

ssh で admin コマンドを実行した

cmdexec

コンソールで admin コマンドを実行した

<user>

ログインユーザ名

<apl_name>

admin コマンドを実行したアプリケーション名

vty

telnet で admin コマンドを実行した

ssh

ssh で admin コマンドを実行した

console

コンソールで admin コマンドを実行した

<interface_number>

インタフェース番号

1.28 IPsec/IKE のメッセージ

1.28.1 ISAKMP SA ネゴシエーション

【メッセージ】

```
isakmp: not acceptable <etype> mode
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または受け入れられない交換モードを受信したことを示します。このメッセージは、ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、自側の設定により決定した交換モードとは異なるモードを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<etype>

交換モード

サポートされていない交換モード

1

Base

受け入れられない交換モード

※自側の設定により決定した交換モードとは異なるモード

2

Identity Protection

4

Aggressive

【メッセージ】

```
isakmp: invalid encryption algorithm <algorithm>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正な暗号アルゴリズムを受信したことを示します。このメッセージは、ISAKMP SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、DES_CBC、3DES_CBC、AES_CBC 以外の暗号アルゴリズムを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<algorithm>

暗号アルゴリズム

サポートされていない暗号アルゴリズム

2

IDEA 暗号アルゴリズム

3

Blowfish 暗号アルゴリズム

4

RC5-R16-B64 暗号アルゴリズム

6

CAST 暗号アルゴリズム

不正な暗号アルゴリズム

1~7 以外の不定の値

※以下の暗号アルゴリズムはサポートされているため出力されることはありません。

1

DES CBC 暗号アルゴリズム

5

3DES CBC 暗号アルゴリズム

7

AES-CBC 暗号アルゴリズム

【メッセージ】

```
isakmp: invalid hash algorithm <algorithm>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正なハッシュアルゴリズムを受信したことを示します。このメッセージは、ISAKMP SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、MD5、SHA、SHA2 以外のハッシュアルゴリズムを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<algorithm>

ハッシュアルゴリズム

サポートされていないハッシュアルゴリズム

3

Tiger ハッシュアルゴリズム

不正なハッシュアルゴリズム

1~6 以外の不定の値

※以下のハッシュアルゴリズムはサポートされているため出力されることはありません。

1

MD5 アルゴリズム

2

SHA アルゴリズム

4

SHA2 (256bit) アルゴリズム

5

SHA2 (384bit) アルゴリズム

6

SHA2 (512bit) アルゴリズム

【メッセージ】

```
isakmp: invalid authentication method <method>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、不正な認証方式を受信したことを示します。このメッセージは、ISAKMP SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、共有鍵 (Pre-shared key) 認証以外の認証方式を受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<method>

認証方式

サポートされていない認証方式

2

DSS 署名認証方式

3

RSA 署名認証方式

4

RSA 暗号認証方式

5

改良 RSA 暗号認証方式

不正な認証方式

1~5 以外の不定の値

※以下の認証方式はサポートされているため出力されることはありません。

1

既知共有鍵認証方式

【メッセージ】

```
isakmp: invalid DH group type <group>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正なグループタイプを受信したことを示します。このメッセージは、ISAKMP SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、RFC2409 に定義されている中で MODP 以外のグループタイプを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<group>

グループ記述子

サポートされていないグループタイプ

2

ECP だ円関数グループ

3

EC2N だ円関数グループ

不正な認証方式

1~3 以外の不定の値

※以下のグループタイプはサポートされているため出力されることはありません。

1

MODP 指数関数グループ

【メッセージ】

```
isakmp: ignore the packet, expecting the packet encrypted
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信パケットが暗号化されていることを期待していたが、暗号化されていないため、パケットを破棄したことを示します。このメッセージは、ISAKMP SA のネゴシエーションで、鍵交換後のパケットは暗号化されることを期待するが、暗号化されていないパケットを受信したときに出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: Expecting IP address type in main mode, but <type>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Main モードで受信した ID ペイロードの IP アドレスタイプが、期待していたタイプでなかったことを示します。このメッセージは、ISAKMP SA のネゴシエーションを共有鍵(Pre-shared key)認証で行う場合に、ID ペイロードの交換が IPv4 アドレス、IPv6 アドレス以外で行われたときに出力されます。

【パラメタの意味】

<type>

ID タイプ

サポートされていない ID タイプ

1

IPv4 アドレス

2

省略なしドメイン名

3

省略なしユーザ名

4

IPv4 アドレスとネットマスク

5

IPv6 アドレス

6

IPv6 アドレスとネットマスク

7

IPv4 アドレス範囲指定

8

IPv6 アドレス範囲指定

9

証明書対象者の X.501 バイナリ DER
エンコーディング

10

証明書対象者の X.509 バイナリ DER
エンコーディング

11

独自 ID 情報

不正な ID タイプ

1~11 以外の不定の値

【メッセージ】

```
isakmp: give up phase1 negotiation. <local>[<local_port>] -> <remote>[<remote_port>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ISAKMP SA のネゴシエーションの再送回数が終了したことを示します。このメッセージは、回線異常、相手装置の問題によりネゴシエーションパケットが受信できず、ネゴシエーションが失敗したときに出力されます。または、設定ミスによりネゴシエーションパケットが破棄され、ネゴシエーションが失敗したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<local>

IPsec 対象パケットをセキュア化する送信元 IP アドレスまたは自装置識別情報

<remote>

IPsec 対象パケットをアンセキュア化するあて先 IP アドレスまたは相手装置識別情報

<local_port>

IPsec 対象パケットをセキュア化する送信元ポート番号

<remote_port>

IPsec 対象パケットをアンセキュア化するあて先ポート番号

【メッセージ】

```
isakmp: phase1 information overflow.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ISAKMP SA のネゴシエーションで、Phase1 情報が最大数を越えたことを示します。このメッセージは、大規模構成で同時に IPsec/IKE 通信を行い、それぞれの IPsec SA 更新のタイミングが同時期に行われた場合や相手装置の問題によって定義数以上のネゴシエーションが行われた場合に出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: invalid Minor Version.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な Minor Version の値を受信したことを示します。

このメッセージは、ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、Minor Version に 0、1 以外の値が設定されたパケットを受信したときに出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: invalid RESERVED field.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な RESERVED フィールドの値を受信したことを示します。

このメッセージは、ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、RESERVED フィールドに 0 以外の値が設定されたパケットを受信したときに出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: invalid number of Transform Payload.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な#of Transforms の値を受信したことを示します。

このメッセージは、ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、#of Transforms 値に Transform ペイロードの個数と異なる値が設定されたパケットを受信したときに出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: invalid Next Payload type of SA Payload.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な SA ペイロードの次ペイロードタイプの値を受信したことを示します。

このメッセージは、ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、SA ペイロードの次ペイロードタイプに Proposal ペイロード(2)、Transform ペイロード(3)の値が設定されたパケットを受信したときに出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: invalid Next Payload type of Transform Payload.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な Transform ペイロードの次ペイロードタイプの値を受信したことを示します。

このメッセージは、ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、Transform ペイロードの次ペイロードタイプに次ペイロードなし(0)、Transform ペイロード(3)以外の値が設定されたパケットを受信したときに出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: invalid Next Payload type of the last Payload.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な最終ペイロードの次ペイロードタイプの値を受信したことを示します。

このメッセージは、ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、最終ペイロードの次ペイロードタイプに次ペイロードなし(0)でない値が設定されたパケットを受信したときに出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: invalid Next Payload type <type>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

規定されていない不正な次ペイロードタイプの値を受信したことを示します。

このメッセージは、ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、次ペイロードタイプに規定されていない不正な値が設定されたパケットを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<type>

不正なペイロードタイプ

0~13 以外の不定の値

1.28.2 IPsec SA ネゴシエーション

【メッセージ】

```
isakmp: invalid transform id=<id> in <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正なトランスフォーム ID を受信したことを示します。このメッセージは、IPsec SA のネゴシエーション開始時に、受信したトランスフォームペイロードトランスフォーム ID が未サポート、または不正な認証または暗号アルゴリズムの場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<id>

トランスフォーム ID (認証/暗号アルゴリズム)

protocol が ISAKMP のとき

不正なトランスフォーム ID

1 以外の不定の値

※以下のトランスフォーム ID はサポートされているため出力されることはありません。

1

IKE

protocol が AH のとき

サポートされていないトランスフォーム ID

4

DES 認証アルゴリズム

不正なトランスフォーム ID

1~7 以外の不定の値

※以下のトランスフォーム ID はサポートされているため出力されることはありません。

2

MD5 認証アルゴリズム

3

SHA 認証アルゴリズム

5

SHA2 (256bit) 認証アルゴリズム

6

SHA2 (384bit) 認証アルゴリズム

7

SHA2 (512bit) 認証アルゴリズム
protocol が ESP のとき
サポートされていないトランスフォーム ID

1

DES IV64 暗号アルゴリズム

4

RC5 暗号アルゴリズム

5

IDEA 暗号アルゴリズム

6

CAST 暗号アルゴリズム

7

Blowfish 暗号アルゴリズム

8

トリプル IDEA 暗号アルゴリズム

9

DES IV32 暗号アルゴリズム

10

RC4 暗号アルゴリズム
不正なトランスフォーム ID
1~12 以外の不定の値

※以下のトランスフォーム ID はサポートされているため出力されることはありません。

2

DES 暗号アルゴリズム

3

3DES 暗号アルゴリズム

12

AES 暗号アルゴリズム

<protocol>

プロトコル

1

ISAKMP プロトコル

2

認証プロトコル

3

暗号プロトコル

【メッセージ】

```
isakmp: invalid encryption mode=<mode>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正なカプセルモードを受信したことを示します。このメッセージは、IPsec SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、トンネルモード以外のカプセルモードを受信したときに出力されません。

【パラメタの意味】

<mode>

カプセルモード

1

トンネルモード

2

トランスポートモード

3(または 61443)

UDP カプセリングトンネルモード

4(または 61444)

UDP カプセリングトランスポートモード

※以下のカプセルモードはサポートされているため出力されることはありません。

2

トランスポートモード

4(または 61444)

UDP カプセリングトランスポートモード

不正なカプセルモード

上記以外の不定の値

【メッセージ】

```
isakmp: invalid authentication algorithm=<algorithm>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正な認証アルゴリズムを受信したことを示します。このメッセージは、IPsec SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、HMAC-MD5, HMAC-SHA1 以外の認証アルゴリズムを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<algorithm>

認証アルゴリズム

サポートされていない認証アルゴリズム

3

DES MAC 認証アルゴリズム

4

KDPK 認証アルゴリズム

不正な認証アルゴリズム

1~7 以外の不定の値

※以下の認証アルゴリズムはサポートされているため出力されることはありません。

1

HMAC MD5 認証アルゴリズム

2

HMAC SHA 認証アルゴリズム

5

HMAC SHA2(256bit) 認証アルゴリズム

6

HMAC SHA2(384bit) 認証アルゴリズム

【メッセージ】

```
isakmp: give up phase2 negotiation. <src_addr>[<src_port>] -> <dst_addr>[<dst_port>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA のネゴシエーションの再送回数が終了したことを示します。このメッセージは、回線異常や相手装置の問題によりネゴシエーションパケットが受信できなかった場合や設定ミスによりパケットが破棄されたことによって、ネゴシエーションが失敗した場合に出力されます。

【パラメタの意味】**<src_addr>**

IPsec 対象パケットをセキュア化する送信元 IP アドレス

<dst_addr>

IPsec 対象パケットをアンセキュア化するあて先 IP アドレス

<src_port>

IPsec 対象パケットをセキュア化する送信元ポート番号

<dst_port>

IPsec 対象パケットをアンセキュア化するあて先ポート番号

【メッセージ】

```
isakmp: phase2 information overflow.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA のネゴシエーションで、Phase2 情報が最大数を越えたことを示します。このメッセージは、大規模構成で同時に IPsec/IKE 通信を行い、それぞれの IPsec SA 更新のタイミングが同時期に行われた場合や相手装置の問題により定義数以上のネゴシエーションが行われた場合に出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: IPsec SA protocol id mismatched.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA のネゴシエーションプロトコルが、受信した IPsec SA のネゴシエーションと一致しなかったことを示します。IPsec SA のネゴシエーションに失敗したときにレスポンスによって出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: IPsec SA encryption algorithm mismatched.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA の暗号アルゴリズムが、受信した IPsec SA の暗号アルゴリズムと一致しなかったことを示します。
IPsec SA のネゴシエーションに失敗したときにレスポンドによって出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: IPsec SA encryption algorithm key length mismatched.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA の暗号アルゴリズムの鍵長が、受信した IPsec SA の暗号アルゴリズムの鍵長と一致しなかったことを示します。

IPsec SA のネゴシエーションに失敗したときにレスポンドによって出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: IPsec SA authentication algorithm mismatched.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA の認証アルゴリズムが、受信した IPsec SA の認証アルゴリズムと一致しなかったことを示します。
IPsec SA のネゴシエーションに失敗したときにレスポンドによって出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: IPsec SA pfs group mismatched.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA の PFS 使用時の DH グループが、受信した IPsec SA の DH グループと一致しなかったことを示します。
IPsec SA のネゴシエーションに失敗したときにレスポンドによって出力されます。

1.28.3 ISAKMP、IPsec 共通

【メッセージ】

```
isakmp: invalid value of DOI 0x<doi>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な DOI の値を受信したことを示します。このメッセージは、ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーション開始時に、受信した SA ペイロードの DOI が IPsec DOI 以外の場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<doi>

DOI

00000001 以外の不定の値

【メッセージ】

```
isakmp: invalid situation 0x<situation>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正な Situation の値を受信したことを示します。このメッセージは、ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーション開始時に、受信した SA ペイロードの Situation が SIT_IDENTITY_ONLY 以外の場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<situation>

situation

サポートされていない Situation

00000002

ネゴシエーション中の SA が、ラベル付けされたセキュリティが必要な環境にあることを示します。

00000004

ネゴシエーション中の SA が、ラベルが付いたインテグリティを必要とする環境にあることを示します。

不正な situation

00000001、00000002、00000004 以外の不定の値

※以下の Situation はサポートされているため出力されることはありません。

00000001

発信元 ID 情報によって SA を確認することを指定します。

【メッセージ】

```
isakmp: invalid protocol id <id>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正なプロトコル ID の値を受信したことを示します。このメッセージは、ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーション開始時に、受信したプロポーザルペイロードのプロトコル ID が ISAKMP、AH、ESP 以外の場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<id>

プロトコル ID

サポートされていないプロトコル ID

4

圧縮プロトコル

不正なプロトコル ID

1~4 以外の不定の値

※以下のプロトコル ID はサポートされているため出力されることはありません。

1

ISAKMP プロトコル

2

IPsec 認証プロトコル

3

IPsec 暗号プロトコル

【メッセージ】

```
isakmp: invalid life type <type>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な Life タイプを受信したことを示します。このメッセージは、ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、RFC2409 に定義されていない Life タイプを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<type>

Life タイプ

不正なプロトコル ID

1、2 以外の不定の値

※以下の Life タイプはサポートされているため出力されることはありません。

1

単位秒

2

単位キロバイト

【メッセージ】

```
isakmp: invalid attribute type <type>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正な属性タイプを受信したことを示します。このメッセージは、ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、サポートされていないまたは RFC2409 に定義されていない属性タイプを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<type>

属性タイプ

ISAKMP SA ネゴシエーションのとき

サポートされていない属性タイプ

8

グループ生成 2 属性タイプ

9

グループ曲線 A 属性タイプ

10

グループ曲線 B 属性タイプ

15

フィールド長属性タイプ

16

グループ順属性タイプ

不正な属性タイプ

1～15 以外の不定の値

※以下の属性タイプはサポートされているため出力されることはありません。

1

暗号アルゴリズム

2

ハッシュアルゴリズム

3

認証方式

4

グループ記述子

5

グループタイプ

6

グループ素数/規約多項式

7

グループ生成 1

11

Life タイプ

12

Life 継続期限

13

prf

14

鍵長

IPsec SA ネゴシエーションのとき

サポートされていない属性タイプ

7

鍵ラウンド属性タイプ

8

圧縮辞書サイズ属性タイプ

9

圧縮プライベート

アルゴリズム

不正な属性タイプ

1～9 以外の不定の値

※以下の属性タイプはサポートされているため出力されることはありません。

1

Life タイプ

2

Life 継続期限

3

グループ記述子

4

カプセルモード

5

認証アルゴリズム

6

鍵長

【メッセージ】

```
isakmp: invalid group description=<group>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

サポートされていない、または不正なグループ記述子を受信したことを示します。このメッセージは、ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーションのデータ属性受信時に、サポートされていないまたは RFC2409 に定義されていないグループ記述子を受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<group>

グループ記述子

サポートされていないグループ記述子

3

EC2N[2¹⁵⁵] だ円関数グループ

4

EC2N[2¹⁸⁵] だ円関数グループ

不正なグループ記述子

1~5 以外の不定の値

※以下のグループ記述子はサポートされているため出力されることはありません。

1

768 ビット MODP グループ

2

1024 ビット MODP グループ

5

1536 ビット MODP グループ

14

2048 ビット MODP グループ

【メッセージ】

```
isakmp: ignore the packet, received unexpecting payload type <group>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

期待していないペイロードタイプを受信したため、そのパケットを破棄したことを示します。このメッセージは、ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーションで、受信したパケットに期待していないペイロードが含まれていたときに出力されます。

【パラメタの意味】

<group>

ペイロードタイプ

0

none ペイロード

-
- 1
SA ペイロードタイプ
 - 2
プロポーザルペイロードタイプ
 - 3
トランスフォームペイロードタイプ
 - 4
鍵交換ペイロードタイプ
 - 5
ID ペイロードタイプ
 - 6
証明書ペイロードタイプ
 - 7
証明書要求ペイロードタイプ
 - 8
ハッシュペイロードタイプ
 - 9
署名ペイロードタイプ
 - 10
Nonce ペイロードタイプ
 - 11
通知ペイロードタイプ
 - 12
削除ペイロードタイプ
 - 13
ベンダ ID ペイロードタイプ
 - 20(または 130)**
NAT ディスカバリペイロードタイプ
 - 21(または 131)**
NAT オリジナルアドレスペイロードタイプ
不正なペイロードタイプ
上記以外の不定の値

【メッセージ】

```
isakmp: received invalid next payload type <receive_type>, expecting <expect_type>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

期待していたペイロードタイプとは異なるペイロードが次ペイロードに指定されていたことを示します。このメッセージは、ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーションで、自身が受けるパケット構成とは異なる構成のパケットを受信したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<receive_type>

受信した次ペイロードタイプ

0

none ペイロード

1

SA ペイロードタイプ

2

プロポーザルペイロードタイプ

3

トランスフォームペイロードタイプ

4

鍵交換ペイロードタイプ

5

ID ペイロードタイプ

6

証明書ペイロードタイプ

7

証明書要求ペイロードタイプ

8

ハッシュペイロードタイプ

9

署名ペイロードタイプ

10

Nonce ペイロードタイプ

11

通知ペイロードタイプ

12

削除ペイロードタイプ

13

ベンダ ID ペイロードタイプ

20(または 130)

NAT ディスカバリペイロードタイプ

21(または 131)

NAT オリジナルアドレスペイロードタイプ

不正なペイロードタイプ

上記以外の不定の値

<expect_type>

期待していたペイロードタイプ

1

SA ペイロードタイプ

8

ハッシュペイロードタイプ

【メッセージ】

```
isakmp: HASH mismatched side=<side> exchange type=<type> status=<status>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信したハッシュ値と受信パケットから生成したハッシュ値が一致しないことを示します。このメッセージは、ISAKMP SA または IPsec SA のネゴシエーション中に、イニシエータまたはレスポндаによって出力されます。イニシエータまたはレスポндаから受信したパケットがデータの破壊や改ざんなどにより、正常なパケットと判断できなかったことを示します。また、Aggressive 交換では、共有鍵が一致しない場合も出力されます。

【パラメタの意味】

<side>

自側の状態

0

イニシエータ側

1

レスポнда側

<type>

ISAKMP 交換の種類

2

Identity Protection 交換

4

Aggressive 交換

32

Quick 交換

<status>

ISAKMP 交換での状態

Identity Protection 交換イニシエータのとき

7

3rd メッセージ受信時

Identity Protection 交換レスポндаのとき

5

3rd メッセージ受信時

Aggressive 交換イニシエータのとき

3

1st メッセージ受信時

Aggressive 交換レスポндаのとき

3

2nd メッセージ受信時

Quick 交換イニシエータのとき

5

1st メッセージ受信時

Quick 交換レスポндаのとき

1

1st メッセージ受信時

5

2nd メッセージ受信時

【メッセージ】

```
isakmp: psk mismatched.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ISAKMP SA のネゴシエーションで共有鍵が一致していない可能性があることを示します。共有鍵が一致していない可能性があるときにレスポндаにより出力されます。

【メッセージ】

```
protocol: weak key not usable for des-cbc encryption.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA の des-cbc 暗号鍵に RFC2409 の Appendix A に記述されている weak key を設定したことを示します。des-cbc 暗号鍵に RFC2409 の Appendix A に記述されている鍵が設定され、IPsec SA の作成を行わなかったときに出力されます。

【メッセージ】

```
protocol: weak key not usable for 3des-cbc encryption.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPsec SA の 3des-cbc 暗号鍵に RFC2409 の Appendix A に記述されている weak key を設定したことを示します。3des-cbc 暗号鍵設定時に暗号鍵を 8 バイトごとの 3 つの鍵に分割した際、3 つの鍵のどれかに RFC2409 の Appendix A に記述されている鍵が設定され、IPsec SA の作成を行わなかったときに出力されます。

【メッセージ】

```
protocol: IPsec extension-range reached maximum.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN または Radius で追加する拡張 IPsec 対象範囲情報が最大値に達したため、IPsec SA が作成できなかったことを示します。

また、動的 VPN または Radius を併用して定義追加を行った場合に定義反映時に拡張 IPsec 対象範囲情報が最大値に達したため、作成できなかったことを示します。

拡張 IPsec 対象範囲定義数を見直してください。

【メッセージ】

```
isakmp: give up <exchange_type> negotiation. <local>[<local_port>] -> <remote>[<remote_port>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IKEv2 で、IPsec SA/ISAKMP SA のネゴシエーションの再送回数が終了したことを示します。このメッセージは、回線異常、相手装置の問題によりネゴシエーションパケットが受信できず、ネゴシエーションが失敗したときに出力されます。または、設定ミスによりネゴシエーションパケットが破棄され、ネゴシエーションが失敗したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<exchange_type>

交換タイプ

IKE_SA_INIT

IKE_SA_INIT 交換

IKE_AUTH

IKE_AUTH 交換

CREATE_CHILD_SA

CREATE_CHILD_SA 交換

INFORMATIONAL

INFORMATIONAL 交換

<local>

IPsec 対象パケットをセキュア化する送信元 IP アドレスまたは自装置識別情報

<remote>

IPsec 対象パケットをアンセキュア化するあて先 IP アドレスまたは相手装置識別情報

<local_port>

IPsec 対象パケットをセキュア化する送信元ポート番号

<remote_port>

IPsec 対象パケットをアンセキュア化するあて先ポート番号

【メッセージ】

```
isakmp: <remote_name> sent DELETE IPsec SA message in <line> [<line_name>]
isakmp: <remote_name> sent DELETE IKE SA message in <line> [<line_name>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IKEv1 送出インタフェース二重化構成で、<line>のインタフェースに削除メッセージを送信したことを示します。

【パラメタの意味】

<remote_name>

相手ネットワーク名、接続先名

<line>

インタフェース種別

main

メイン

backup

バックアップ

<line_name>

送出インタフェースの相手ネットワーク名またはインタフェース名

【メッセージ】

```
isakmp: <remote_name> failed to sent DELETE IPsec SA message in <line> [<line_name>]
isakmp: <remote_name> failed to sent DELETE IKE SA message in <line> [<line_name>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IKEv1 送出インタフェース二重化構成で、<line>のインタフェースが存在しないなどの理由により削除メッセージの送信に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<remote_name>

相手ネットワーク名, 接続先名

<line>

インタフェース種別

main

メイン

backup

バックアップ

<line_name>

送出インタフェースの相手ネットワーク名またはインタフェース名

【メッセージ】

```
isakmp: EAP Authentication failure. [<remote_name>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IKEv2 の EAP 認証機能利用時に、ID やパスワードの不一致などの理由により EAP 認証に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<remote_name>

相手ネットワーク名, 接続先名

1.28.4 IKE セッションの障害検出

【メッセージ】

```
isakmp: DPD watching host is down. [<target>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

DPD による IKE セッションの検出ができなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<target>

ネットワーク名, 接続先名 (接続先が相手情報設定の場合)

テンプレート名, 接続先識別子 (接続先がテンプレート情報設定の場合)

1.28.5 動的 VPN のメッセージ

【メッセージ】

```
isakmp: The IKE negotiation demand from <user_id> has not received.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<user_id>からの IKE ネゴシエーション要求が受信できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

動的 VPN 情報交換を承諾したユーザ ID

【メッセージ】

```
isakmp: duplicate route: <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN 接続で IKE ネゴシエーションを行うために追加した経路よりも優先度が高い同じ経路がすでに設定されていたことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

追加した経路情報

【メッセージ】

```
protocol: <user_id> was disconnected. [tmp<template>.rmt<remote> (<reason>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<user_id>を切断したことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

動的 VPN 情報交換を承諾したユーザ ID

<template>

テンプレート定義番号

<remote>

相手定義番号

<reason>

切断理由

idle timer expired

無通信監視時間満了による切断

manual

手動切断

cannot add route(<route>)

経路追加失敗(追加できなかった経路)

【メッセージ】

```
isakmp: invalid psk was received. <user_id>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不正な IKE 共有鍵を受信したことを示します。

このメッセージは、動的 VPN 機能で配布された IKE 共有鍵が本装置のサポート範囲を超えた場合に出力されま
す。

【パラメタの意味】

<user_id>

動的 VPN 情報交換中のユーザ ID

【メッセージ】

```
isakmp: psk was not received. <user_id>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IKE 共有鍵が動的 VPN 機能で配布されないことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

動的 VPN 情報交換中のユーザ ID

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: lack of configuration for DVPN.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN 定義に必要な情報の設定が欠けているために、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: invalid DVPN client configuration.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

参照先動的 VPN クライアント情報に必要な設定が欠けているために、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: invalid DVPN client configuration.
(address family of server address contradicts ua)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

参照先動的 VPN クライアント情報の動的 VPN サーバとクライアントのアドレスファミリーが矛盾しているために、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: invalid DVPN client configuration.
(address family of tunnel local contradicts global)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

参照先動的 VPN クライアント情報の VPN 通信の終端グローバルアドレスと自側エンドポイントのアドレスファミリーが矛盾しているために、この ap 定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: remote <remote> ap <ap> is not attached: same DVPN session
configuration in remote <other_remote> ap <other_ap>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下のどちらかの理由により、この ap 定義が利用できないことを示します。

- トンネルアドレスが異なり、同じ動的 VPN クライアント情報を参照する接続先情報が、異なる remote 定義の ap 定義ですでに設定されている。

```
remote [<number>] ap [<ap_number>] dvpn client
remote [<number>] ap [<ap_number>] tunnel local
```

例：

```
remote 0 ap 0 dvpn client 0
remote 0 ap 0 tunnel local 192.168.1.1
remote 1 ap 0 dvpn client 0
remote 1 ap 0 tunnel local 192.168.2.1
```

※ remote 1 が無効

- 参照する動的 VPN クライアント情報が異なり、同じトンネルアドレスの接続先情報が、異なる remote 定義の ap 定義ですでに設定されている。

```
remote [<number>] ap [<ap_number>] dvpn client
remote [<number>] ap [<ap_number>] tunnel local
```

例：

```
remote 0 ap 0 dvpn client 0
remote 0 ap 0 tunnel local 192.168.1.1
remote 1 ap 0 dvpn client 1
remote 1 ap 0 tunnel local 192.168.1.1
```

※ remote 1 が無効

【パラメタの意味】

<remote>

相手定義番号

<ap>

接続先定義番号

<other_remote>

相手定義番号

<other_ap>

接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: lack or invalid DVPN client configuration.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

参照先動的 VPN クライアント情報の設定が欠けているため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: lack or invalid DVPN client configuration.
(address family of server address contradicts ua)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

参照先動的 VPN クライアント情報の動的 VPN サーバとクライアントのアドレスファミリーが矛盾しているため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: lack or invalid DVPN client configuration.  
(address family of tunnel local contradicts global)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

参照先動的 VPN クライアント情報の VPN 通信の終端グローバルアドレスと自側エンドポイントのアドレスファミリーが矛盾しているため、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

【メッセージ】

```
protocol: address family is contradicts, ignore server <count> of template <template> dvpn client <number>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN サーバのアドレスファミリーが矛盾しているため、<number>で示される動的 VPN クライアント情報の<count>で設定されている動的 VPN サーバ定義を無視したことを示します。

【パラメタの意味】

<count>

動的 VPN サーバ定義番号

<template>

テンプレート定義番号

<number>

動的 VPN クライアント定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: same DVPN session configuration in remote <other_remote> ap  
<other_ap>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下のどちらかの理由により、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

- トンネルアドレスが異なり、同じ動的VPNクライアント情報を参照する接続先情報が、異なる remote 定義の ap 定義ですでに設定されている。

```
remote [<number>] ap [<ap_number>] dvpn client
remote [<number>] ap [<ap_number>] tunnel local
```

例：

```
remote 0 ap 0 dvpn client 0
remote 0 ap 0 tunnel local 192.168.1.1
template 0 dvpn client 0
template 0 tunnel local 192.168.2.1
```

※ template 0 が無効

- 参照する動的VPNクライアント情報が異なり、同じトンネルアドレスの接続先情報が、異なる remote 定義の ap 定義ですでに設定されている。

```
remote [<number>] ap [<ap_number>] dvpn client
remote [<number>] ap [<ap_number>] tunnel local
```

例：

```
remote 0 ap 0 dvpn client 0
remote 0 ap 0 tunnel local 192.168.1.1
template 0 dvpn client 1
template 0 tunnel local 192.168.1.1
```

※ template 0 が無効

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

<other_remote>

相手定義番号

<other_ap>

接続先定義番号

【メッセージ】

```
protocol: template <template> is not available: same DVPN session configuration in template <other_template>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下のどちらかの理由により、このテンプレート定義が利用できないことを示します。

- トンネルアドレスが異なり、同じ動的VPNクライアント情報を参照するテンプレート情報が、異なるテンプレート定義ですでに設定されている。

```
template [<number>] dvpn client
template [<number>] tunnel local
```

例：

```
template 0 dvpn client 0
template 0 tunnel local 192.168.1.1
template 1 dvpn client 0
```

```
template 1 tunnel local 192.168.2.1
```

※ template 1 が無効

- ・ 参照する動的 VPN クライアント情報が異なり、同じトンネルアドレスのテンプレート情報が、異なるテンプレート定義ですでに設定されている。

```
template [<number>] dvpn client
```

```
template [<number>] tunnel local
```

例：

```
template 0 dvpn client 0
```

```
template 0 tunnel local 192.168.1.1
```

```
template 1 dvpn client 1
```

```
template 1 tunnel local 192.168.1.1
```

※ template 1 が無効

【パラメタの意味】

<template>

テンプレート定義番号

<other_template>

テンプレート定義番号

1.28.6 NAT トラバーサル関連システムログ

【メッセージ】

```
isakmp: Vendor ID for NAT traversal which is not supported was received.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した NAT トラバーサルのベンダ ID はサポートされていないことを示します。

このメッセージは、ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、自身が NAT トラバーサルを使用していて、相手から自身がサポートする NAT トラバーサル用のベンダ ID を 1 つも受信できなかったとき、または、自身がサポートする NAT トラバーサル用のベンダ ID 以外を受信したときに出力されます。

【メッセージ】

```
isakmp: There is no vendor ID for NAT traversal.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

NAT トラバーサルのベンダ ID が受信できなかったことを示します。

このメッセージは、ISAKMP SA のネゴシエーションデータ受信時に、自身が NAT トラバーサルを使用していて、相手から NAT トラバーサル用のベンダ ID を受信できなかったときに出力されます。

1.28.7 RSA デジタル署名関連システムログ

【メッセージ】

```
isakmp: certificate remote <cert_ident> is not exist. <remote_name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IKE ネゴシエーションで、IKE が使用する相手装置証明書が存在しない場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<cert_ident>

相手装置証明書識別番号、またはサブジェクト代替名称

<remote_name>

相手ネットワーク名、接続先名

【注意】

<cert_ident>の文字数が 150 文字以上の場合は、150 文字までしか表示されません。

【メッセージ】

```
isakmp: certificate local <cert_number> is not exist. <remote_name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IKE ネゴシエーションで、IKE が使用する自装置証明書が存在しない場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<cert_number>

自装置証明書識別番号

<remote_name>

相手ネットワーク名、接続先名

【メッセージ】

```
isakmp: certificate private <key_number> is not exist. <remote_name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IKE ネゴシエーションで、IKE が使用する RSA 秘密鍵が存在しない場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<key_number>

秘密鍵識別番号

<remote_name>

相手ネットワーク名、接続先名

【メッセージ】

```
isakmp: certificate ca <cert_number> is not exist. <remote_name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IKE ネゴシエーションで、IKE が使用する認証局証明書が存在しない場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<cert_number>

認証局証明書識別番号

<remote_name>

相手ネットワーク名、接続先名

【メッセージ】

```
isakmp: certificate local <cert_number> expired. <remote_name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IKE ネゴシエーションで、IKE が使用する自装置証明書の有効期限が満了している場合に出力されます。

有効期限が満了した場合は、証明書の更新(保存)を行ってください。

remote ap ike certificate expired コマンドが“use(使用する)”の場合、この syslog が出力されても証明書を
使用し続けます。

remote ap ike certificate expired コマンドが“unuse(使用しない)”の場合は、証明書は使用しないで IKE ネゴ
シエーションが失敗します。

【パラメタの意味】

<cert_number>

自装置証明書識別番号

<remote_name>

相手ネットワーク名、接続先名

【メッセージ】

```
isakmp: certificate remote <cert_ident> expired. <remote_name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IKE ネゴシエーションで、IKE が使用する相手装置証明書の有効期限が満了している場合に出力されます。

有効期限が満了した場合は、証明書の更新(保存)を行ってください。

remote ap ike certificate expired コマンドが“use(使用する)”の場合、この syslog が出力されても証明書を
使用し続けます。

remote ap ike certificate expired コマンドが“unuse(使用しない)”の場合は、証明書は使用しないで IKE ネゴ
シエーションが失敗します。

【パラメタの意味】

<cert_ident>

相手装置証明書識別番号、またはサブジェクト代替名称

<remote_name>

相手ネットワーク名、接続先名

【注意】

<cert_ident>の文字数が 150 文字以上の場合は、150 文字までしか表示されません。

【メッセージ】

```
isakmp: certificate ca <cert_number> expired. <remote_name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IKE ネゴシエーションで、IKE が使用する認証局証明書の有効期限が満了している場合に出力されます。

有効期限が満了した場合は、証明書の更新(保存)を行ってください。

remote ap ike certificate expired コマンドが"use(使用する)"の場合、この syslog が出力されても証明書を
使用し続けます。

remote ap ike certificate expired コマンドが"unuse(使用しない)"の場合は、証明書は使用しないで IKE ネゴ
シエーションが失敗します。

【パラメタの意味】

<cert_number>

認証局証明書識別番号

<remote_name>

相手ネットワーク名、接続先名

【メッセージ】

```
isakmp: signature mismatched. <name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ISAKMP SA のネゴシエーションで、使用している相手装置証明書が違う可能性があることを示します。

使用している相手装置証明書が違う可能性があるときに、レスポンドにより出力されます。

【パラメタの意味】

<name>

相手ネットワーク名、接続先名 または、テンプレート名 または、動的 VPN 接続中のユーザ ID

【メッセージ】

```
isakmp: certificate mismatched. <name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ISAKMP SA のネゴシエーション中に受信した相手装置証明書と、自装置が使用する相手装置証明書が違うため、
ネゴシエーションを終了したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<name>

相手ネットワーク名、接続先名 または、テンプレート名 または、動的 VPN 接続中のユーザ ID

【メッセージ】

```
isakmp: ca mismatched. <name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ISAKMP SA のネゴシエーション中に受信した認証局の情報と、自装置が信頼する認証局の情報が違うため、ネゴシエーションを終了したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<name>

相手ネットワーク名、接続先名 または、テンプレート名 または、動的 VPN 接続中のユーザ ID

1. 28. 8 FQDN 名前解決のエラーメッセージ

【メッセージ】

```
isakmp: Name conversion of fqdn=<fqdn> cannot be performed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定した FQDN の名前解決ができなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<fqdn>

指定された FQDN

指定された FQDN が特定出来なかった場合、“none”を出力します。

1.29 証明書関連機能のメッセージ

1.29.1 証明書関連情報定義矛盾

【メッセージ】

```
pkid: peer certificate <cert_number> is invalid.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

証明書関連情報定義反映時に、不正な相手装置証明書が設定されていた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<cert_number>

相手装置証明書識別番号

【メッセージ】

```
pkid: my certificate <cert_number> is invalid.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

証明書関連情報定義反映時に、不正な自装置証明書が設定されていた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<cert_number>

自装置証明書識別番号

【メッセージ】

```
pkid: ca certificate <cert_number> is invalid.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

証明書関連情報定義反映時に、不正な認証局証明書が設定されていた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<cert_number>

認証局証明書識別番号

【メッセージ】

```
pkid: private key <key_number> is invalid.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

証明書関連情報定義反映時に、不正な RSA 秘密鍵が設定されていた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<key_number>

秘密鍵識別番号

【メッセージ】

```
pkid: certificate request <req_number> is invalid.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

証明書関連情報定義反映時に、不正な証明書要求が設定されていた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<req_number>

証明書要求識別番号

1.30 接続先セッション監視のメッセージ

【メッセージ】

```
icmpwatchd: ap watching host is down. [<target>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

接続先セッション監視の監視ホスト、または接続回線に障害が発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<target>

ネットワーク名、接続先名（接続先が相手情報設定の場合）

テンプレート名、接続先識別子（接続先がテンプレート情報設定の場合）

【メッセージ】

```
icmpwatchd: ap watching host is up. [<target>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

接続先セッション監視の監視ホスト、または接続回線の障害が復旧したことを示します。

接続先がテンプレート情報設定の場合は、出力されません。

【パラメタの意味】

<target>

ネットワーク名、接続先名（接続先が相手情報設定の場合）

1.31 DHCP クライアントのメッセージ

1.31.1 IP アドレス獲得成功

【メッセージ】

```
dhcpcd: Client received DHCPACK [<IP address>] [lan<no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

DHCP サーバから DHCPACK を受信し、正常に IP アドレスを受け取ったことを示します。

【パラメタの意味】

<IP address>

DHCP サーバから割り当てられた IP アドレス

<no>

受信 LAN 定義番号

1.31.2 リース更新成功

【メッセージ】

```
dhcpcd: DHCPACK contains different 'your' IP address. reconfigure to new address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リース更新で DHCP サーバから DHCPACK を受信したが、現在使用中の IP アドレスと異なるアドレスが割り当てられたため、新しいアドレスに再構成します。

1.31.3 リース更新失敗 1

【メッセージ】

```
dhcpcd: Received DHCPNAK (RENEWING). lan<no> go to INIT state
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リース更新中 (RENEWING 状態) に DHCP サーバから DHCPNAK を受信したため、INIT 状態に遷移し LAN インタフェースを再初期化します。

【パラメタの意味】

<no>

受信 LAN 定義番号

1.31.4 リース更新失敗 2

【メッセージ】

```
dhcpcd: Received DHCPNAK (REBINDING). lan<no> go to INIT state
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リース更新中 (REBINDING 状態) に DHCP サーバから DHCPNAK を受信したため、INIT 状態に遷移し LAN インタフェースを再初期化します。

【パラメタの意味】

<no>

受信 LAN 定義番号

1.31.5 リース期間満了

【メッセージ】

```
dhcpcd: The lease time expired. [lan<no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リース期間が満了したことを示します。

【パラメタの意味】

<no>

受信 LAN 定義番号

1.32 IPv6 DHCP クライアントのメッセージ

1.32.1 IPv6 プレフィックス獲得成功

【メッセージ】

```
dhcp6cd: Received Reply [address <address>] [prefix <prefix>/<prefixlen>] <interface>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP サーバから Reply を受信し、正常に IPv6 プレフィックスを受け取ったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

IPv6 DHCP サーバから割り当てられた IPv6 アドレス

<prefix>/<prefixlen>

IPv6 DHCP サーバから割り当てられた IPv6 プレフィックスとプレフィックス長

<interface>

インタフェース名

1.32.2 リース更新失敗 1

【メッセージ】

```
dhcp6cd: Renewing failure. <interface> go to REBIND state
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP サーバから獲得した情報のリース更新(RENEW)に失敗したため、REBIND 状態に遷移します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

1.32.3 リース更新失敗 2

【メッセージ】

```
dhcp6cd: Rebinding failure. <interface> go to INIT state
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP サーバから獲得した情報のリース更新(REBIND)に失敗したため、INIT 状態に遷移します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

1.32.4 IPv6 プレフィックス割り当ての設定誤り

【メッセージ】

```
dhcp6cd: Configuration error for IPv6 prefix assignment. <interface>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 プレフィックスを割り当てのための設定に誤りがあることを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

1.33 ProxyDNS のメッセージ

1.33.1 DNS プロキシの問い合わせパケット

【メッセージ】

```
proxydns: QNAME [<type>:<qname>] from <ipaddr> to <remote>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

発信契機となった DNS の問い合わせパケットの内容を示します。

【パラメタの意味】

<type>

問い合わせタイプ

<type>	番号	説明
“ A ”	1	host address
“ NS ”	2	authoritative server
“ CNAME ”	5	canonical name
“ SOA ”	6	start of authority zone
“ MB ”	7	mailbox domain name
“ MG ”	8	mail group member
“ MR ”	9	mail rename name
“ NULL ”	10	null resource record
“ WKS ”	11	well known service
“ PTR ”	12	domain name pointer
“ HINFO ”	13	host information
“ MINFO ”	14	mailbox information
“ MX ”	15	mail routing information
“ TXT ”	16	text strings
“ AAAA ”	28	IP6 Address
“ SRV ”	33	Server Selection
“ ANY ”	255	wildcard match
“ Type[番号] ”		上記以外

<qname>

問い合わせホスト名

<ipaddr>

発信元ホストの IP アドレス

<remote>

問い合わせ先ネットワーク名

1.33.2 エラー検知によるパケット破棄

【メッセージ】

```
proxydns: ERROR: record type <type>, class <class>, from <address> QNAME [<name>]
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

不正と思われる type や class を持つ DNS 要求を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<type>

DNS 要求パケットの Type の値

<class>

DNS 要求パケットの Class の値

<address>

DNS 要求発行元の IP アドレス

<name>

DNS 要求を行った名前

1.34 ドメインリストのメッセージ

1.34.1 ドメインリストの取得

【メッセージ】

```
<name>: domainlist is reflected
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ドメインリストが取得されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name>

cmdexec

コンソールで接続し、getdomainlist コマンド実行

telexec

telnet で接続し、getdomainlist コマンド実行

sshexec

ssh で接続し、getdomainlist コマンド実行

scheduled

スケジュールコマンドで指定された時刻に getdomainlist コマンド実行

1.34.2 ドメインリストの取得失敗

【メッセージ】

```
<name>: reflection of domainlist is failed
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ドメインリストの取得が失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<name>

cmdexec

コンソールで接続し、getdomainlist コマンド実行

telexec

telnet で接続し、getdomainlist コマンド実行

sshexec

ssh で接続し、getdomainlist コマンド実行

scheduled

スケジュールコマンドで指定された時刻に getdomainlist コマンド実行

1.35 エンドポイントリストのメッセージ

1.35.1 エンドポイントリストの取得

【メッセージ】

```
<name>: endpointlist is reflected
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

エンドポイントリストが取得されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name>

cmdexec

コンソールで接続し、getendpointlist コマンド実行

telexec

telnet で接続し、getendpointlist コマンド実行

sshexecn

ssh で接続し、getendpointlist コマンド実行

scheduled

スケジュールコマンドで指定された時刻に getendpointlist コマンド実行

1.35.2 エンドポイントリストの取得失敗

【メッセージ】

```
<name>: reflection of endpointlist is failed
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

エンドポイントリストの取得が失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<name>

cmdexec

コンソールで接続し、getendpointlist コマンド実行

telexec

telnet で接続し、getendpointlist コマンド実行

sshexecn

ssh で接続し、getendpointlist コマンド実行

scheduled

スケジュールコマンドで指定された時刻に getendpointlist コマンド実行

1.36 SNMP のメッセージ

1.36.1 SNMP 認証失敗

【メッセージ】

```
snmpd: authentication failed. from <address> [<name>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

許可のない SNMP ホストからのアクセスがあったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

SNMP 認証失敗の原因となった IP アドレス

<name>

SNMP 認証に使用されたコミュニティ名 (SNMPv1/SNMPv2c 時)
またはユーザ名 (SNMPv3 時)

1.37 VRRP のメッセージ

1.37.1 VRRP グループ開始

【メッセージ】

```
nsm: vrrp group is started. <interface> vrid<vrid> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と<vrid> が示す VRRP グループが動作を開始したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<vrid>

本装置に設定された VRID

<address>

VRID の仮想 IP アドレス

1.37.2 マスタルータ／バックアップルータ／イニシャル切り替わり

【メッセージ】

```
nsm: vrrp state is changed into the <state> state. <interface> vrid<vrid> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と<vrid> が示す VRRP 状態が<state> で示された状態に変更されたことを示します。

【パラメタの意味】

<state>

変更後の状態

master

マスタルータ

backup

バックアップルータ

Initialize

イニシャル

<interface>

インタフェース名

<vrid>

本装置に設定された VRID

<address>

VRID の仮想 IP アドレス

1.37.3 インタフェースアップ/ダウントリガイイベント発生

【メッセージ】

```
nsm: vrrp <state> trigger event occurred. <interface> vrid<vrid> [<address>] No.<trigger_no> interface
<target_if>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface>、<vrid> および<trigger_no> が示す番号で定義されたインタフェーストリガが発生し、状態が<state> になったことを示します。

【パラメタの意味】

<state>

変更後の状態

up

トリガに設定されたインタフェースがアップし、トリガが不適用になりました。

down

トリガに設定されたインタフェースがダウンし、トリガが適用されました。

<interface>

インタフェース名

<vrid>

本装置に設定された VRID

<address>

VRID の仮想 IP アドレス

<trigger_no>

トリガ定義番号

<target_if>

トリガの対象となるインタフェース名

1.37.4 ルートアップ/ダウントリガイイベント発生

【メッセージ】

```
nsm: vrrp <state> trigger event occurred. <interface> vrid<vrid> [<address>] No.<trigger_no> route
<target_route> <target_if>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と<vrid> と<trigger_no> が示す番号で定義されたルートトリガが発生し、状態が<state> になったことを示します。

【パラメタの意味】

<state>

変更後の状態

up

トリガに設定された経路が復旧し、トリガが不適用になりました。

down

トリガに設定された経路が損失し、トリガが適用されました。

<interface>

インタフェース名

<vrid>

本装置に設定された VRID

<address>

VRID の仮想 IP アドレス

<trigger_no>

トリガ定義番号

<target_route>

トリガの対象となる経路

<target_if>

トリガの対象となる経路の packets 送出インタフェース名

1.37.5 ノードアップ/ダウントリガイベント発生

【メッセージ】

```
nsm: vrrp <state> trigger event occurred. <interface> vrid<vrid> [<address>] No.<trigger_no> node
<target_node> <target_if>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と <vrid> と <trigger_no> が示す番号で定義されたノードトリガが発生し、トリガの状態が <state> になったことを示します。

【パラメタの意味】

<state>

変更後の状態

up

トリガに設定されたノードがアップし、トリガが不適用になりました。

down

トリガに設定されたノードがダウンし、トリガが適用されました。

<interface>

インタフェース名

<vrid>

本装置に設定された VRID

<address>

VRID の仮想 IP アドレス

<trigger_no>

トリガ定義番号

<target_node>

トリガの対象となるノードの IP アドレス

<target_if>

トリガに設定された ICMP ECHO packets 送出インタフェース名

1.37.6 マスタルータダウン検出

【メッセージ】

```
nsm: vrrp master router down detection. <interface> vrid<vrid> [<address>] #<code>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と<vrid> が示す VRRP グループのマスタルータのダウンを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<vrid>

ダウンしたマスタルータの VRID

<address>

異常を検出したマスタルータの実 IP アドレス

<code>

検出した異常の種類

01

マスタルータ放棄

(優先度 0 の VRRP-AD 受信)

02

VRRP-AD 受信タイムアウト

1.37.7 受信 VRRP-AD TTL 異常

【メッセージ】

```
nsm: vrrp packet include invalid TTL. from <interface> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> が示すインタフェースに TTL が 255 でない VRRP パケットを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

受信した VRRP パケットの送信元 IP アドレス

1.37.8 受信 VRRP-AD HopLimit 異常

【メッセージ】

```
nsm: vrrp packet include invalid HopLimit. from <interface> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> が示すインタフェースに HopLimit が 255 でない VRRP パケットを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

受信した VRRP パケットの送信元 IP アドレス

1. 37. 9 受信 VRRP-AD 認証タイプ異常

【メッセージ】

```
nsm: vrrp packet authentication method mismatched. from <interface> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> が示すインタフェースに認証方法の一致しない VRRP パケットを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

受信した VRRP パケットの送信元 IP アドレス

1. 37. 10 受信 VRRP-AD 認証パスワード異常

【メッセージ】

```
nsm: vrrp packet authentication data check failed. from <interface> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> が示すインタフェースに認証パスワードの一致しない VRRP パケットを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<address>

受信した VRRP パケットの送信元 IP アドレス

1. 37. 11 VRRP 状態変化に対するアクション適用失敗

【メッセージ】

```
nsm: vrrp action <mode> failed. <interface> vrid<vrid> [<address>] No.<action_no> <state> <action> : <msg>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と <vrid> と <action_no> が示す番号で定義された VRRP 状態変化に対するアクションの適用に失敗したことを示します。

アクション適用対象の種別が複数の定義を対象とした場合、最初に適用した実行結果の <msg> だけが出力されます。最初の実行結果が正常の場合は正常の <msg> になりますが、どれかの実行で失敗しています。

【パラメタの意味】

<mode>

アクション適用/非適用

On

アクション適用動作を示します。

Off

アクション非適用動作を示します。

<interface>

インタフェース名

<vrid>

本装置に設定された VRID

<address>

VRID の仮想 IP アドレス

<action_no>

アクション定義番号

<state>

アクションを適用する状態

<action>

適用するアクション

<msg>

<action> が失敗した理由

1.38 スケジュールのメッセージ

1.38.1 電話番号変更予約の実施

【メッセージ】

```
scheduled: action: dial number convert [<dial1>] to [<dial2>]  
scheduled: [<no>] <config>: dial number [<dial3>] convert
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スケジュール機能による電話番号変更が実施されたことを示します。

【パラメタの意味】

<dial1>

電話番号変更予約情報の変更前電話番号

<dial2>

電話番号変更予約情報の変更後電話番号

<no>

処理通番

<config>

対象となる構成定義情報の名称

<name>は相手ネットワーク名、接続先名、相手識別名、グループ名またはユーザ ID

<n>は数字を示します(詳細は各コマンドの説明を参照)。

remote.<name>.ap.<name>.dial.<n>.number

remote.<name>.ap.<name>.called.number

aaa.<name>.user.<name>.called.number

<dial3>

変更する電話番号

1.38.2 電話番号変更の失敗

【メッセージ】

```
scheduled: config size over, convert failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スケジュール機能による電話番号変更を実施したが、構成定義格納サイズを超えたため、変更失敗を示します。

1.39 データ通信モジュール関連共通のメッセージ

1.39.1 データ通信モジュール挿入

【メッセージ】

```
protocol: {[USB]|[USB1]|[USB2]} modemmodule is inserted. <module_name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

データ通信モジュールが挿入されたことを示します。

【パラメタの意味】

<module_name>

データ通信モジュールの製品メーカー名／製品名情報

1.39.2 データ通信モジュール抜去

【メッセージ】

```
protocol: {[USB]|[USB1]|[USB2]} modemmodule is ejected.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

データ通信モジュールが抜去されたことを示します。

1.39.3 データ通信モジュール異常

【メッセージ】

```
protocol: {[USB]|[USB1]|[USB2]} modemmodule is error.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

データ通信モジュール異常を検出したことを示します。

1.40 データ通信モジュール関連のメッセージ

1.40.1 データ通信モジュール初期化失敗

【メッセージ】

```
<component>: {[USB]|[USB1]|[USB2]} fail to initialize modemmodule. <module_name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

データ通信モジュールの初期化に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- cmodemctl
- usbh_pcdacm

<module_name>

データ通信モジュールの製品メーカー名／製品名情報

1.40.2 データ通信モジュール異常検出

【メッセージ】

```
cmodemctl: {[USB]|[USB1]|[USB2]} fail to initialize modemmodule. <module_name> (hardware error)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

データ通信モジュールになんらかの異常が発生したことを示します。
以降、該当するデータ通信モジュールでは通信ができなくなります。

【パラメタの意味】

<module_name>

データ通信モジュールの製品メーカー名／製品名情報

1.40.3 電波状態監視情報初期化

【メッセージ】

```
protocol: {[USB]|[USB1]|[USB2]} wan <no> condition is initialized.
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

電波状態の監視情報が初期化されたことを示します。

【パラメタの意味】

<no>

wan 定義番号

1.40.4 電波状態監視により WAN 回線が接続不可に変化

【メッセージ】

```
protocol: {[USB]|[USB1]|[USB2]} wan <no> changed not connectable.
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

電波状態監視により、WAN 回線が接続不可能な状態に切り替わったことを示します。

【パラメタの意味】

<no>

wan 定義番号

1.40.5 電波状態監視により WAN 回線が接続可能に変化

【メッセージ】

```
protocol: {[USB]|[USB1]|[USB2]} wan <no> changed connectable.
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

電波状態監視により、WAN 回線が接続可能な状態に切り替わったことを示します。

【パラメタの意味】

<no>

wan 定義番号

1.40.6 通信方式の設定が無効

【メッセージ】

```
cmodemct1: {[USB]|[USB1]|[USB2]} connection type(<model>) is invalid. (connection type change is not supported)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB モデムに対する通信モードの設定が未サポートだったため、その USB モデムで使用できる通信モードを設定したことを示します。

【パラメタの意味】

<name>

mode1

適用した通信モード

1.41 pseudo-ether モジュール関連のメッセージ

1.41.1 pseudo-ether モジュール挿入

【メッセージ】

```
protocol: {[USB]|[USB1]|[USB2][WWAN1]} pseudo-ether is inserted. <module_name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

pseudo-ether モジュールが挿入されたことを示します。

【パラメタの意味】

<module_name>

pseudo-ether モジュールの製品メーカー名／製品名情報

1.41.2 pseudo-ether モジュール抜去

【メッセージ】

```
protocol: {[USB]|[USB1]|[USB2][WWAN1]} pseudo-ether is ejected.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

pseudo-ether モジュールが抜去されたことを示します。

1.41.3 pseudo-ether モジュール異常

【メッセージ】

```
protocol: {[USB]|[USB1]|[USB2][WWAN1]} pseudo-ether module is locked.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

pseudo-ether モジュールの異常を検出し使用不可状態にしたことを示します。

1.41.4 pseudo-ether モジュール自動復旧

【メッセージ】

```
protocol: pseudo-ether <number> is resetting, because no response from pseudo-ether.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

pseudo-ether モジュールが無応答になり、モジュールリセットによる自動復旧を実行したことを示します。

【パラメタの意味】

<number>
pseudo-ether 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: pseudo-ether <number> is resetting, because error response from pseudo-ether.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

pseudo-ether モジュールからエラー応答を受信し、モジュールリセットによる自動復旧を実行したことを示します。

【パラメタの意味】

<number>
pseudo-ether 定義番号

【メッセージ】

```
protocol: pseudo-ether <number> is hardware resetting, because no response from pseudo-ether.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

モジュールリセットでは復旧しないため、ハードウェアリセットによる自動復旧を実行したことを示します。

【パラメタの意味】

<number>
pseudo-ether 定義番号

1.41.5 pseudo-ether インタフェースのリンクアップ

【メッセージ】

```
protocol: pseudo-ether <number> is link up.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

pseudo-ether インタフェースがリンクアップしたことを示します。

【パラメタの意味】

<number>
pseudo-ether 定義番号

1.41.6 pseudo-ether インタフェースのリンクダウン

【メッセージ】

```
protocol: pseudo-ether <number> is link down.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

pseudo-ether インタフェースがリンクダウンしたことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

pseudo-ether 定義番号

1.41.7 閉塞状態への移行

【メッセージ】

```
protocol: pseudo-ether <number> is force down.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

オペレータ指示によって、閉塞状態に移行したことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

pseudo-ether 定義番号

1.41.8 SIM の状態

【メッセージ】

```
usbh_pcdecm: SIM {[SLOT1]|[SLOT2]} status: <sim stat>, pin: <pin stat>: error: <err stat>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

SIM の状態を表す。

以下のタイミングで出力される。

- ・ 装置起動時（再起動含む）
- ・ show sim status 実行時

【パラメタの意味】

<sim stat>

SIM カード状態

- ・ present
SIM カード装着済み

-
- absent
SIM カード未装着
 - error
エラー検出により利用不可。詳細情報が<err stat>に表示されます。

<pin stat> (sim stat が absent の場合は項目名のみ表示)

PIN の状態

- enabled and not verified
PIN 照合有効、かつ認証未
- enabled and verified
PIN 照合有効、かつ認証済み
- disabled
PIN 照合無効
- blocked
ロック状態 (PUK コードにより解除可能)
- permanently blocked
ロック状態 (PUK コードによる解除不可能)
- not available
PIN コード使用不可
- unknown
不明

1.41.9 通信モジュール初期化失敗

【メッセージ】

```
protocol: [WWAN1] failed to initialize pseudo-ether. ({SIM1|SIM2}: <reason>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

pseudo-ether モジュールの初期化に失敗したことを表します。

【パラメタの意味】

<reason>

初期化失敗要因

- PIN code is NULL
認証用 PIN コードが未設定
- incorrect PIN code
認証用 PIN コード誤り
- PUK required
PIN ロック状態
- SIM failure
SIM 異常 (未装着、PUK ロック状態等)

1.41.10 SIM 切り替え

【メッセージ】

```
protocol: SIM switched to {SIM1|SIM2} because of <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

SIM の切替えが発生したことを表します。

【パラメタの意味】**<reason>**

SIM 切替え要因

- bad signal
平均電波品質の設定値以下への低下
- no signal
圏外
- location error
位置登録処理失敗
- sim error
SIM 異常
- pin locked
PIN 認証失敗、PIN ロック中
- simctl
simctl change/resume の実行

1.41.11 SIM の構成定義エラー

【メッセージ】

```
protocol: pseudo-ether <number> is not attached: sim is not defined.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

WWAN の構成定義誤り（使用する SIM が未設定）のために pseudo-ether モジュールを無効にしたことを表します。

【パラメタの意味】**<number>**

pseudo-ether 定義番号

1.41.12 SIM のプロファイルの構成定義エラー

【メッセージ】

```
protocol: pseudo-ether <number> is not attached: sim apn <cid> is not defined.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

WWAN の構成定義誤り（プロファイルが未設定）のために pseudo-ether モジュールを無効にしたことを表します。

【パラメタの意味】**<number>**

pseudo-ether 定義番号

<cid>

cid 定義番号

1.42 動的 VPN の情報交換クライアント関連のメッセージ

1.42.1 ユーザ ID 登録

【メッセージ】

```
infoexcd: <user_id> registered to <server>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN サーバにユーザ ID が登録できたことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

登録したユーザ ID

<server>

登録した動的 VPN サーバアドレス

1.42.2 ユーザ ID 削除

【メッセージ】

```
infoexcd: <user_id> deleted from <server>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN サーバからユーザ ID を削除したことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

削除したユーザ ID

<server>

削除した動的 VPN サーバアドレス

1.42.3 情報交換セッション確立

【メッセージ】

```
infoexcd: The session of <from> to <to> was established.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換セッションを確立したことを示します。

【パラメタの意味】

<from>

情報交換の発側ユーザ ID

<to>

情報交換の着側ユーザ ID

1.42.4 情報交換セッション切断

【メッセージ】

```
infoexcd: The session of <from> to <to> was disconnected.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換セッションを切断したことを示します。

【パラメタの意味】

<from>

情報交換の発側ユーザ ID

<to>

情報交換の着側ユーザ ID

1.42.5 情報交換セッションの確立失敗

【メッセージ】

```
infoexcd: The session from <from> to <to> failed : <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換セッションの確立に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<from>

情報交換の発側ユーザ ID

<to>

情報交換の着側ユーザ ID

<reason>

timeout

タイムアウト

session overflow

セッション数オーバーフロー

busy

同じセッションがすでに存在する

version

情報交換バージョン不一致

交換情報のエンコードタイプが一致していません。

temporary

一時的な失敗

1.42.6 情報交換セッションの更新失敗

【メッセージ】

```
infoexcd: Refreshing the session from <from> to <to> failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換セッションの更新に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<from>

情報交換の発側ユーザ ID

<to>

情報交換の着側ユーザ ID

1.42.7 情報交換失敗応答受信

【メッセージ】

```
infoexcd: The response of the failure to <method> was received from <from> : <response_code>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換リクエストに対して失敗応答を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<method>

失敗した要求種別

REGISTER

ユーザ ID 登録要求

INVITE

情報交換セッション確立要求

CANCEL

情報交換セッション確立中止要求

BYE

情報交換セッション切断要求

<from>

失敗応答の送信元ユーザ ID、または動的 VPN サーバの IP アドレス

<response_code>

失敗理由を示す応答コードとメッセージ

400 Bad Request

不正なリクエスト

404 Not Found

ユーザ ID が存在しない場合など

408 Request Timeout

リクエストがタイムアウトした

422 Session Interval Too Small

セッション間隔が短過ぎる

480 Temporarily Unavailable

発側ユーザ ID が登録されていない場合など

481 Call/Transaction Does Not Exist

情報交換セッションが存在しない

486 Busy Here

情報交換セッション数オーバや同一の情報交換セッションがすでに確立されている場合など

487 Request Terminated

情報交換セッションの確立を中止した

500 Server Internal Error

情報交換セッション数オーバなどのサーバ内部エラー

503 Service Unavailable

動的 VPN サーバが利用できない

603 Decline

template 着信で使用する rmt インタフェースの空きがない場合など

1.42.8 情報交換セッション開始メッセージの認証失敗

【メッセージ】

```
infoexcd: The Authentication of INVITE message from <from> to <to> failed on <server>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN サーバで情報交換セッション開始メッセージの認証に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<from>

情報交換の発側ユーザ ID

<to>

情報交換の着側ユーザ ID

<server>

認証に失敗した動的 VPN サーバアドレス

1.42.9 情報交換ユーザ ID 登録メッセージの認証失敗

【メッセージ】

```
infoexcd: The Authentication of REGISTER message for <user_id> failed on <server>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN サーバで情報交換ユーザ ID 登録メッセージの認証に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

登録要求したユーザ ID

<server>

認証に失敗した動的 VPN サーバアドレス

1.42.10 動的 VPN サーバアドレスの解決失敗

【メッセージ】

```
infoexcd: Resolving of <fqdn> failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的 VPN サーバのホスト名解決に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<fqdn>

動的 VPN サーバのホスト名

1.42.11 情報交換セッションの開始メッセージをリダイレクトした

【メッセージ】

```
infoexcd: The INVITE message from <from> to <to> was redirected to <uri>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換セッションの開始メッセージをリダイレクトしたことを示します。

【パラメタの意味】

<from>

情報交換の発側ユーザ ID

<to>

情報交換の着側ユーザ ID

<uri>

リダイレクト先 URI

1.42.12 情報交換セッションの開始を辞退した

【メッセージ】

```
infoexcd: The INVITE message from <from> to <to> was declined: <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

着側で情報交換セッションの開始を辞退したことを示します。

【パラメタの意味】

<from>

情報交換の発側ユーザ ID

<to>

情報交換の着側ユーザ ID

<reason>

情報交換バージョン不一致

version

交換情報のエンコードタイプが一致していません。

1.43 動的 VPN サーバ関連のメッセージ

1.43.1 ユーザ ID の登録

【メッセージ】

```
dvpnspd: <user_id> was registered by <client>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ユーザ ID を登録したことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

登録したユーザ ID

<client>

情報交換クライアントの IP アドレス

1.43.2 ユーザ ID の削除

【メッセージ】

```
dvpnspd: <user_id> was deleted by <client>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ユーザ ID を削除したことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

削除したユーザ ID

<client>

情報交換クライアントの IP アドレス

1.43.3 情報交換セッションの確立

【メッセージ】

```
dvpnspd: The session from <from> to <to> was established.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換セッションが確立したことを示します。

【パラメタの意味】

<from>

情報交換の発側ユーザ ID

<to>

情報交換の着側ユーザ ID

1.43.4 情報交換セッションの切断

【メッセージ】

```
dvpnspd: The session from <from> to <to> was disconnected.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換セッションが切断されたことを示します。

【パラメタの意味】

<from>

情報交換の発側ユーザ ID

<to>

情報交換の着側ユーザ ID

1.43.5 情報交換セッションの満了

【メッセージ】

```
dvpnspd: The session from <from> to <to> expired.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換セッションの有効期限が満了したことを示します。

【パラメタの意味】

<from>

情報交換の発側ユーザ ID

<to>

情報交換の着側ユーザ ID

1.43.6 情報交換セッション開始メッセージの認証失敗

【メッセージ】

```
dvpnspd: The Authentication of INVITE message from <from> to <to> by <client> failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換クライアントからの情報交換セッション開始メッセージの認証に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】**<from>**

情報交換の発側ユーザ ID

<to>

情報交換の着側ユーザ ID

<client>

情報交換クライアントの IP アドレス

1.43.7 情報交換ユーザ ID 登録メッセージの認証失敗

【メッセージ】

```
dvpnspd: The Authentication of REGISTER message for <user_id> by <client> failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

情報交換クライアントからの情報交換ユーザ ID 登録メッセージの認証に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】**<user_id>**

登録要求されたユーザ ID

<client>

情報交換クライアントの IP アドレス

1.44 データコネクト関連のメッセージ

1.44.1 ユーザ ID 登録

【メッセージ】

```
ngnd: <user_id> registered to <server>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

SIP サーバにユーザ ID が登録できたことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

登録したユーザ ID(電話番号)

<server>

登録した SIP サーバアドレス

1.44.2 ユーザ ID 未登録

【メッセージ】

```
ngnd: registration failure to SIP server.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

SIP サーバに登録できなかったことを示します。

【メッセージ】

```
ngnd: <user_id> unregistered to <server>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

SIP サーバにユーザ ID が登録できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

登録したユーザ ID(電話番号)

<server>

削除した SIP サーバアドレス

1.44.3 ユーザ ID 削除

【メッセージ】

```
ngnd: <user_id> deleted from <server>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

SIP サーバからユーザ ID を削除したことを示します。

【パラメタの意味】

<user_id>

削除したユーザ ID(電話番号)

<server>

削除した SIP サーバアドレス

1.44.4 SIP セッション開始

【メッセージ】

```
ngnd: start connect to <peer>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

発信により SIP セッションが開始されたことを示します。

【パラメタの意味】

<peer>

相手電話番号

【メッセージ】

```
ngnd: received connect from <peer>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

着信により SIP セッションが開始されたことを示します。

【パラメタの意味】

<peer>

相手電話番号

1.44.5 SIP セッション確立

【メッセージ】

```
ngnd: connect established with <peer> bandwidth=<width>bps
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

SIPセッションが確立したことを示します。

【パラメタの意味】

<peer>

相手電話番号

<width>

利用帯域

構成定義で選択できる利用帯域の単位は大文字表示となり、任意の利用帯域指定時の単位は小文字表示となります。

1.44.6 SIPセッション切断

【メッセージ】

```
ngnd: disconnected. <from> -> <to> time=<time> charge=<charge>yen: <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

確立したSIPセッションが切断したことを示します。

【パラメタの意味】

<from>

切断元電話番号

<to>

切断先電話番号

<time>

接続時間(ddd.hh:mm:ssの形式)

<charge>

切断したセッションの通信料金

<reason>

SIP切断理由(詳細は「SIP切断理由番号一覧」の節を参照)

【メッセージ】

```
ngnd: aborted connect with <peer> by <side>:<reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

SIPセッションが確立前に切断したことを示します。

【パラメタの意味】

<peer>

接続先電話番号

<side>

切断元

peer 相手側

self 自側

<reason>

SIP 切断理由 (詳細は「SIP 切断理由番号一覧」の節を参照)

1.44.7 通信料金による自動発呼抑止

【メッセージ】

```
ngnd: NGN connect limit over [charge=<charge>yen]
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

通信料金制限により自動発呼が抑止されたことを通知する。

【パラメタの意味】

<charge>

現在の通信料金

1.44.8 課金情報のクリア

【メッセージ】

```
<name>: NGN charge information is cleared. totalcharge=<charge>yen totaltime=<time>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

課金情報がクリアされたことを示します。

【パラメタの意味】

<name>

課金情報をクリアしたプログラム

cmdexec

コンソールからのコマンドによるクリア

telexec

telnet からのコマンドによるクリア

sshexec

ssh からのコマンドによるクリア

scheduled

スケジュール機能によるクリア

<charge>

総通話料金

<time>

総接続時間 (dddd.hh:mm:ss の形式)

1.45 SSL のメッセージ

1.45.1 SSL 接続失敗

【メッセージ】

```
sslproxy: SSL/TLS handshake failed. <src_addr> -> <dst_addr>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

SSL ハンドシェイクに失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<src_addr>

SSL コネクションの自側 IP アドレス

<dst_addr>

SSL コネクションの相手側 IP アドレス

1.46 AAA/RADIUS のメッセージ

1.46.1 RADIUS アカウンティング情報の表示

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: <id><session_id> received service for <session_time> seconds, received <input_packets>
packets(<input_bytes> bytes), sent <output_packets> packets(<out_bytes> bytes).
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS アカウンティング情報を示します。

【パラメタの意味】

<id>

User_Name

アクセスユーザ名

<session_id>

Acct-Session-Id

同一セッションを示す一意の識別子

<session_time>

Acct-Session-Time

セッション開始から終了までの時間

<input_packets>

Acct-Input-Packets

RADIUS クライアントがアクセスユーザから受信したパケット数

<input_bytes>

Acct-Input-Octets

RADIUS クライアントがアクセスユーザから受信したデータ量

<output_packets>

Acct-Output-Packets

RADIUS クライアントからアクセスユーザに対して送信したパケット数

<output_bytes>

Acct-Output-Octets

RADIUS クライアントからアクセスユーザに対して送信したデータ量

1.46.2 RADIUS 認証サーバ未応答

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>: no response received.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、RADIUS サーバから認証結果が通知されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>

アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.46.3 RADIUS アカウンティングサーバ未応答(アカウンティング開始時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting start request failed for <id> on aaa <group_id>: no response received.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS アカウンティングサーバからアカウンティング開始の通知がされなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>

アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.46.4 RADIUS アカウンティングサーバ未応答(アカウンティング終了時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting stop request failed for <id> on aaa <group_id>: no response received.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS アカウンティングサーバからアカウンティング終了の通知がされなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>

アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.46.5 RADIUS 認証同時要求数オーバ

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>: request too much.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、同時要求数が RADIUS プロトコルで扱える上限数を超えたため、要求を破棄し認証を失敗させたことを示します。

【パラメタの意味】

<id>

アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.46.6 RADIUS アカウンティング同時要求数オーバ(アカウンティング開始時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting start request failed for <id> on aaa <group_id>: request too much.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、同時要求数が RADIUS プロトコルで扱える上限数を超えたため、要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>

アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.46.7 RADIUS アカウンティング同時要求数オーバ(アカウンティング終了時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting stop request failed for <id> on aaa <group_id>: request too much.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、同時要求数が RADIUS プロトコルで扱える上限数を超えたため、要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>

アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.46.8 RADIUS 認証構成定義無効

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>: invalid configuration.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、RADIUS の構成定義が無効だったため、要求を破棄し認証を失敗させたことを示します。

【パラメタの意味】

<id>

アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.46.9 RADIUS アカウンティング構成定義無効(アカウンティング開始時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting start request failed for <id> on aaa <group_id>: invalid configuration.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS の構成定義が無効だったため、要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>

アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.46.10 RADIUS アカウンティング構成定義無効(アカウンティング終了時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting stop request failed for <id> on aaa <group_id>: invalid configuration.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS の構成定義が無効だったため、要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>

アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.46.11 RADIUS 認証メモリ枯渇

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>: memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、メモリが枯渇したため、要求を破棄し認証を失敗させたことを示します。

【パラメタの意味】

<id>

アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.46.12 RADIUS アカウンティングメモリ枯渇(アカウンティング開始時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting start request failed for <id> on aaa <group_id>: memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、メモリが枯渇したため、要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>

アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.46.13 RADIUS アカウンティングメモリ枯渇(アカウンティング終了時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting stop request failed for <id> on aaa <group_id>: memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウントング要求に対して、メモリが枯渇したため、要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>

アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.46.14 RADIUS 認証共有鍵不一致

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>: bad authentication secret.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、RADIUS サーバから応答を受け取ったものの共有鍵が一致しないため、応答を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>

アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.46.15 RADIUS アカウンティング共有鍵不一致(アカウンティング開始時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting start request failed for <id> on aaa <group_id>: bad accounting secret.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウントング要求に対して、RADIUS サーバから応答を受け取ったものの共有鍵が一致しないため、応答を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>

アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.46.16 RADIUS アカウンティング共有鍵不一致(アカウンティング終了時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting stop request failed for <id> on aaa <group_id>: bad accounting secret.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS サーバから応答を受け取ったものの共有鍵が一致しないため、応答を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>

アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.46.17 ローカル認証 DB アカウンティング情報の表示

【メッセージ】

```
aaad: <id>() received service for <session_time> seconds, received <input_packets> packets(<input_bytes> bytes), sent <output_packets> packets(<out_bytes> bytes).
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ローカル認証 DB のアカウンティング情報を示します。

【パラメタの意味】

<id>

アクセスユーザ名

<session_time>

セッション開始から終了までの時間

<input_packets>

アクセスユーザが受信したパケット数

<input_bytes>

アクセスユーザが受信したデータ量

<output_packets>

アクセスユーザが送信したパケット数

<output_bytes>

アクセスユーザが送信したデータ量

1.46.18 Access-Challenge の受信

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: Access-Challenge not support (<id>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントが本装置で未サポートの Access-Challenge を受信したため、アクセスユーザの認証に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>

アクセスユーザ名

1.46.19 Message-Authenticator 不適性

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: received Message-Authenticator have unmatched value (<id>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RADIUS パケットの Message-Authenticator が一致しなかったため、受信パケットが改ざんされているものとして、破棄したことを意味します。

【パラメタの意味】

<id>

アクセスユーザ名

1.46.20 アトリビュート作成失敗(送信バッファオーバーフロー)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: attribute <attr_type> create failed. send buffer overflow for aaa group <group_id> user id <id>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS サーバからクライアントに送信するアクセスユーザのユーザ情報が大き過ぎるため、送信パケットを破棄したことを意味します。RADIUS サーバは 4096 バイト以上の認証結果をクライアントに通知できないため、アクセスユーザのユーザ情報に多数の経路情報を定義した場合などに、上記理由により送信パケットが破棄されることがあります。

【パラメタの意味】

<attr_type>

オーバーフローしたアトリビュートの属性値

VSA: で始まる値のときはベンダ固有アトリビュートでオーバーフローしたことを意味します。

<group_id>

AAA グループ ID

<id>

アクセスユーザ名

1.46.21 RADIUS 認証取り消し

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>: authentication canceled.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、認証依頼元が認証要求を取り消したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>

アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.46.22 RADIUS 認証サーバダウン

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: radius authentication server <number> on aaa <group_id> dead.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS 認証サーバが alive 状態から dead 状態になったことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

認証サーバ定義番号

<group_id>

AAA グループ ID

1.46.23 RADIUS 認証サーバ復旧

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: radius authentication server <number> on aaa <group_id> alive.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS 認証サーバが dead 状態から alive 状態になったことを示します。

【パラメタの意味】

<number>

認証サーバ定義番号

<group_id>
AAA グループ ID

1.46.24 RADIUS アカウンティングサーバダウン

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: radius accounting server <number> on aaa <group_id> dead.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS アカウンティングサーバが alive 状態から dead 状態になったことを示します。

【パラメタの意味】

<number>
アカウンティングサーバ定義番号
<group_id>
AAA グループ ID

1.46.25 RADIUS アカウンティングサーバ復旧

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: radius accounting server <number> on aaa <group_id> alive.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS アカウンティングサーバが dead 状態から alive 状態になったことを示します。

【パラメタの意味】

<number>
アカウンティングサーバ定義番号
<group_id>
AAA グループ ID

1.46.26 認証処理失敗(メモリ枯渇)

【メッセージ】

```
aaad: cannot process due to no resource [mac=<mac_addr>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メモリ不足のため、認証要求が無視されたことを示します。

【パラメタの意味】

<mac_addr>

認証要求が無視された端末の MAC アドレス

1.46.27 未サポート EAP オプション受信

【メッセージ】

```
aaad: received option is not supported [option=<code>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した EAP に未サポートのオプションが含まれていたことを示します。

【パラメタの意味】

<code>

未サポートのオプションコード

1.46.28 未サポートのパケット受信

【メッセージ】

```
aaad: received unrecognized code packet [<code>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

未サポートパケットコードの EAP パケットを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<code>

未サポートのパケットコード

1.46.29 パケットシーケンスエラー検出

【メッセージ】

```
aaad: unexpectable message received [type=<type>, host=<mac_addr>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

パケットシーケンス異常を検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<type>

パケットタイプ

<mac_addr>

端末(Supplicant)の MAC アドレス

1.46.30 メモリ枯渇による認証失敗

【メッセージ】

```
aaad: cannot allocate memory to indicate about authentication result
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メモリ枯渇により認証処理が失敗したことを示します。

1.46.31 認証アルゴリズム不一致

【メッセージ】

```
aaad: desired algorithm by supplicant is not supported [desired type=<algorithm>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

端末(Supplicant)から本装置がサポートしていない認証アルゴリズムを要求されたために、認証が失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<algorithm>

端末(Supplicant)側が要求したアルゴリズムコード

1.46.32 サーバダウン時認証成功

【メッセージ】

```
aaad: radius authentication server dead for <id> on aaa <group_id>: authentication request succeeded
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS サーバが dead 状態で、アクセスが許可されたことを示します。

【パラメタの意味】

<id>

アクセスユーザ名

<group_id>

AAA グループ ID

1.47 STP のメッセージ

1.47.1 異常 BPDU フレーム受信

【メッセージ】

```
mstpd: Invalid BPDU received on ether <group> <port>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

フレーム長異常やサポート範囲外の BPDU バージョンのフレームを受信して破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<group>

ether グループ番号

<port>

ether ポート番号

1.47.2 定義反映異常 (STP 動作モード)

【メッセージ】

```
mstpd: Cannot disable spanning-tree for bridge
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

STP 動作モード (STP 無効時) の定義反映が異常となったことを示します。

【メッセージ】

```
mstpd: Cannot enable spanning-tree for bridge
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

STP 動作モード (STP 有効時) の定義反映が異常となったことを示します。

1.47.3 内部通信ソケット異常

【メッセージ】

```
mstpd: Error opening socket (<err>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

STP で使用するソケット生成が異常になったことを示します。

【パラメタの意味】

<err>

エラー番号

1.47.4 構成定義展開異常

【メッセージ】

```
mstpd: Error mstpd configuration
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

起動時の構成定義展開処理が異常になったことを示します。

1.47.5 STP 内部情報領域獲得異常

【メッセージ】

```
mstpd: Could not allocate memory for <resource>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

STP 内部情報で使用する資源の獲得が異常となったことを示します。

【パラメタの意味】

<resource>

獲得できなかった資源情報

1.47.6 トポロジチェンジ検出

【メッセージ】

```
mstpd: Topology Change detected
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

トポロジの変更が検出されたことを示します。

1.47.7 ルートブリッジ

【メッセージ】

```
mstpd: Bridge became new Root Bridge
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

装置がルートブリッジになったことを示します。

1.47.8 トポロジチェンジ検出ポート情報

【メッセージ】

```
mstpd: Topology Change ports information(<instance_type> last-port:ether <group> <port>
all-ports:ether <group> <port_list>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

トポロジの変更が検出されたポート情報を示します。

【パラメタの意味】

<instance_type>

トポロジ検出を行ったインスタンスタイプ

<group>

トポロジ検出時に最後に状態変更した ether グループ番号

<port>

トポロジ検出時に最後に状態変更した ether ポート番号

<group>

本トポロジ検出時に状態変更をしたほかの ether グループ番号

<port_list>

本トポロジ検出時に状態変更をしたほかの ether ポート番号リスト

1.48 トラッキング機能関連のメッセージ

1.48.1 ノードトリガ定義矛盾

【メッセージ】

```
trackd: node <node_count> is not attached: node <node_count> has same destination address as node <other_node_count>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<node_count>と<other_node_count>のノードトリガ定義の監視対象 IP アドレスが重複したため、ノードトリガに関する定義が無効であることを示します。

【パラメタの意味】

<node_count>

ノードトリガ定義番号

<other_node_count>

ノードトリガ定義番号

1.48.2 ノードトリガイベント発生

【メッセージ】

```
trackd: node is <state>. node-trigger.<node_count>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ノードの状態が遷移し、ノードトリガが発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<state>

遷移後の状態

• down

ノードダウン

• up

ノードアップ

<node_count>

ノードトリガ定義番号

1.48.3 トラッキング機能による実行

【メッセージ】

```
trackd: "<command>" executed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

トラッキング機能によりコマンドが実行されたことを示します。

【パラメタの意味】

<command>

実行されたコマンド

1.48.4 トラッキング機能のコマンド実行キャンセル

【メッセージ】

```
trackd: command canceled.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

トラッキング機能のコマンド実行がキャンセルされたことを示します。

1.48.5 輻輳トリガ定義矛盾

【メッセージ】

```
trackd: congestion <congestion_count> is not attached: congestion <congestion_count> has same destination address as node <other_congestion_count>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<congestion_count>と<other_congestion_count> の輻輳トリガ定義の監視対象 IP アドレスが重複したため、congestion_count トリガに関する定義が無効であることを示します。

【パラメタの意味】

<congestion_count>

輻輳トリガ定義番号

<other_congestion_count>

輻輳トリガ定義番号

1.48.6 輻輳トリガイベント発生

【メッセージ】

```
trackd: congestion is <state>. congestion-trigger.<congestion_count>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

輻輳の状態が遷移し、輻輳トリガが発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<state>

遷移後の状態

down

輻輳状態検出

up

輻輳状態復旧

<congestion_count>

輻輳トリガ定義番号

1.48.7 FQDN 名前解決のエラーメッセージ

【メッセージ】

```
track_congestiond: Name conversion of fqdn=<fqdn> cannot be performed. congestion-trigger. <congestion_count>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

輻輳トリガ初期化時の、FQDN 名前未解決のエラーメッセージです。
指定した FQDN の名前解決ができなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<fqdn>

指定された FQDN

<congestion_count>

輻輳トリガ定義番号

1.48.8 IP アドレス未獲得のエラーメッセージ

【メッセージ】

```
track_congestiond: IP address cannot be assigned to <interface>. congestion-trigger. <congestion_count>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

輻輳トリガ初期化時の、IP アドレス未獲得のエラーメッセージです。
指定したインタフェースに IP アドレスが割り当てられていないことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

インタフェース名

<congestion_count>

輻輳トリガ定義番号

1.48.9 IP アドレス重複のエラーメッセージ

【メッセージ】

```
track_congestiond: <address> cannot be assigned to fqdn=<fqdn>, because duplicated. congestion-  
trigger.<congestion_count>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

取得した IP アドレスが重複していることにより、FQDN に割り当てることができなかった場合のエラーメッセージです。

【パラメタの意味】

<address>

IP アドレス

<fqdn>

指定された FQDN

<congestion_count>

輻輳トリガ定義番号

1.48.10 送信元未定義のエラーメッセージ

【メッセージ】

```
track_congestiond: congestion-trigger <congestion_count> is not attached: <source> is not defined.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

送信元に指定した IP アドレスまたはインタフェースが定義されていないことを示します。

【パラメタの意味】

<congestion_count>

輻輳トリガ定義番号

<source>

送信元 IP アドレスまたは送信元インタフェース

【対処方法】

有効な IP アドレスまたはインタフェースを定義してください。

1.48.11 輻輳状態検出オプションのエラーメッセージ

【メッセージ】

```
track_congestiond: congestion-trigger <congestion_count> is not attached: congestion <congestion_count>  
threshold fail or recovery is not defined.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

輻輳状態検知設定(fail)または復旧設定(recovery)が定義されていないことを示します。

【パラメタの意味】

<congestion_count>

輻輳トリガ定義番号

【対処方法】

輻輳トリガの構成定義を見直してください。

1.48.12 トラッキング定義矛盾のエラーメッセージ

【メッセージ】

```
track: tracking <number> is not attached: node triggers and congestion triggers cannot be registered with the same tracking definition number.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

同一のトラッキング定義番号で、ノードトリガと輻輳トリガを同時に設定したため、そのトラッキング定義は無効になることを示します。

【パラメタの意味】

<number>

トラッキング定義番号

【対処方法】

輻輳トリガ、またはノードトリガはどちらか一種類だけを定義してください。

1.49 「v6 プラス」のメッセージ

1.49.1 アドレス情報の通知

【メッセージ】

```
v6plusd: Address information was notified to the update server(<id>).
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

再設定サーバーにアドレス情報を通知したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>

再設定サーバの認証 ID

1.49.2 アドレス情報の更新結果の受信

【メッセージ】

```
v6plusd: Receive update result from update server(<id>) : <response_code>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

再設定サーバーから更新結果を受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>

再設定サーバの認証 ID

<response_code>

応答コードとメッセージ

200 OK

正常に送信できた

400 Bad Request

認証 ID またはパスワードが不正の可能性あり

404 Not Found

URI が不正である可能性あり

unknown

応答コード不明

1.49.3 再設定サーバへの接続失敗

【メッセージ】

```
v6plusd: The connection to the update server(<id>) failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

再設定サーバへの接続に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>

再設定サーバの認証 ID

1.49.4 再設定サーバへの接続要求破棄

【メッセージ】

```
v6plusd: The connection to the update server(<id>) discarded. (<reason>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

再設定サーバへの接続要求を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>

再設定サーバの認証 ID

<reason>

破棄理由

request too much

アドレス情報通知同時要求数が上限値を超過

duplicate request

接続要求されたアドレス情報と同じアドレス情報が通知中

1.50 USB メモリ関連のメッセージ

1.50.1 USB メモリの挿入

【メッセージ】

```
mountd: USB memory is inserted.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリが挿入されたことを示します。

1.50.2 USB メモリの拔出

【メッセージ】

```
mountd: USB memory is ejected.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリが拔出されたことを示します。

1.50.3 USB デバイス接続

【メッセージ】

```
musbd: {[USB]|[USB1]|[USB2]|[SLOT]} USB Device Detected.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB デバイスの認識に成功し、デバイスを検出したことを示します。

1.50.4 USB デバイス切断

【メッセージ】

```
musbd: {[USB]|[USB1]|[USB2]|[SLOT]} USB Device Disconnect Completed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB デバイスが切断されたことを示します。

1.50.5 USB VBUS 過電流発生

【メッセージ】

```
musbd: {[USB]|[USB1]|[USB2]|[SLOT]} USB VBUS Over Current Occurred.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB で、VBUS 過電流が発生したことを示します。

1.50.6 ファイルシステムの不正

【メッセージ】

```
mountd: file system on USB memory is broken. need format.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリを挿入したがファイルシステムが異常であり、フォーマットが必要なことを示します。

1.50.7 I/O エラー

【メッセージ】

```
mountd: I/O error on USB memory.  
cmdexec: I/O error on USB memory.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリのアクセス中に I/O エラーが発生したことを示します。

1.50.8 ファイルシステムの不整合

【メッセージ】

```
mountd: file system on USB memory is broken.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリのアクセス中にファイルシステムの不整合を検出したことを示します。

1.50.9 USB デバイス認識/接続失敗

【メッセージ】

```
usbh_pcdeacm: {[WWAN1]|[USB]|[USB1]|[USB2]} USB Device Enumeration Failed.  
usbh_pcdeacm: {[WWAN1]|[USB]|[USB1]|[USB2]} USB Device Enumeration Failed.  
usbh_pcdcm: {[WWAN1]|[USB]|[USB1]|[USB2]} USB Device Enumeration Failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB デバイスの認識/接続に失敗したことを示します。

1.51 USB マスストレージ制御関連のメッセージ

1.51.1 USB マスストレージクラスデバイスの認識成功

【メッセージ】

```
usbh_storage: {[USB]|[USB1]|[USB2]|[SLOT]} Mass storage device initializing complete.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリ (マスストレージクラスデバイス) の挿入検出時、挿入されたデバイスを正常なマスストレージクラスデバイスと認識したことを示します。

1.51.2 USB マスストレージクラスデバイスの認識失敗

【メッセージ】

```
usbh_storage: {[USB]|[USB1]|[USB2]|[SLOT]} Mass storage device initializing failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリ (マスストレージクラスデバイス) の挿入検出時、挿入されたデバイスを正常なマスストレージクラスデバイスと認識できなかったことを示します。

1.51.3 USB デバイス抜去待ち状態

【メッセージ】

```
usbh_storage: {[USB]|[USB1]|[USB2]|[SLOT]} Waiting for unplugging the USB device.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリ (マスストレージクラスデバイス) の異常などを検出し、USB メモリの抜去待ち状態に入ったことを示します。

1.51.4 USB デバイスエラー発生

【メッセージ】

```
usbh_storage: {[USB]|[USB1]|[USB2]|[SLOT]} Error occurred. : <error> at <state>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリ (マスストレージクラスデバイス) の異常を検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<error>

エラー要因

<state>

エラーが発生した時点での内部状態

1.51.5 複数の USB デバイスが接続された

【メッセージ】

```
usbh_storage: {[USB]|[USB1]|[USB2]|[SLOT][WWAN]} Two or more USB devices are not supported.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリ (マスタストレージクラスデバイス) の挿入検出時、すでに認識した USB メモリが存在していることを示します。

複数の USB メモリを同時接続することはできません。

1.51.6 USB デバイスクラス判定失敗

【メッセージ】

```
musbd: {[USB]|[USB1]|[USB2]|[SLOT]} Storage Device detection failed. : The interface should be storage class and bulk only type.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ストレージクラス・バルクオンリータイプ以外の USB デバイスを検出したことを示します。

1.52 外部メディアスタート機能のメッセージ

1.52.1 外部メディアスタート機能の動作の開始

【メッセージ】

```
mountd: start configuration by external storage device
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能によるコマンド実行が開始されたことを示します。

1.52.2 外部メディアスタート機能の動作開始時のログファイルエラー

【メッセージ】

```
mountd: cannot open log file in configuration by external storage device
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能の動作開始時に、ログファイルの作成失敗により動作中断されたことを示します。

1.52.3 外部メディアスタート機能の動作開始時のパスワード認証エラー

【メッセージ】

```
mountd: authentication error in configuration by external storage device
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能の動作開始時に、パスワード認証エラーにより動作中断されたことを示します。

1.52.4 外部メディアスタート機能の動作開始時のコマンドファイル作成エラー

【メッセージ】

```
mountd: script error in configuration by external storage device
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能の動作開始時に、デフォルトのコマンドファイル作成失敗により動作中断されたことを示します。

1.52.5 外部メディアスタート機能の動作開始時のコマンドファイル読み込みエラー

【メッセージ】

```
mountd: cannot open script file in configuration by external storage device
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能の動作開始時に、コマンドファイルのオープン失敗により動作中断されたことを示します。

1.52.6 外部メディアスタート機能の動作開始時の状態ファイルのエラー

【メッセージ】

```
mountd: invalid status file in configuration by external storage device
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能の動作開始時に、状態ファイルのエラーにより動作中断されたことを示します。

1.52.7 外部メディアスタート機能の動作開始時の時刻取得エラー

【メッセージ】

```
mountd: cannot get time in configuration by external storage device
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能の動作開始時に、時刻取得エラーにより動作中断されたことを示します。

1.52.8 外部メディアスタート機能の動作の完了

【メッセージ】

```
mountd: complete configuration by external storage device
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能によるコマンド実行が正常完了したことを示します。

1.52.9 外部メディアスタート機能の動作のエラー終了

【メッセージ】

```
mountd: error configuration by external storage device in line <line>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能によるコマンド実行がエラーにより中断されたことを示します。

【パラメタの意味】

<line>

エラー行の行番号

1.53 コンフィグトライアル機能のメッセージ

1.53.1 コンフィグトライアル機能の動作の開始

【メッセージ】

```
conftryd: start trying configuration
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的反映時に時間指定されることで、コンフィグトライアル機能の動作が開始されたことを示します。

1.53.2 コンフィグトライアル機能による切り戻し動作の実行

【メッセージ】

```
conftryd: restore previous configuration before trying
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンフィグトライアル機能により構成定義が正常に元に戻されたことを示します。

1.53.3 コンフィグトライアル機能による切り戻し動作のエラー終了

【メッセージ】

```
conftryd: cannot restore previous configuration before trying
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンフィグトライアル機能により構成定義を元に戻そうとしたが、エラー終了のため戻せなかったことを示します。

1.53.4 コンフィグトライアル機能の動作のキャンセル

【メッセージ】

```
conftryd: cancel trying configuration
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンフィグトライアル機能の動作がキャンセルされたことを示します。

1.54 メモリ予兆監視機能関連のメッセージ

1.54.1 メモリ予兆監視機能メモリ枯渇状態

【メッセージ】

```
systemwatchd: MPB[<no>] is more than <rate>% :<watch_blk>=<max_blk>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メモリ予兆監視機能でメモリ枯渇状態と判断したことを示します。
本メッセージは、<max_blk>がしきい値の-2%に達したときに出力されます。

【パラメタの意味】

<no>

メモリ管理テーブル番号

<rate>

監視対象メモリブロックの使用割合(%)

<watch_blk>

監視対象メモリブロック名

MAX block

used mem

<max_blk>

メモリ枯渇状態と判断したときの使用中メモリブロックユニット数

1.55 端末可視化機能関連のメッセージ

1.55.1 端末可視化機能の起動、停止

【メッセージ】

```
devscand: devscan vlan <vlan_id> started.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

端末可視化機能が起動したことを示します。

【パラメタの意味】

<vlan_id>
VLAN ID

【メッセージ】

```
devscand: devscan vlan <vlan_id> stopped and restarted.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

起動していた端末可視化機能が停止し、再起動したことを示します。

【パラメタの意味】

<vlan_id>
VLAN ID

1.55.2 端末可視化機能の起動失敗

【メッセージ】

```
devscand: could not start devscan vlan <vlan_id>. <reason>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

端末可視化機能の起動に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<vlan_id>
VLAN ID

<reason>

- could not open file**
ファイルのオープンに失敗
- internal-path did not up**
内部パスが UP 状態にならなかった

1.56 LTE/3G モジュールの PIN 認証機能関連メッセージ

1.56.1 データ通信モジュール初期化失敗(構成定義 PIN 照合なし、データ通信モジュール PIN 照合あり)

【メッセージ】

```
cmodemctl: [WWAN1] failed to initialize modemmodule. <modemmodule> (PIN code is NULL)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

構成定義では PIN 照合なしであるのに、データ通信モジュール側は PIN 照合ありになっているため、データ通信モジュールの初期化に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<modemmodule>

データ通信モジュールの製品メーカー名/製品名情報

1.56.2 データ通信モジュール初期化失敗(PIN 照合失敗)

【メッセージ】

```
cmodemctl: [WWAN1] failed to initialize modemmodule. <modemmodule> (incorrect password)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

構成定義上の PIN コードとデータ通信モジュール上の PIN コードの照合に失敗したため、データ通信モジュールの初期化に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<modemmodule>

データ通信モジュールの製品メーカー名/製品名情報

1.56.3 データ通信モジュール初期化失敗(PIN ロック発生)

【メッセージ】

```
cmodemctl: [WWAN1] failed to initialize modemmodule. <modemmodule> (PUK required)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

構成定義上の PIN コードとデータ通信モジュール上の PIN コードの照合に失敗し、PIN ロックが発生したため、データ通信モジュールの初期化に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<modemmodule>

データ通信モジュールの製品メーカー名/製品名情報

1.56.4 データ通信モジュール初期化失敗 (PIN ロック状態)

【メッセージ】

```
cmodemctl: [WWAN1] failed to initialize modemmodule. <modemmodule> (PIN Locked:PUK required)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PIN ロック状態のデータ通信モジュールを初期化しようとしたため、データ通信モジュールの初期化に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<modemmodule>

データ通信モジュールの製品メーカー名／製品名情報

1.56.5 データ通信モジュール初期化失敗 (PUK ロック状態)

【メッセージ】

```
cmodemctl: [WWAN1] failed to initialize modemmodule. <modemmodule> (SIM failure)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

PUK ロック状態 (完全ロック) のデータ通信モジュールを初期化しようとしたため、データ通信モジュールの初期化に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<modemmodule>

データ通信モジュールの製品メーカー名／製品名情報

1.56.6 PIN 制御コマンド実行エラー (enable, disable, change) (PIN 照合失敗)

【メッセージ】

```
cmodemctl: [WWAN1] PIN code error. <modemmodule> (incorrect password)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された PIN コードが、データ通信モジュールに設定された値と異なっていたため、PIN 照合に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<modemmodule>

データ通信モジュールの製品メーカー名／製品名情報

1.56.7 PIN 制御コマンド実行エラー(enable, disable, change) (PIN ロック発生)

【メッセージ】

```
cmodemctl: [WWAN1] PIN code error. <modemmodule> (PUK required)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された PIN コードが、データ通信モジュールに設定された値と異なっていたため、PIN 照合に失敗し、PIN ロックが発生したことを示します。

【パラメタの意味】

<modemmodule>

データ通信モジュールの製品メーカー名/製品名情報

1.56.8 PIN 制御コマンド実行エラー(unlock) (PUK 入力エラー)

【メッセージ】

```
PUK code error. <modemmodule> (incorrect password)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された PUK コードが、データ通信モジュールに設定された値と異なっていたため、PIN ロック解除に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<modemmodule>

データ通信モジュールの製品メーカー名/製品名情報

1.56.9 PIN 制御コマンド実行エラー(unlock) (PUK ロック発生)

【メッセージ】

```
cmodemctl: [WWAN1] PUK code error. <modemmodule> (SIM failure)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下のどれかを示します。

- ・ データ通信カードに USIM が未実装
- ・ データ通信カードに実装されている USIM 異常
- ・ 指定された PUK と、データ通信カードの PUK コード不一致により、データ USIM がロックされた、またはロックされている。

【パラメタの意味】

<modemmodule>

データ通信モジュールの製品メーカー名/製品名情報

1.56.10 構成定義 PIN 照合あり、データ通信モジュール PIN 照合なしで運用中

【メッセージ】

```
cmodemctl: [WWAN1] PIN collation of modemmodule is disabled.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

構成定義上は PIN 照合ありになっているが、データ通信モジュールが PIN 照合なしの設定となっていたため、構成定義上の PIN 照合設定が無視されたことを示します。

【パラメタの意味】

<modemmodule>

データ通信モジュールの製品メーカー名／製品名情報

1.56.11 データ通信モジュール異常検出

【メッセージ】

```
cmodemctl: [WWAN1] fail to initialize modemmodule. <modemmodule> (hardware error)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

データ通信モジュールになんらかの異常が発生したことを示します。
以降、該当するデータ通信モジュールでは通信ができなくなります。

【パラメタの意味】

<modemmodule>

データ通信モジュールの製品メーカー名／製品名情報

1.56.12 内蔵データ通信モジュールのファームウェア更新開始

【メッセージ】

```
<name>: update: start LTE firm update.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

内蔵データ通信モジュールのファームウェア更新が開始されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name>

ファームウェア更新を実行したプログラム

cmdexec

コンソールからのコマンドによる更新

telexec

telnet からのコマンドによる更新

sshexec

ssh からのコマンドによる更新

scheduled

スケジュール機能による更新

1.56.13 内蔵データ通信モジュールのファームウェア更新成功

【メッセージ】

```
<name>: update: LTE firm update succeeded.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

内蔵データ通信モジュールのファームウェア更新が成功したことを示します。

【パラメタの意味】**<name>**

ファームウェア更新を実行したプログラム

cmdexec

コンソールからのコマンドによる更新

telexec

telnet からのコマンドによる更新

sshexec

ssh からのコマンドによる更新

scheduled

スケジュール機能による更新

1.56.14 内蔵データ通信モジュールのファームウェア更新失敗

【メッセージ】

```
<name>: update: LTE firm update failed. (<reason>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

内蔵データ通信モジュールのファームウェア更新に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】**<name>**

ファームウェア更新を実行したプログラム

cmdexec

コンソールからのコマンドによる更新

telexec

telnet からのコマンドによる更新

sshexec

ssh からのコマンドによる更新

scheduled

スケジュール機能による更新

<reason>

失敗理由

ready timeout

ファームウェア更新の準備が一定時間内に完了しなかったことを示します。

timeout

ファームウェア更新が一定時間内に完了しなかったことを示します。

cannot access file

ファームウェアのファイルアクセスに失敗したことを示します。

cannot get exit status

ファームウェア更新の成否が確認できなかったことを示します。

error code = xx

エラーコード=xx でファームウェア更新に失敗したことを示します。

1.57 NDPProxy 機能のメッセージ

1.57.1 内部 lan インターフェースから RA を受信

【メッセージ】

```
protocol: Downstream lan <no> received RA. It cannot be used as a proxy interface.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

内部 lan インターフェースから RA を受信したため、インタフェースはプロキシ先として使用できなくなります。

【パラメタの意味】

<no>

lan 定義番号 (外部 lan インターフェース)

1.57.2 外部 lan インターフェースから Proxybit に 1 が設定された RA を受信

【メッセージ】

```
protocol: lan <no> received RA for proxy bit 1. It cannot be used as a proxy interface.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部 lan インターフェースから Proxybit に 1 が設定された RA を受信したため、インタフェースはプロキシ先として使用できなくなります。

【パラメタの意味】

<no>

lan 定義番号 (外部 lan インターフェース)

1.58 MAP-E 機能のメッセージ

1.58.1 MAP-E 機能の起動失敗

【メッセージ】

```
enabled: failed to start map-e. <reason>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

初期化処理で異常が発生し、MAP-E 機能が有効にならなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<reason>

could not open file

設定ファイルのオープンに失敗したため、MAP-E 機能が有効にならなかったことを示します。

1.59 その他のメッセージ

1.59.1 データ通信モジュール接続の課金情報のクリア

【メッセージ】

```
<name>: modemmodule account cleared.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

データ通信モジュール接続の課金情報(接続時間、パケット数など)をクリアしたことを示します。

【パラメタの意味】

<name>

課金情報をクリアしたプログラム

cmdexec

コンソールからのコマンドによるクリア

telexec

telnet からのコマンドによるクリア

sshexec

ssh からのコマンドによるクリア

scheduled

スケジュール機能によるクリア

1.59.2 システムリセットエラー

【メッセージ】

```
<name>: ERROR: system reset busy.
```

【プライオリティ】

LOG_ERROR

【意味】

リセット処理を実施しようとしたが、ファーム更新中、構成定義の保存中、他スレッドでリセット処理中などにより、リセット処理ができなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<name>

リセットを実施したプログラム

cmdexec

コンソールからのコマンドによるリセット

telexec

telnet からのコマンドによるリセット

sshexec

ssh からのコマンドによるリセット

scheduled

スケジュール機能によるリセット

funcswd

SELECT/ENTER ボタンによるリセット

1.59.3 動的定義反映実行

【メッセージ】

```
enabled: system configuration restarted
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的定義反映が実行されたことを示します。

1.59.4 重複メッセージの省略

【メッセージ】

```
same message repeated <num> times
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

同じメッセージが繰り返されたので表示を省略したことを示します。

【パラメタの意味】

<num>

繰り返された回数

1.59.5 スケジュール機能による実行

【メッセージ】

```
scheduled: schedule command "<command>" executed
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スケジュール機能によりコマンドが実行されたことを示します。

【パラメタの意味】

<command>

実行されたコマンド

1.59.6 コマンド実行履歴

【メッセージ】

```
<name>: command "<command>" executed by <user>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コマンドが実行されたことを示します。

【パラメタの意味】**<name>**

コマンドを実行したプログラム

telnetd

telnet でコマンドを実行した

sshlogin

ssh でコマンドを実行した

logon

コンソールでコマンドを実行した

<command>

実行されたコマンド

<user>

コマンドを実行したユーザ名

1.59.7 自動設定モードへの移行

【メッセージ】

```
autosetupd: auto-config mode is started.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自動設定モードへ移行したことを示します。

【パラメタの意味】

なし

1.59.8 自動設定モードへの移行失敗

【メッセージ】

```
autosetupd: auto-config mode is failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自動設定モードへの移行が失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

なし

1.59.9 自動設定モードへの移行抑止

【メッセージ】

```
funcswd: auto-config mode is canceled.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自動設定モードへの移行を抑止したことを示します。

【パラメタの意味】

なし

【メッセージ】

```
funcswd: ENTER button was pushed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自動設定モードへの移行を抑止する設定時に ENTER ボタンが押下されたことを示します。

【パラメタの意味】

なし

1.59.10 トラフィック可視化アプリのプロセス再生成

【メッセージ】

```
idle_check: visualtraffic restart
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

トラフィック可視化アプリのプロセスを再生成したことを示します。

【パラメタの意味】

なし

1.60 SIP 切断理由番号一覧

正常イベントクラス

理由番号	理由種別
#1	欠番
#2	指定中継網へのルートなし
#3	相手へのルートなし
#6	チャンネル利用不可
#7	呼が設定済みのチャンネルへ着呼
#16	正常切断
#17	着ユーザビジー
#18	着ユーザレスポンスなし
#19	相手ユーザ呼出中／応答なし
#20	加入者不在
#21	通信拒否
#22	相手加入者番号変更
#26	選択されなかったユーザの切断復旧
#27	着側インタフェース起動不可
#28	無効番号フォーマット(不完全番号)
#29	ファシリティ拒否
#30	状態問い合わせへの応答
#31	その他の正常クラス

リソース不可クラス

理由番号	理由種別
#34	利用可回線／チャンネルなし
#38	網故障
#41	一時的故障
#42	交換機輻輳
#43	アクセス情報廃棄
#44	要求回線／チャンネル利用不可
#47	その他のリソース使用不可クラス

サービス利用不可クラス

理由番号	理由種別
#49	サービス品質(QoS)利用不可
#50	要求ファシリティ未契約
#57	伝達能力不許可
#58	現在利用不可伝達能力
#63	その他のサービスまたはオプションの利用不可クラス

サービス未提供クラス

理由番号	理由種別
#65	未提供伝達能力指定
#66	未提供チャンネル種別指定
#69	未提供ファシリティ要求
#70	制限デジタル情報転送能力だけ可能
#79	その他のサービスまたはオプションの未提供クラス

無効メッセージクラス

理由番号	理由種別
#81	無効呼番号使用
#82	無効チャンネル番号使用
#83	指定された中断呼識別番号未使用
#84	中断呼識別番号使用中
#85	中断呼なし
#86	指定中断呼切断復旧済み
#87	ユーザは CUG メンバでない
#88	端末属性不一致
#91	無効中継網選択
#95	その他の無効メッセージクラス

手順誤りクラス

理由番号	理由種別
#96	必須情報要素不足
#97	メッセージ種別未定義、または未提供
#98	呼状態とメッセージ不一致、またはメッセージ別未定義または未提供
#99	情報要素未定義
#100	情報要素内容無効
#101	呼状態とメッセージ不一致
#102	タイマ満了による回復
#111	その他の手順誤りクラス

インタワーキングクラス

理由番号	理由種別
#127	その他のインタワーキングクラス

Si-R G シリーズ メッセージ集

P3NK-6932-11Z0

発行日 2023年11月

発行責任 富士通株式会社

- 本書の一部または全部を無断で他に転載しないよう、お願いいたします。
- 本書は、改善のために予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、損害については、弊社はその責を負いません。